笠間市立小中学校学区審議会
学区見直しのためのアンケート調査結果報告書

令和６年８月

笠間市立小中学校学区審議会

目　　次

第１章　調査の概要

１　調査目的…… 2
２　調査の概要…… 2
（１）調査の種類…… 2
（２）調査期間…… 2
３　回収結果…… 3
４　報告書を読む際の留意点…… 3

第２章　調査の結果

１　児童生徒調査
（１）小５・中２/義務教育学校５・８児童生徒…… 5

２　保護者調査
（１）未就学児・年長生の保護者……13
（２）市内小・義務教育学校 5 年の保護者……30
（３）市内中 2 年、義務教育学校 8 年の保護者……47

３　教職員調査
（１）教職員……65

４　一般市民調査
（１）市民……81

５　学校運営協議会調査
（１）学校運営協議会……94

第１章　調査の概要

笠間市立小中学校学区審議会

１　調査目的

本調査は笠間市立小中学校学区審議会における学区見直しに当たり、長期的な教育方針及び今後の学校の適正配置の総合的かつ計画的な推進を図るため、児童生徒、保護者、教職員、一般市民、学校運営協議会などの幅広い立場からの意見・意向を集約し、その結果を計画に反映するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

２　調査の概要

（１）調査の種類

調査名	対象者	対象抽出方法	調査方法
1.児童生徒調査	・市内小学、義務教育学校5年　558人 ・市内中学2年、義務教育学校8年　611人 総数1,169人	原則各学校 全クラス	学校・施設を通じ Webにて回答
2.児童生徒保護者調査	1.未就学児、年長生の保護者487人 2.①の保護者1,169人 総数1,656人	市内こども園 保育園 保育所 幼稚園	
3.教職員調査	市内小中学校 全教職員 (会計年度任用職員を除く) 366 人	全数調査	
4.一般市民	市内在住18歳以上の 男女1,000人	無作為抽出	郵送配布 Webにて回答
5.学校運営協議会委員	各学校の学校運営協議会委員	委員全員	学校・施設を通じ配布。Web・紙にて回答

（２）調査期間

令和6年7月上旬～下旬（⑤学校運営協議会委員調査のみ7月下旬～8月上旬）

３　回収結果

調査名	配布数	回収数 （回収率）	有効回収数※ （有効回収率）
①児童生徒調査	1,169	1,026 （87.7%）	1,026 （100.0%）
②児童生徒保護者調査	1,656	816 （49.2%）	816 （100.0%）
③教職員調査	366	360 （98.4%）	360 （100.0%）
④一般市民	1,000	253 （25.3%）	253 （100.0%）
⑤学校運営協議会委員	201	132 （65.7%）	132 （100.0%）

※有効回収数は、返送はあったが無記入の調査票を含めない数。

４　報告書を読む際の留意点

○　調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第２位を四捨五入もしくは切り捨てして算出しています。そのため、合計が 100%にならない場合があります。

○　複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超えます。

○　図表中の「ｎ=」とは、回答者数を表します。回答の総数ではありません。

○　選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがあります。

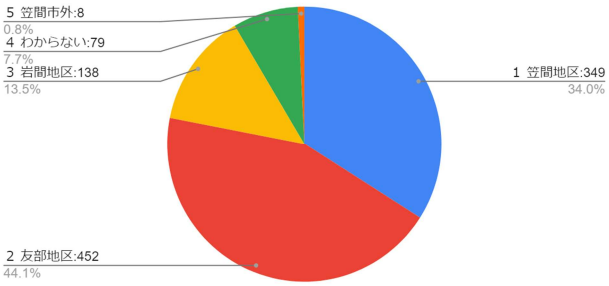
○　グラフ引き出し線の末尾の数字は該当の回答数を表します。

第２章　調査の結果

（１）回答者の属性

問１　あなたの住んでいる地区をお答えください（1 つ）

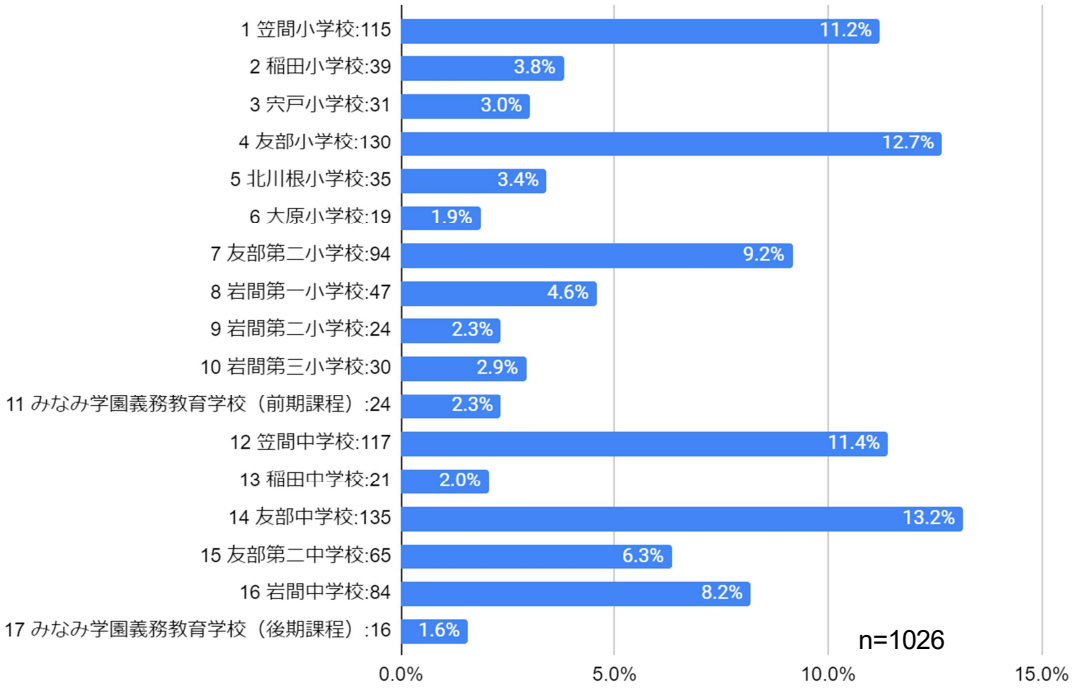
○居住地区の割合は友部地区が 44.1%で最多である。



n=1026

問２　通っている学校名をお答えください（１つ）

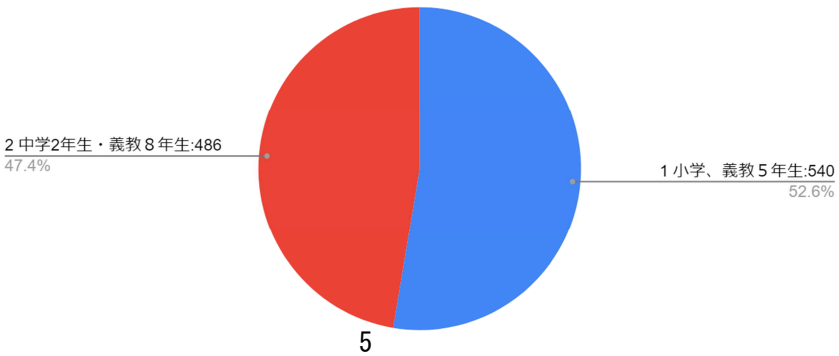
○通う学校については、「笠間小」（11.2%）、「笠間中」（11.4%）、「友部小」（12.7%）、「友部中」（13.2%）などで１割を超え多くなっている。



n=1026

問３　学年をお答えください（１つ）

○回答者の学年については、「小学５年生」が 52.6%、「中学２年生」が 47.4%である。

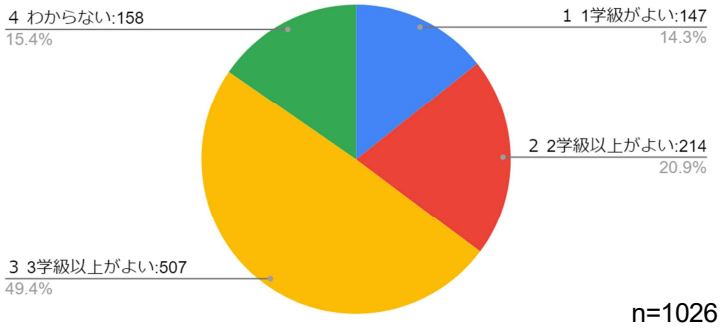


n=1026

（２）学級（クラス）数の確保について

問４（1）　１つの学年で学級数はいくつあるとよいと思いますか（１つ）

○２学級以上の複数学級を希望する回答が全体の 70%を超える

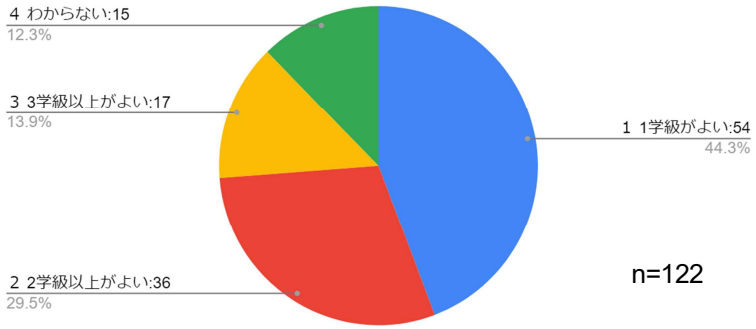


n=1026

○単学級のみの学校に在籍している児童生徒の回答

現在単学級のみで構成されている学校に通う児童生徒は 44.3%が単学級を希望しているが、43.4%が２学級以上の希望となっている。

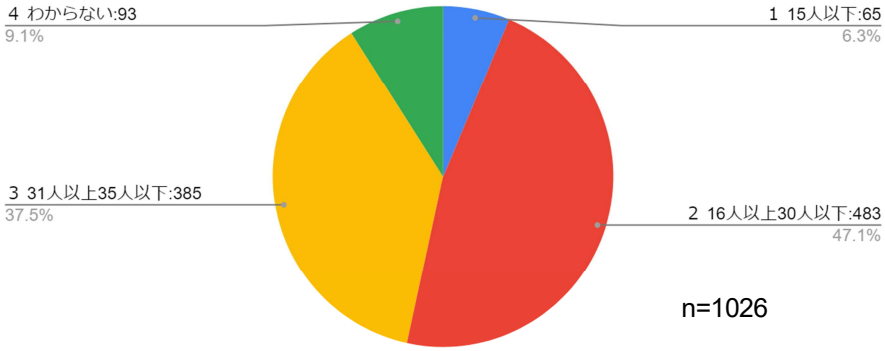
※集計校　稲田小学校、大原小学校、岩間第二小学校、みなみ学園



n=122

問５　１学級あたりの人数は何人がいいですか（１つ）

○「16 人以上～30 人以下」を希望する回答が 47. 1%と最も多い。

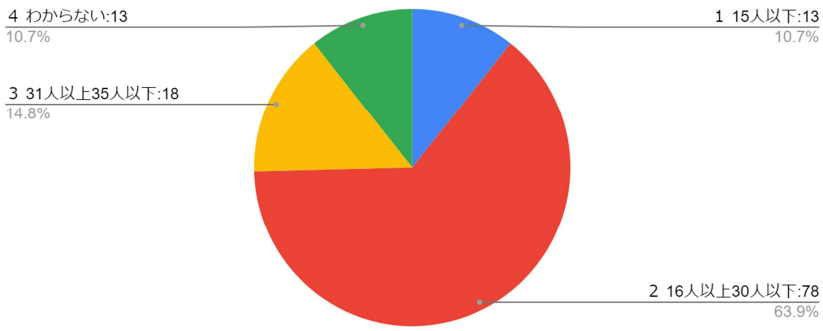


n=1026

○単学級のみの学校に在籍している児童生徒の回答

現在単学級のみで構成されている学校に通っている児童生徒は63.9%が 16 人以上 30 人以下を希望しており、学級の規模はある程度大きいことが望ましいことがわかる。

※集計校　稲田小学校、大原小学校、岩間第二小学校、みなみ学園

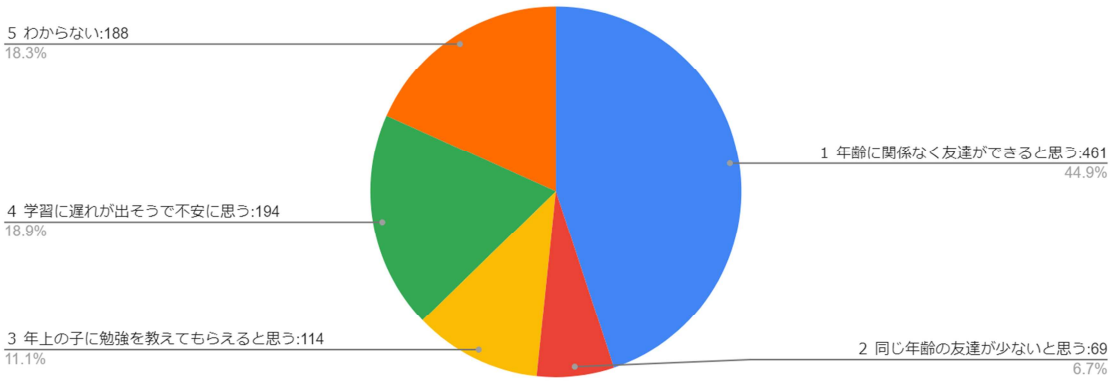


n=122

（３）学校の規模や存続について

問６　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか（１つ）

○「1　年齢に関係なく友達ができると思う」の回答が 44.9%となっている。

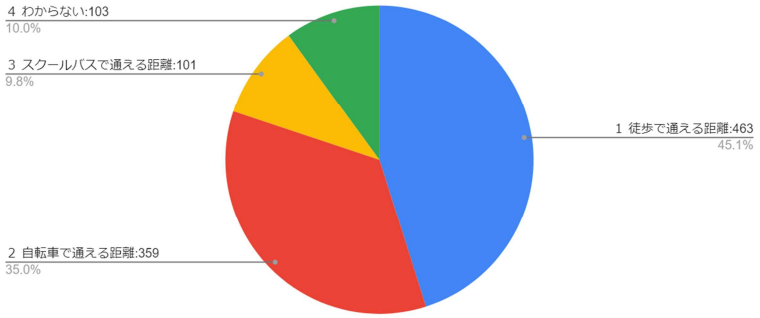


n=1026

（４）現在、通学している学校とは別の学校に通うことになった場合について

問７　小学校に通学する場合、学校までの距離はどのくらいまでなら通えますか（１つ）

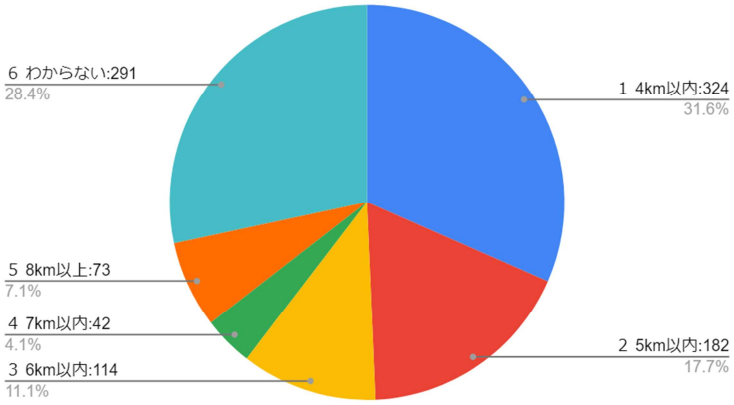
○徒歩、自転車での通学を希望する回答が 80%を超える。



n=1026

問８　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何ｋｍまで通えますか（１つ）

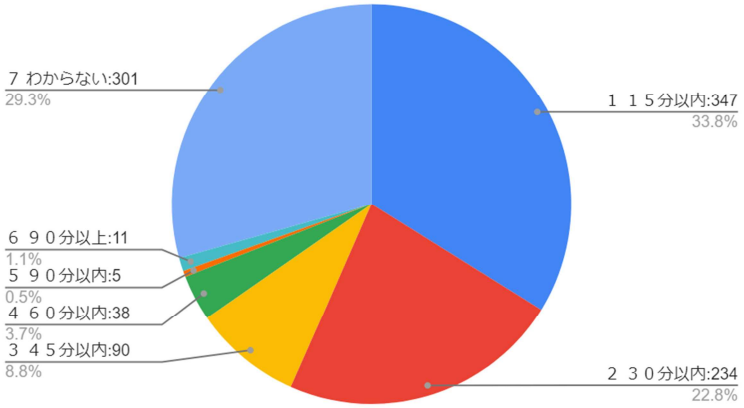
○自転車で通学する場合の通学距離は 6㎞ 以内の回答が全体の 60%以上を占めている。



n=1026

問９　小学校にスクールバスで通学することになった場合の通学時間は、自宅からバス停留所までの移動時間（徒歩）とバス乗車時間を合わせて、何分までがいいですか？（１つ）

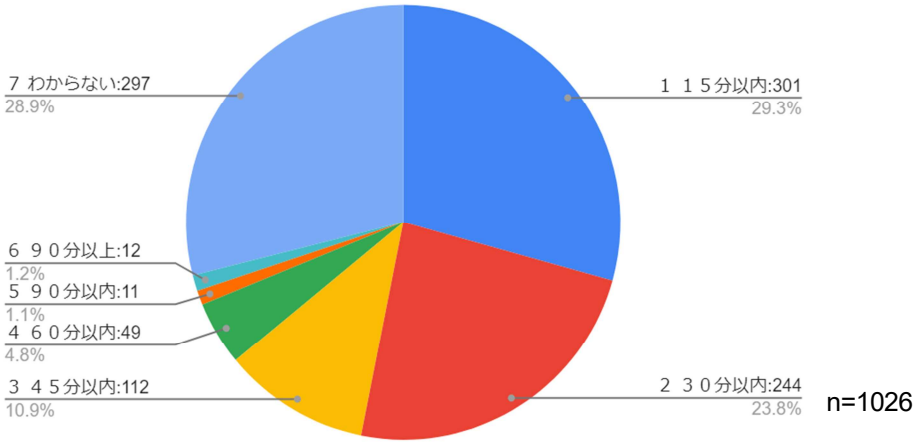
○30 分以内の通学時間を希望する回答が 50%を超える。また、「わからない」の回答も 29%を超えている。



n=1026

問 10　中学校にスクールバス通学することになった場合の通学時間は、自宅からバス停留所までの移動時間（徒歩）とバス乗車時間を合わせて、何分までなら通えますか（１つ）

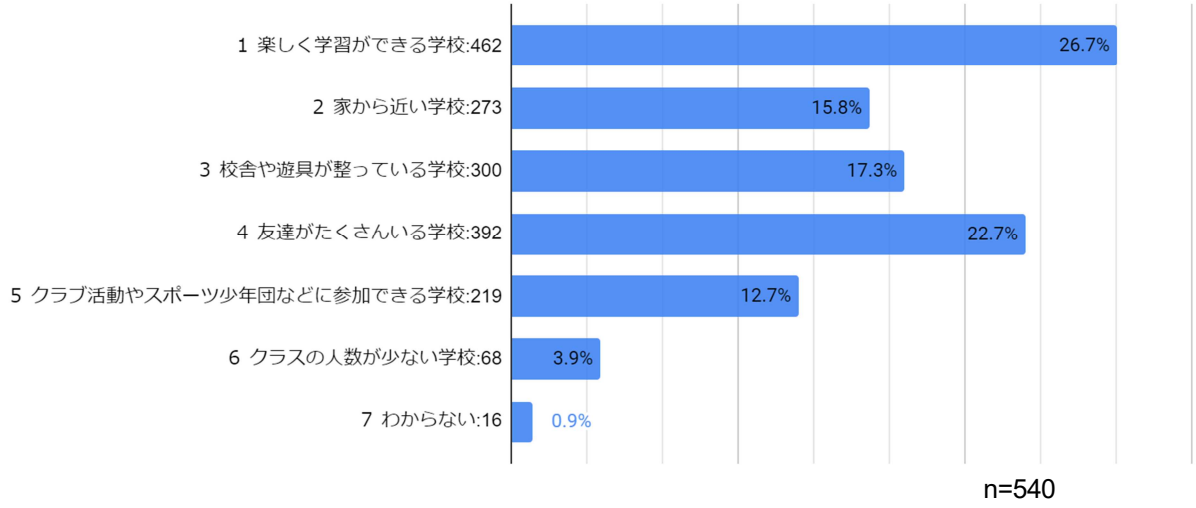
○30 分以内の通学時間を希望する回答が 60%を超える。また、「わからない」の回答も 25%を超えている。



（５）通いたい学校について

問 11　どんな小学校に通いたいですか（小学生のみ複数回答）

○「1　楽しく学習ができる学校」が 26.7%、「4　友達がたくさんいる学校」が 22.7%となっている。



その他自由記述

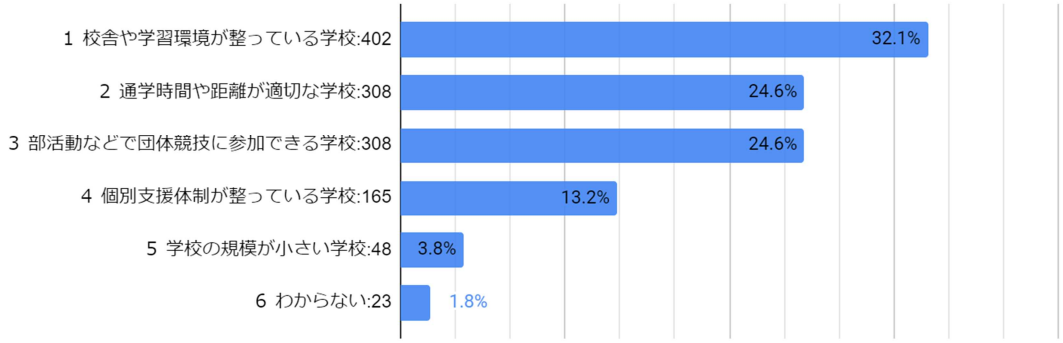
・授業を受けなくてもいい学校	・クラス替えがある学校
・先生が優しい学校	・サッカーやり放題
・家からちょと遠い	・休み時間にバスケができる
・いじめのない学校	・本がいっぱいある学校
・生徒が多い学校	・勉強の時間が長いクラス
・静かな所	・中休み昼休みが長く 5 時間授業で先生が優しい学校
・宿題がない学校。いつも二時下校で帰れる学校。	・メイクがしていける小学校
・自由度が高い学校。	・いじめや、喧嘩がない学校
・人数がたくさんいる学校	

・先生が優しくて一日大体 4 時間の学校 ・先生と友達のように話したり遊べる学校 ・宿題が無くて、自由に出来る ・暴力的な子がいない学校	・好きな時に家に帰れる学校 ・体育が多い学校・タブレット学習が多い学校 ・勉強のレベルが高い学校 ・校庭が広い学校 ・喧嘩がない学校

n=26

問 12　どんな中学校に通いたいですか（中学生のみ複数回答）

〇個別支援よりも学校生活の環境や通学、部活動を重視する回答が多くなっている。



n=486

その他自由意見

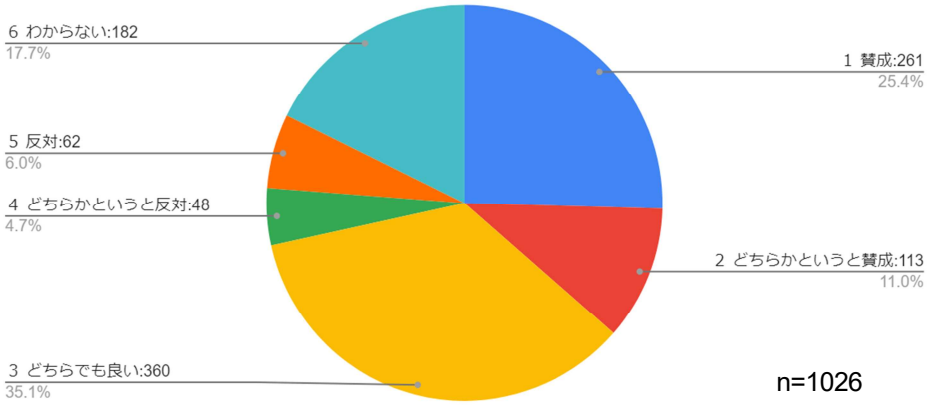
・楽しいところ ・オープンスペースがある学校 ・学校全体が明るく、クラスの雰囲気が良い学校。 ・体育祭とかが栄えている学校 ・音楽科がある学校 ・先生のことを信頼できる学校 ・平和な学校	・校外学習がたくさんある学校 ・生徒が意見を伝えることのできる学校 ・人数の多い学校 ・学校の規模が大きい学校 ・IT 関連の授業や整備が整っている学校 ・学校に行くことが楽しみになる学校 ・たくさん仲良く話せる友達がいっぱい居る学校、先生がしっかりわかりやすく授業を教えてくれる学校 ・楽しい学校

n=15

（６）小中一貫校（義務教育学校）に対する意向について

問 13　現在の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」がありますが小中一貫校についてどのように考えますか（１つ）

○「１　賛成」　「２　どちらかというと賛成」36.4%が　「４　どちらかというと反対」　「５　反対」を合わせた 10.7%を上回る。「わからない」の回答も 17.7%を占めている。



n=1026

問 13　現在の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」がありますが小中一貫校についてどのように考えますか（１つ）に対し、問１３で　「１　賛成」、「２　どちらかというと賛成」を選んだ人の意見

1 賛成 2 どちらかというと賛成	1 友達が増える	282
	2 クラブ活動や部活動において、団体競技の活動が可能となるため、種目の選択範囲が広がる	154
	3 異学年交流の場が少なくなる	25
	4 同じ学年でも、顔や名前を知らない人ができる	136
	5 学校行事等での役割分担や活躍する場や機会が少なくなる	40
	6 運動会や体育祭での対戦チーム（クラス）が増え、学校生活が盛り上がる	185
	7 わからない	24

n=374

問１３で　「３　どちらでも良い」を選んだ人の意見

3 どちらでも良い	1 友達が増える	253
	2 クラブ活動や部活動において、団体競技の活動が可能となるため、種目の選択範囲が広がる	138
	3 異学年交流の場が少なくなる	26
	4 同じ学年でも、顔や名前を知らない人ができる	152
	5 学校行事等での役割分担や活躍する場や機会が少なくなる	40
	6 運動会や体育祭での対戦チーム（クラス）が増え、学校生活が盛り上がる	162
	7 わからない	41

n=360

問１３で「４　どちらかというと反対」、「５　反対」を選んだ人の意見

4 どちらかというと反対 5 反対	1 友達が増える	53
	2 クラブ活動や部活動において、団体競技の活動が可能となるため、種目の選択範囲が広がる	26
	3 異学年交流の場が少なくなる	15
	4 同じ学年でも、顔や名前を知らない人ができる	55
	5 学校行事等での役割分担や活躍する場や機会が少なくなる	16
	6 運動会や体育祭での対戦チーム（クラス）が増え、学校生活が盛り上がる	37
	7 わからない	11

n=110

問１３で「６　わからない」を選んだ人の意見

6 わからない	1 友達が増える	110
	2 クラブ活動や部活動において、団体競技の活動が可能となるため、種目の選択範囲が広がる	43
	3 異学年交流の場が少なくなる	4
	4 同じ学年でも、顔や名前を知らない人ができる	41
	5 学校行事等での役割分担や活躍する場や機会が少なくなる	7
	6 運動会や体育祭での対戦チーム（クラス）が増え、学校生活が盛り上がる	71
	7 わからない	56

n=182

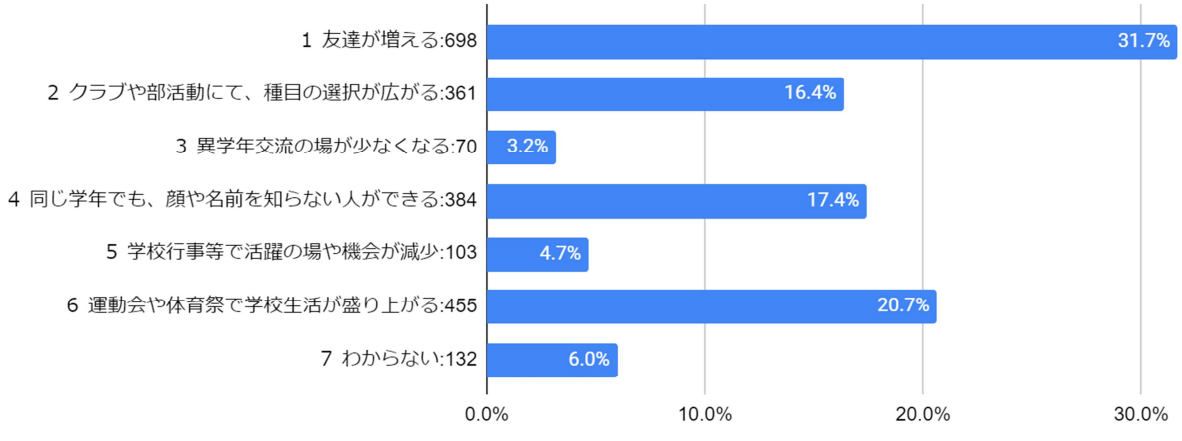
その他自由意見

・ある程度成長した年齢で統合したら、学年全体で平和に仲良くできないと思う
・とても迷惑で人数が多くなり、いじめやトラブルに発展する可能性　計８件
・運動会がやばくなる
・これ以上人が増えると使いたい物も使えなくなっちゃうからヤダ
・通学距離が増える可能性があり登下校の負担が増えて大変だと思う。　計３件
・反対
・友達関係が混ざっていまの友達との関係が崩れそう　計５件
・人数が増えるため勉強や進路のことに関して先生に相談しにくくなる
・うるさくなる
・それぞれの学校独自の文化・歴史・伝統などが無くなる恐れがある
・人数が増えた分問題事も増えそう　計３件
・デメリットとしては、喧嘩が起きやすい　計２件
・からかわれる
・今の生活に満足しているから、今までの生活が変化するのは嫌だ。
・途中から違う学校には行きたくないと思う。
・児童が増える分校舎も大きくなるため迷子になる
・人数が多いといろいろなことが時間がかかり、どんどんストレスがたまると思う。待ってる時間が多いのは嫌いなので、嫌です。
・学校が大きくなる　計２件

（７）学校の統廃合について

問 14　となりの学校と１つの学校になったらどう思いますか（３つまで）

○「１　友達が増える」「６　運動会や体育祭での対戦チーム（クラス）が増え、学校生活が盛り上がる」等の回答が多くなっている。



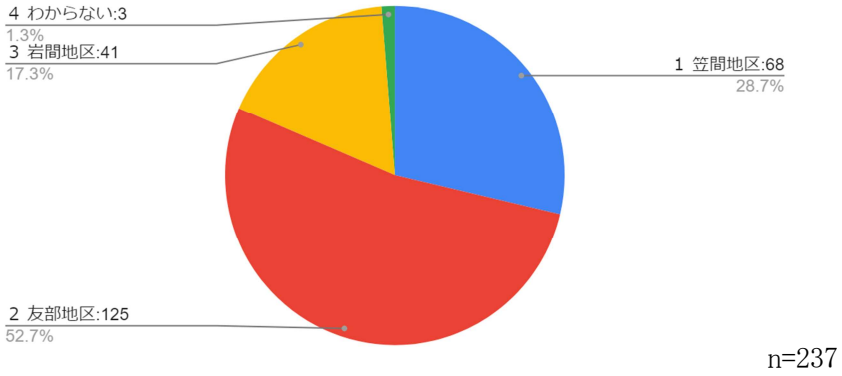
n=1026

２－１　児童生徒保護者調査　未就学児・年長生の保護者

（１）回答者の属性

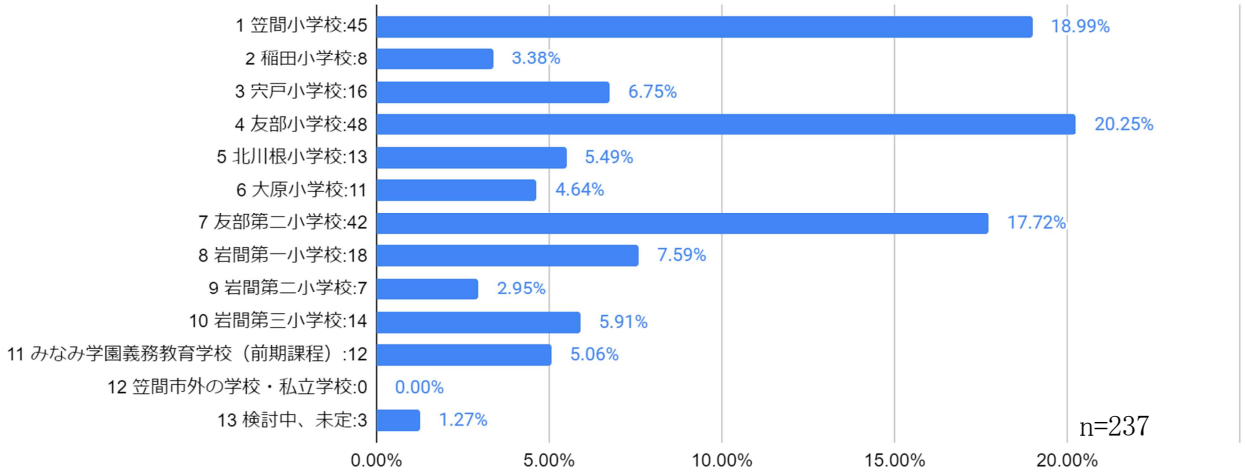
問１　あなたの居住する地区をお答えください（単一回答）

○居住地区の割合は友部地区が 52.7%で最多である。



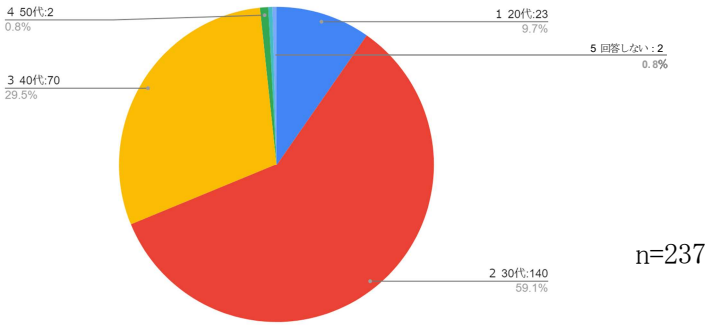
問２　お子様が就学する予定の学校名をお答えください（単一回答）

○就学予定の学校については、「笠間小」（18.9%）、「友部小」（20.2%）、「友部二小」（17.7%）などで１割を超え多くなっている。



問３　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

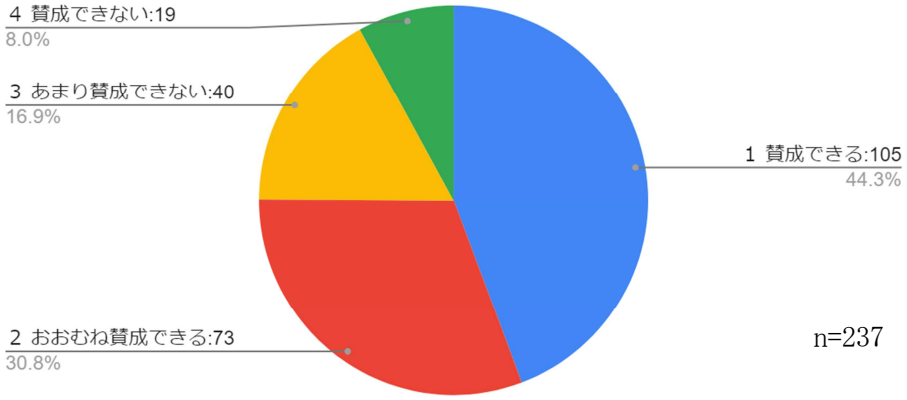
○回答者の年齢については、「20 代」が 9.7%、「30 代」が 59.1%である。



（２）基本方針についてのあなたのお考えをお答えください

問 4(1) 小学校（1 学年 2 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 70%を超える。年代別での回答の傾向も大きく傾向に差異は見られない。



n=237

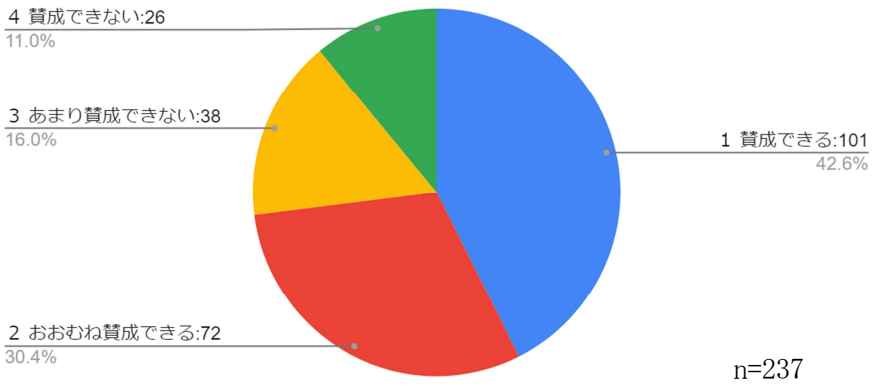
年代別集計

年代別	回答項目			
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
1 20代	13	3	3	4
	5.5%	1.3%	1.3%	1.7%
2 30代	59	43	26	12
	24.9%	18.1%	11.0%	5.1%
3 40代	32	25	11	2
	13.5%	10.5%	4.6%	0.8%
4 50代	0	1	0	1
	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
6 その他	1	0	0	0
	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	0	1	0	0
	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
総計	105	73	40	19
	44.3%	30.8%	16.9%	8.0%

n=237

問 4(2) 中学校（1 学年 3 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 70%を超える。年代別での回答の傾向も同様である。



n=237

年代別集計

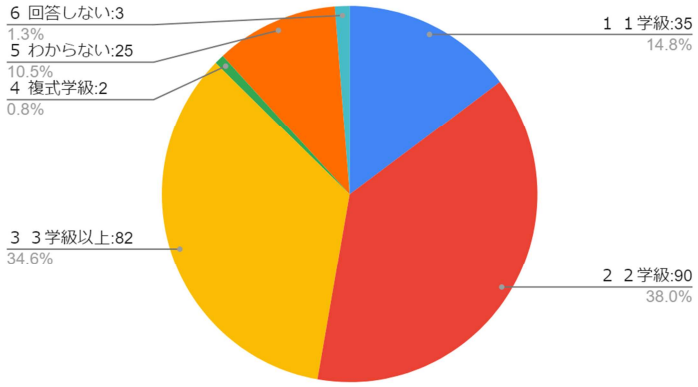
年代別	回答項目			
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
1 20代	12	2	5	4
	5.1%	0.8%	2.1%	1.7%
2 30代	58	44	21	17
	24.5%	18.6%	8.9%	7.2%
3 40代	31	23	12	4
	13.1%	9.7%	5.1%	1.7%
4 50代	0	1	0	1
	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
6 その他	0	1	0	0
	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
7 回答しない	0	1	0	0
	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
総計	101	72	38	26
	42.6%	30.4%	16.0%	11.0%

n=237

（３）あなたがお住いの地区の学校の規模について

問５　小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

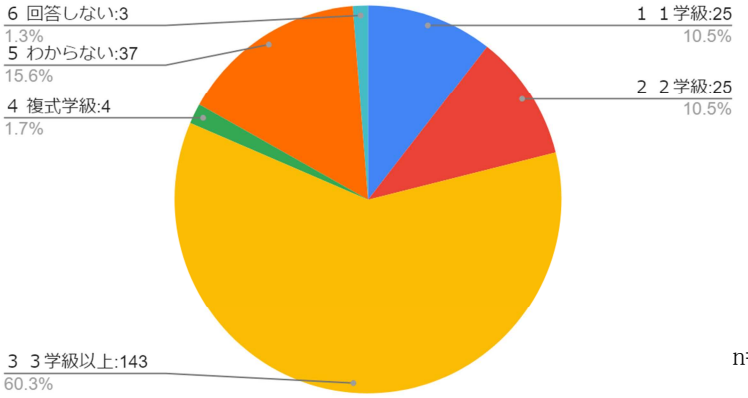
〇70%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。



n=237

問６　中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

〇70%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。

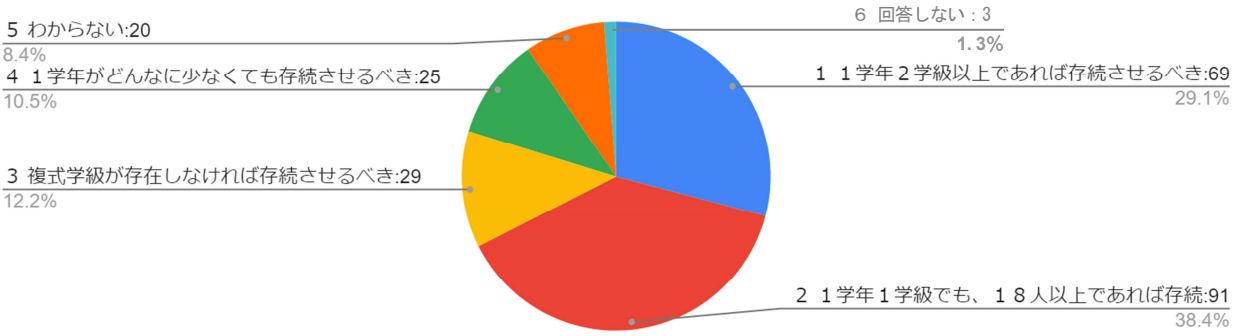


n=237

（４）あなたがお住いの地区の学校の存続について

問７　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○総数での回答を集計すると「１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が多い。年代別集計で見ると 30 代・40 代で最多となっている。



n=237

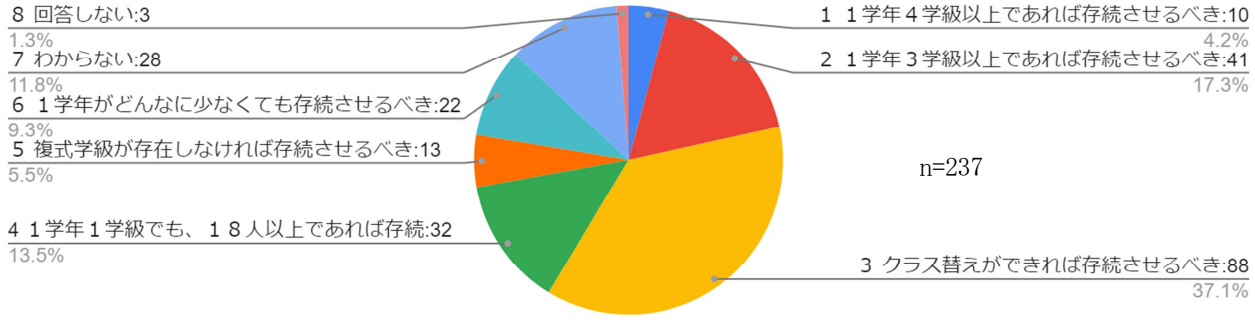
年代別集計

年代別	回答項目					
	1 １学年２学級以上であれば存続させるべき	2 １学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき	3 複式学級が存在しなければ存続させるべき	4 １学年がどんなに少なくても存続させるべき	5 わからない	6 回答しない
1 20代	7	5	3	4	3	1
	3.0%	2.1%	1.3%	1.7%	1.3%	0.4%
2 30代	41	57	15	15	11	1
	17.3%	24.1%	6.3%	6.3%	4.6%	0.4%
3 40代	20	27	11	6	5	1
	8.4%	11.4%	4.6%	2.5%	2.1%	0.4%
4 50代	1	1	0	0	0	0
	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 その他	0	1	0	0	0	0
	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	0	0	0	0	1	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
総計	69	91	29	25	20	3
	29.1%	38.4%	12.2%	10.5%	8.4%	1.3%

n=237

問８　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○総数・年代別での回答を集計すると「３　クラス替えができる１学年２学級以上であれば存続させるべき」との回答が多い。



年代別

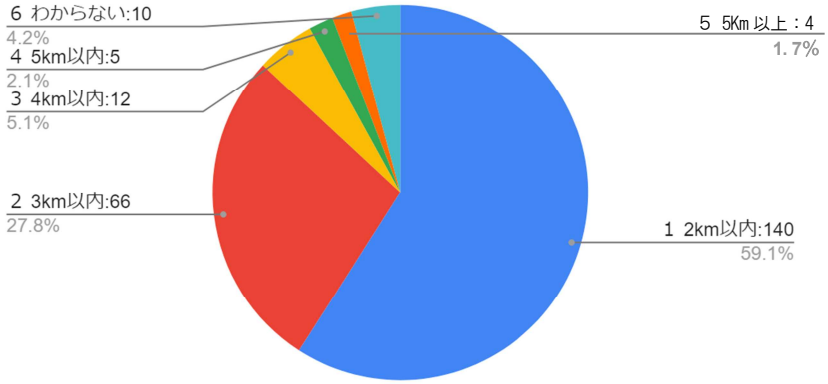
年代別	回答項目							
	1 1学年4学級以上であれば存続させるべき	2 1学年3学級以上であれば存続させるべき	3 クラス替えができる1学年2学級以上であれば存続させるべき	4 1学年1学級であっても、1学年の平均が18人以上であれば存続させるべき	5 複式学級が存在しなければ存続させるべき	6 1学年がどんなに少なくても存続させるべき	7 わからない	8 回答しない 0
1 20代	1	2	4	4	2	5	5	
	0.4%	0.8%	1.7%	1.7%	0.8%	2.1%	2.1%	0.0%
2 30代	7	25	55	18	7	12	15	1
	3.0%	10.5%	23.2%	7.6%	3.0%	5.1%	6.3%	0.4%
3 40代	2	13	28	9	4	5	7	2
	0.8%	5.5%	11.8%	3.8%	1.7%	2.1%	3.0%	0.8%
4 50代	0	1	0	1	0	0	0	0
	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 その他	0	0	1	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	0		0	0	0	0	1	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
総計	10	41	88	32	13	22	28	3
	4.2%	17.3%	37.1%	13.5%	5.5%	9.3%	11.8%	1.3%

n=237

（５）あなたがお住いの地区の学校が現在と異なる場所（学校）と統合した場合について

問９　小学校に徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何 km までが適当と考えますか（単一回答）

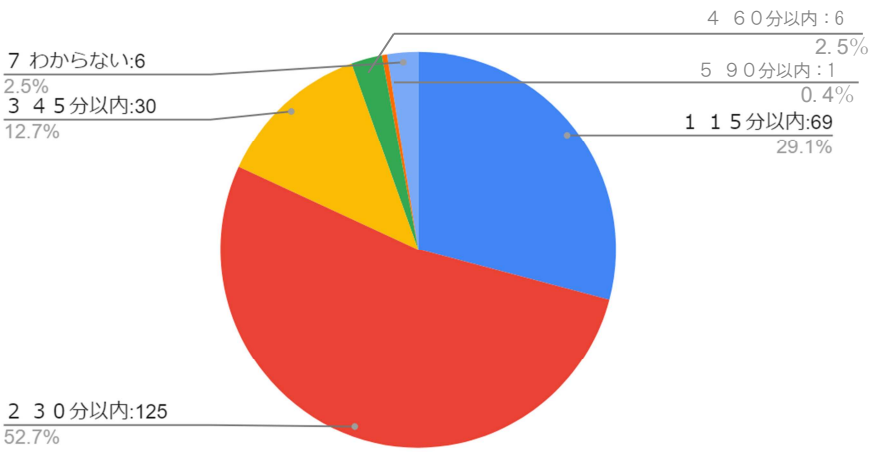
○通学距離については 3Km 以内の回答が 80%以上を占める。



n=237

問 10　小学校にスクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

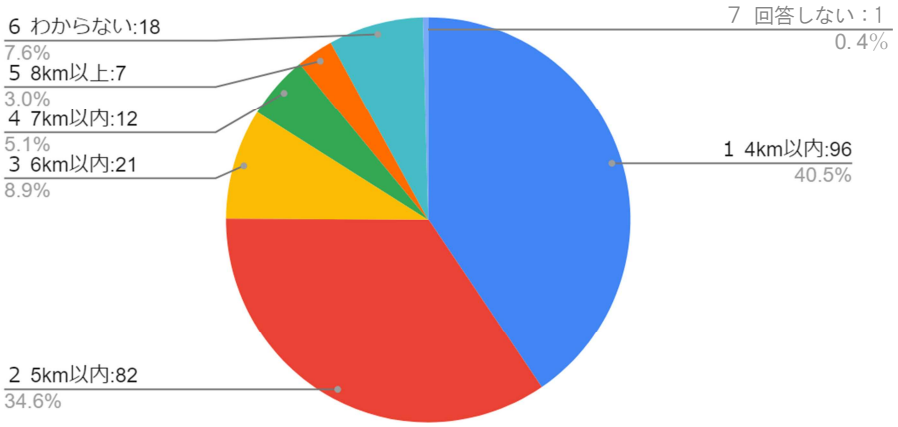
○通学に要する時間については 30 分以内が全体の 80%を超える。



n=237

問 11　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何 km までが適当と考えますか（単一回答）

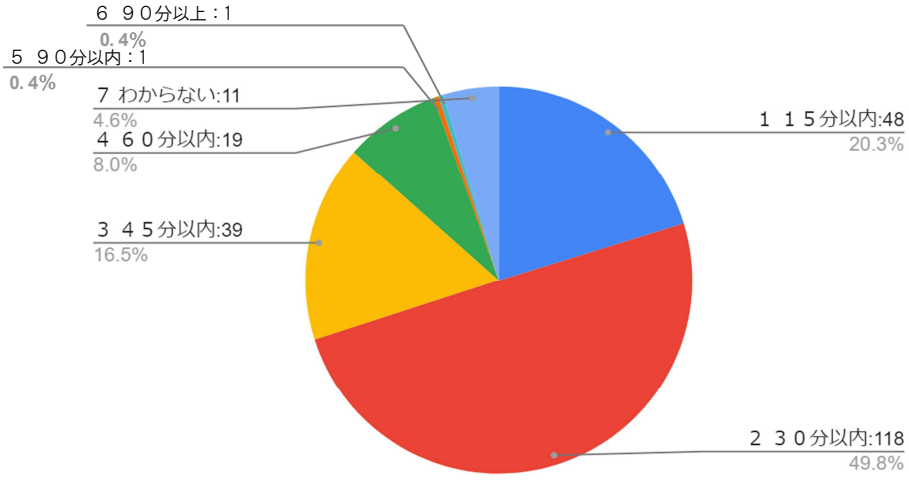
○通学距離については 5Km 以内の回答が 75%以上を占める。地区により大きな違いは無い。



n=237

問 12　中学校にスクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

○通学に要する時間については 30 分以内の希望が全体の 70%を超える。地区により大きな違いは無い。

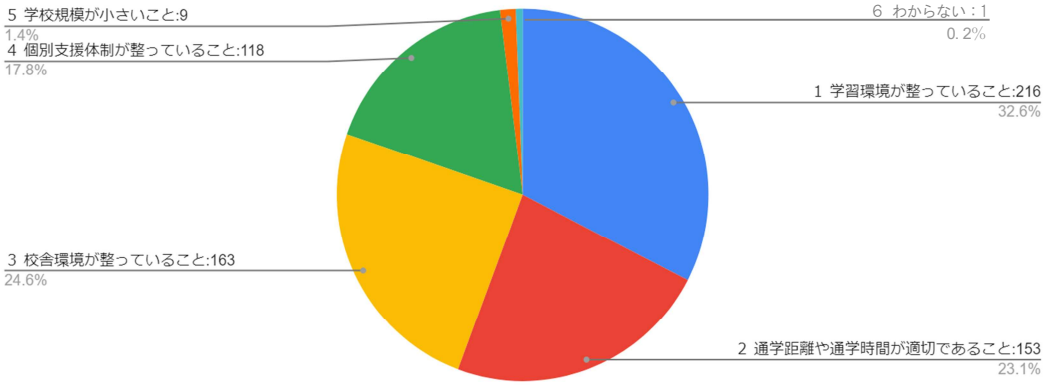


n=237

（６）あなたがお住いの地区の学校の通学条件や教育条件について

問 13　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○回答は以下のとおりであり、「1　学習環境が整っていること」が最も多い



n=237

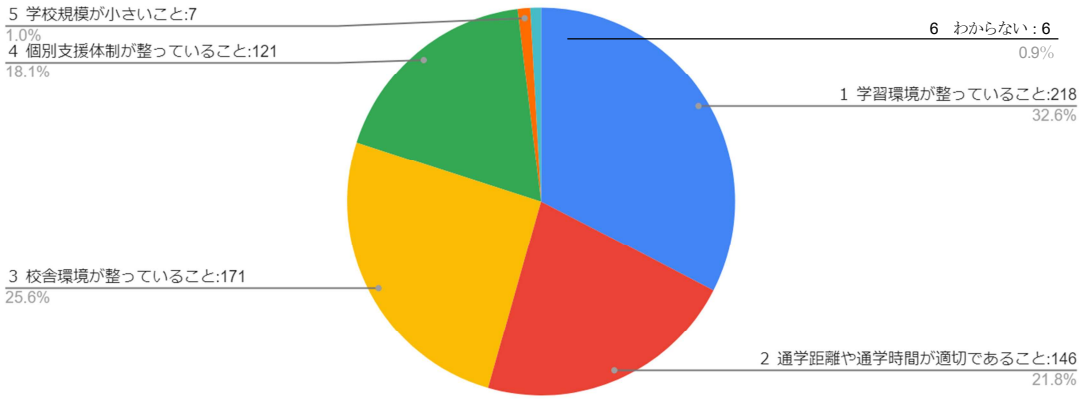
その他自由意見

・住んでいる地区の学校に通えること ・通学路の安全が確保されていること ・自分が一学年２組くらいの学校で育って充実していたので、規模で考えること自体がおかしいと感じます。多ければ多いだけ目も届かない、問題が多い子も多く感じる。運営する側としては少人数に先生を用意することの大変さはわかりますが、先生も生徒もとても楽しい学校でした。 ・先生の指名ができること。 ・仕事してるため学童に預けられること ・通学路の安全性、ボランティアや防犯カメラなどがあるか	・35 人、支援児が 5 人、1 人担任では、保護者として不安。支援児が多いのであれば、2 クラスにするべき。 ・いじめ問題 ・湯崎地区は通学距離が 2 キロであっても自転車通学になるが、自転車でいくことで学童に預けにくくなり困る。（お迎えのときに車に自転車が乗らない)2 キロ前後の距離であればもっと街灯を増やすなどして頂き、徒歩での通学も認めて欲しい。

n=9

問 14　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○回答は以下のとおりであり、「1　学習環境が整っていること」が最も多い。次いで「３　校舎環境が整っていること」が多い。



その他自由意見

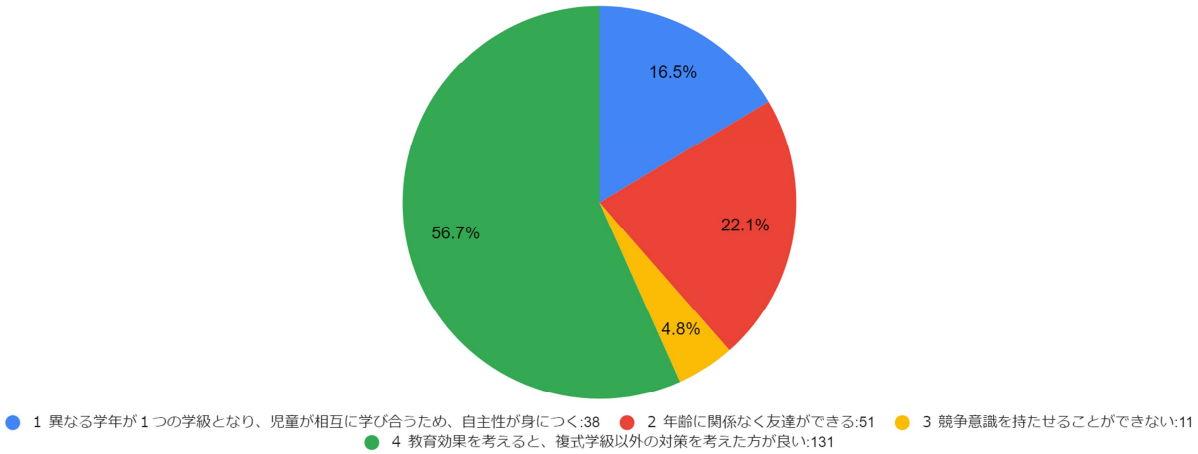
・住んでいる地区の学校に通えること ・通学路の安全が確保されていること ・通学路の安全性、防犯カメラなどがあるか	・人間関係に悩んだ時に真摯に対応してもらえる環境 ・先生の指名ができること ・部活動、教員の質 ・風紀がいいか。

n=7

（７）複式学級に対する意向について

問 15　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

〇50％以上の回答が複式学級以外の対策を望んでいる。



n=231

その他自由意見

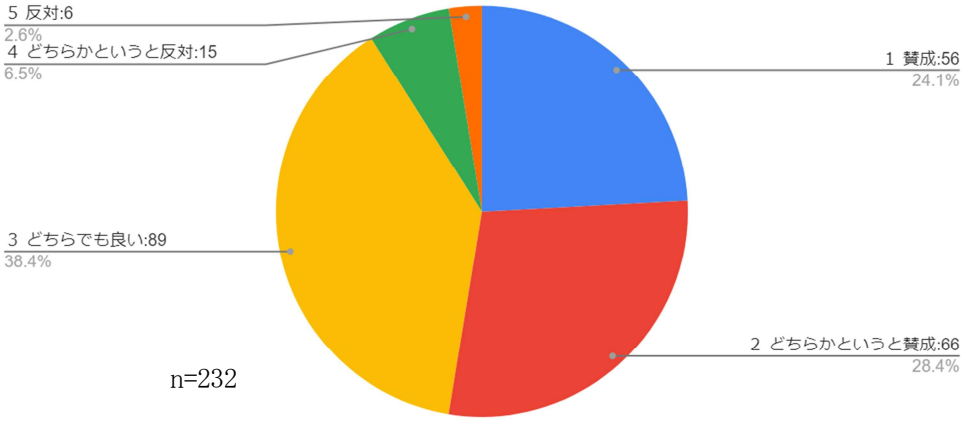
・構成されたメンバーに依るので何とも言えない。 ・子供は柔軟性があるので、例え複式学級になったとしても適応出来ると考えております。（児童によりますが。） ・詳しい学び方がわかりませんが学びに差が出てしまうかと思うので個別の対応が必要になってくると感じます。1 番の自主性も身につくと感じます。	・同じ学年であっても早生まれと遅生まれで差があり早生まれのこどもは劣等感を持ちやすいと検証されているのに、学年も違えば更に差が開いしてしまうと思う。 ・複式学級は反対 ・複数学年を導入するなら飛び級制度を取り入れるべき

n=6

（８） 小中一貫校に対する意向について

問 16　学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校 までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「１ 賛成」　「２ どちらかというと賛成」が 52.5%となり、「４ どちらかというと反対」「５ 反対」を合わせた 9.1%を上回る。



n=232

その他自由意見

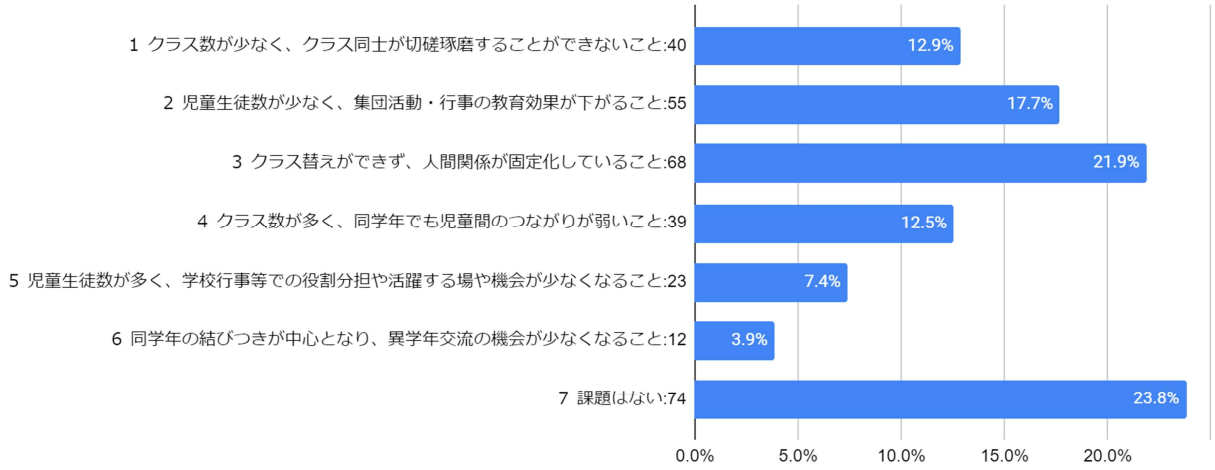
・概ね賛成ではあるがいじめなどがあった場合距離をおけないという問題点もある ・小中一貫よりは中高一貫に賛成のため ・是非は個別のケース毎に議論されるべき	・中高一貫校と相反するもので親としては混乱する ・同時に飛び級制度を取り入れるべき

n=5

（９）学校の統廃合について

問 17　通学する（予定含む。）学校に「課題」があればお選びください（３つまで）

○通学予定の学校に課題はないと考えている保護者が多いが、クラスや児童生徒の少ないことを課題と考えている回答も多くなっている。



n=237

○学校の規模と回答の相関

・各学年単学級のみで構成されている学校においては

①「２　児童生徒数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行・クラブ活動や部活動等の集団活動・行事の教育効果が下がること」、「３　クラス替えができず、人間関係が固定化していること」を課題と考えている。

各学年1学級の学校

			児童生徒数が少			児童生徒数が多			
問17回答数に対しての割合	現学級数	回答数	1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
2 稲田小学校	6	8	50.0%	50.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
6 大原小学校	6	11	45.5%	54.5%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 岩間第二小学校	6	7	28.6%	28.6%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
11 みなみ学園義務教育学校	6	12	16.7%	41.7%	66.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%

n=38

・各学年 1～2 学級で構成されている学校においては

②「３　クラス替えができず、人間関係が固定化していること」を課題と考えている。

各学年1～2学級の学校

			児童生徒数が少			児童生徒数が多			
問17回答数に対しての割合	現学級数	回答数	1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
3 宍戸小学校	8	16	31.3%	18.8%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%	31.3%
5 北川根小学校	11	13	23.1%	15.4%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%
8 岩間第一小学校	12	18	22.2%	27.8%	27.8%	5.6%	11.1%	11.1%	33.3%
10 岩間第三小学校	8	14	35.7%	42.9%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%

n=61

2. 各学年 3 学級以上の学校においては、

①「４　クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童間のつながりが弱いこと」が最多となっている。ただし、笠間小学校においては児童生徒数が少ないことに起因する回答も一部多い。

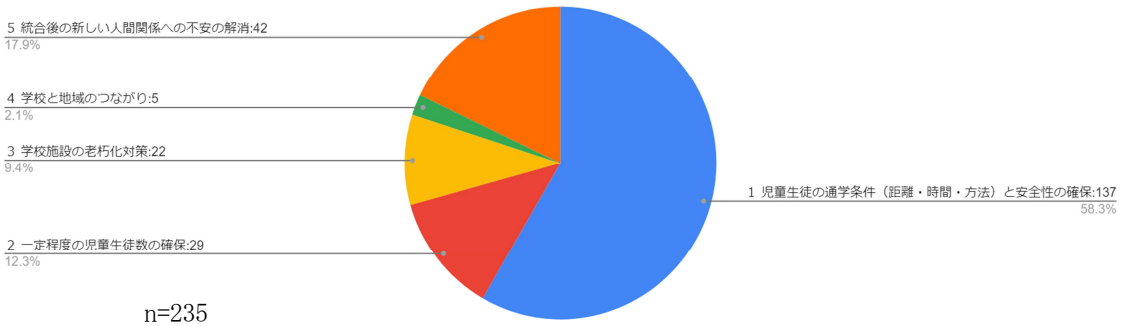
各学年3学級以上の学校

			児童生徒数が少			児童生徒数が多			
問17回答数に対しての割合	現学級数	回答数	1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
1 笠間小学校	22	45	17.8%	28.9%	15.6%	15.6%	17.8%	6.7%	37.8%
4 友部小学校	22	48	0.0%	6.3%	2.1%	39.6%	14.6%	10.4%	33.3%
7 友部第二小学校	18	42	4.8%	9.5%	9.5%	23.8%	9.5%	4.8%	52.4%

n=135

問 18　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを１つお選びください。

○「1　児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」が 58.3%と多数を占める。「2　一定程度の児童生徒数の確保」は 12.3%となっている。



n=235

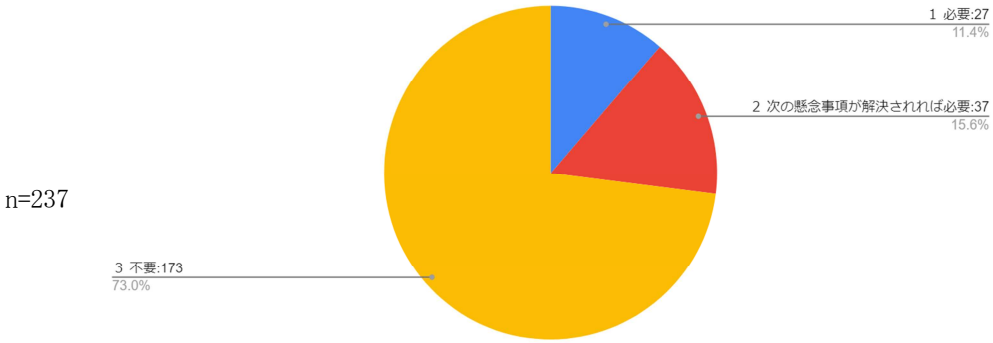
その他自由意見

・1 と 5	・わからない

n=2

問 19(1)-1 あなたの居住地区の小学校について、統合が必要だと思いますか

○70%以上が「統合は不要」としている。



n=237

問 19(1)-2 上の（1)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

1　必要と回答した場合

1 笠間小学校

・子どもの数が減少し続けているため必要になってくる。

・生徒数が確保できなくなり、校舎の老朽化対策としても統廃合がやむを得ないならば賛成します。

2 稲田小学校

・1 学年の人数が少ないから

・生徒数が少ないため

・明らかに児童数が少ないので、少数の人間関係で過ごしていくよりも、良くも悪くもたくさんの人の中で揉まれて生活するべきだと思うから。集団生活とはそういうものではないのでしょうか。

3 宍戸小学校

・クラス替えがないと、交友関係も難しくなる時が来ると思う

4 友部小学校

・教員の人員不足解消のため。

・子供が少なく、教師の質が低い為、統合し、子供を増やし、質の低い教師を解雇する

5 北川根小学校

・Because that’s the beginning

7 友部第二小学校

・少子化なので

10 岩間第三小学校

・1 学級の学年が増えてきており、周辺地域には複式学級になりそうな学校もある。統合し、人数が増えれば 2 学級になり、1 学級あたりの人数が減るので、もう少し指導が行き渡ると考えているからです。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

人数が少ない為

２ 懸念事項が解決されれば必要とした場合

1 笠間小学校

・遠方者の通学環境

・数年前にほぼ統合された。稲田、南は生徒数が少なく維持が大変だが、通学が困難となる人もいるのではないか。友部地区ばかり子育て世代が多い。育てやすい環境が整っている。笠間、岩間地区にも子育て世代がすみやすい環境を作っていく必要もあるのではないか？

・生徒数が少ない場合

3 宍戸小学校

・通学の距離や方法、安全面など

4 友部小学校

・通学状況の改善、今後統合などになった場合兄弟それぞれ別の小学校になるなど発生する可能性があるためその点は考慮していただきたい

5 北川根小学校

・人数が少なすぎる

6 大原小学校

・生徒数があまりにも少なすぎる

8 岩間第一小学校

・スクールバスなど、送迎においての負担が軽減される場合

10 岩間第三小学校

・１クラス 35 人で目が行き届いていないのに 1 人担任で、２クラスに出来ないのであれば、一貫校にしていく必要があると思う。通学バスなどを整えれば賛成。

３ 不要とした場合

1 笠間小学校

・すでに統廃合されているから。

・今のままで問題ないから

・今現在はクラス数などに不満はない

・他に通学可能な小学校が近場にない

・統合する学校が近くにない

2 稲田小学校

・通いづらい

3 宍戸小学校

・一クラスには十分な人数がいるため。

・通学路や方法の安全性は必要性不可欠として、人数が少ないデメリットよりは統廃合で少し距離が遠くなることのほうが許容できる気がする。　ただ、宍戸は地域とのつながりや他学年との関係が良好とも聞いており、その環境は継続してほしいので。

4 友部小学校

・クラス数がすでに多い。

・わからないを選択したかった

・現状では生徒数が多く、統合の必要性がないと考えているため

・今の人数が適正だと思うため

・特になし

・友部地区は児童生徒数が確保されていると考えるため　計4件

5 北川根小学校

・現状自転車通学でこれ以上遠くなると学業に差し支えそう

6 大原小学校

・現状少人数で先生の目が行き届いていてありがたい

・施設は素晴らしく環境が良いため

7 友部第二小学校

・まだ子供を小学校に入れていないので現状がわからない。　計2件

・マンモス校なので必要はない

・一学年3クラスずつあり、人数が多いため

・今でも十分は児童数がいるから　計2件

・子どもが少ないようには見えないから

・新築住宅が増え生徒の増加が予想されるため

・人口が多いため

8 岩間第一小学校

・近くて、便利で安心です！

・現時点では、不要かと。今後の減少傾向次第では必要かと思う。

・今のところ2学級の人数を確保しているため　計3件

10 岩間第三小学校

・まだある程度の人数がいるから

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・今特に問題ないから

・地域に学校がなければ、地域の結びつきがなくなるため。

問 19(1)-3 あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

就学予定学校名	居住地区の小学校について、統合を希望 又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間小学校	1 笠間小学校	12
	13 わからない	4
	14 回答しない	2
2 稲田小学校	1 笠間小学校	8
	14 回答しない	2
3 宍戸小学校	7 友部第二小学校	4
	4 友部小学校	2
	13 わからない	2
4 友部小学校	4 友部小学校	6
	13 わからない	6
	7 友部第二小学校	2
	6 大原小学校	2
	5 北川根小学校	2
5 北川根小学校	13 わからない	6
	6 大原小学校	2
	5 北川根小学校	2
6 大原小学校	6 大原小学校	2
	4 友部小学校	2
	1 笠間小学校	2
7 友部第二小学校	13 わからない	6
	7 友部第二小学校	2
	6 大原小学校	2
	5 北川根小学校	2
8 岩間第一小学校	10 岩間第三小学校	4
	9 岩間第二小学校	2
	14 回答しない	2
9 岩間第二小学校	10 岩間第三小学校	4
	5 北川根小学校	2
	13 わからない	2
10 岩間第三小学校	8 岩間第一小学校	4
	9 岩間第二小学校	2
	14 回答しない	2
	13 わからない	2

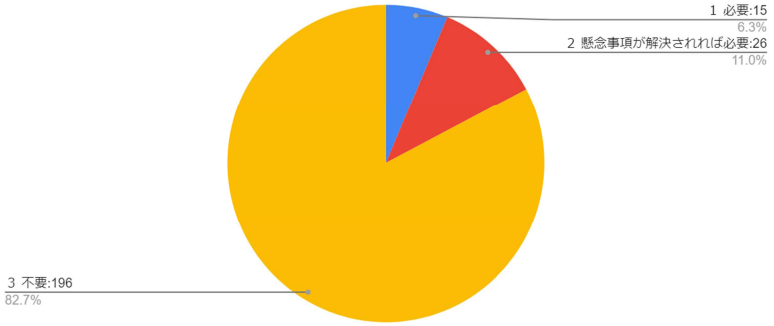
	10 岩間第三小学校	2
11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	6
	14 回答しない	2
13 検討中、未定	13 わからない	2

n=122

※居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３　不要」と回答した場合を除く

問 19　(2)-1 あなたの居住地区の中学校について、統合が必要だと思いますか

○80%以上が「統合は不要」としている。



n=237

問 19(2)-2 上の (2)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

1　必要と回答した場合

1 笠間小学校
- 生徒数が確保されず、校舎の老朽化対策として統廃合が止むを得ないならば賛成します。
- 生徒数が少ないため、みなみ、稲田の維持管理が大変。体力も着くので小学校より多少通学時間がかかっても問題ないのではないかと思う。
- 部活動の充実を図って子ども達の選択肢が増えれば良いと思う

2 稲田小学校
- 生徒数が少ないため
- 中学校こそ、少人数では何も学べないと思う。また部活動に関しても人数が少なくては、好きな部活動も選べない、大会にも出られないなど、問題だらけではないのか。

4 友部小学校
- 子供が少なく、教師の質が低い為、統合し、子供を増やし、質の低い教師を解雇する
- 制服を統一して欲しい。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）
- 小中一貫校のメリットをあまり感じないため
- 人数が少ない

2　懸念事項が解決されれば必要とした場合

1 笠間小学校
- 生徒数が少ない場合

2 稲田小学校
- 子供は６歳差なので何年後統合するのかはっきりして欲しいです。
- 統合先で制服、体操服、バックなどお下がり出来ずに買い直しになるのか不安です。

補助金が出るのか…

4 友部小学校

・学校により部活や勉学の質に差があるため学校を選べる選択肢は必要になる場合もあると思う

３ 不要とした場合

1 笠間小学校

・学級数があるから。
・近くに統合する学校がない
・現状の人数が分からない
・生徒数が少なすぎれば必要〃
・今のままで問題ないから
・今現在はクラス数などに不満はない
・通学可能な中学校が近くにない

3 宍戸小学校

・まだ必要性を感じない
・中学の人数まではわからない

4 友部小学校

・すでにクラス数が多い。
・わからないを選択したかった
・今の人数が適正だと思うため
・児童が多いから　計３件
・生徒数が多く、現状では統合の必要性がないため
・友部は生徒数が多く、中学校が２つしかないため。
・理由はない

5 北川根小学校

・あまり必要性を感じない。少子化で成り立たないのであればやむをえないかと思う。

7 友部第二小学校

・現状がわかるデータがないのでわかりません。
・今でも十分な生徒数がいるから
・子どもが少ないようには見えないから
・児童数が多いから
・新築住宅が増え生徒の増加が予想されるため
・人口が多いため
・入学前なので実情がわからない
・友部出身でないので通ってもないのにわからない

8 岩間第一小学校

・３学級保たれるのであれば
・学級数があるため
・岩間には一校しかないから。
・今まで大丈夫ですから、問題ないから
・生徒数が多いから
・中学校の人数等の規模がわからないので回答致しかねます。

10 岩間第三小学校

・岩間地区には一つは中学校が必要だと考えるから。

・状況がわからないから

問 19 (2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

就学予定学校名	居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間小学校	１ 笠間中学校	5
	２ 稲田中学校	2
	8 わからない	1
2 稲田小学校	１ 笠間中学校	4
	9 回答しない	1
4 友部小学校	３ 友部中学校	4
	8 わからない	3
5 北川根小学校	8 わからない	1
	３ 友部中学校	1
	２ 稲田中学校	1
7 友部第二小学校	8 わからない	4
	４ 友部第二中学校	2
9 岩間第二小学校	8 わからない	1
10 岩間第三小学校	５ 岩間中学校	3
	8 わからない	1
11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	3
	9 回答しない	1
	8 わからない	1
	１ 笠間中学校	1
13 検討中、未定	8 わからない	1

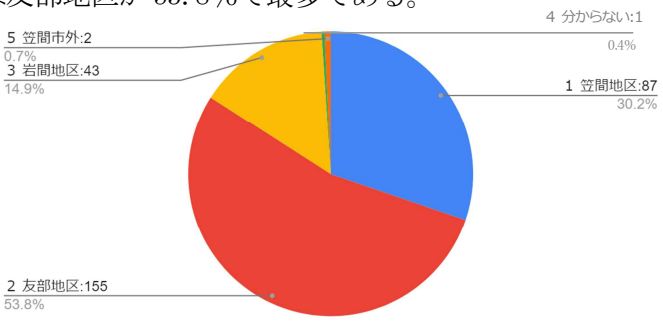
n=41

※居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかに対し「３ 不要」と回答した場合を除く

（１）回答者の属性

問１　あなたの居住する地区をお答えください（単一回答）

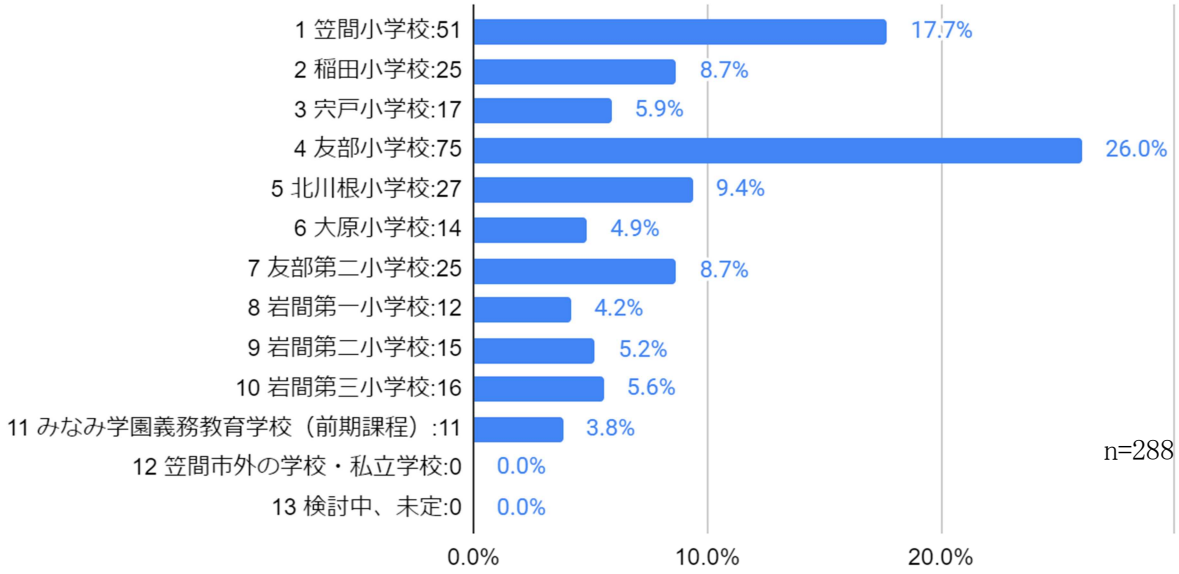
○居住地区の割合は友部地区が 53.8%で最多である。



n=288

問２　お子さんが通学する学校名をお答えください（単一回答）

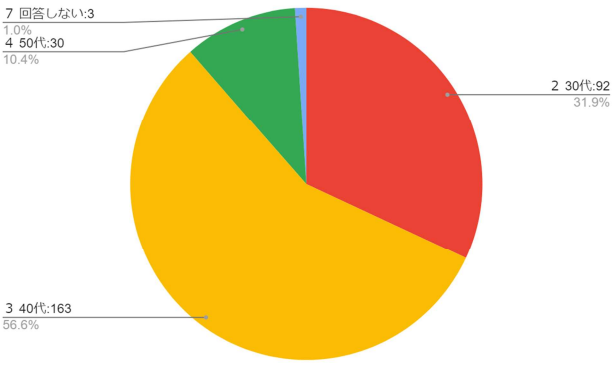
○通う学校については、「笠間小」(17.7%)、「友部小」(26.0%)などで１割を超え多くなっている。



n=288

問３　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

○回答者の年齢については、「30 代」が 31.9%、「40 代」が 56.6%である。

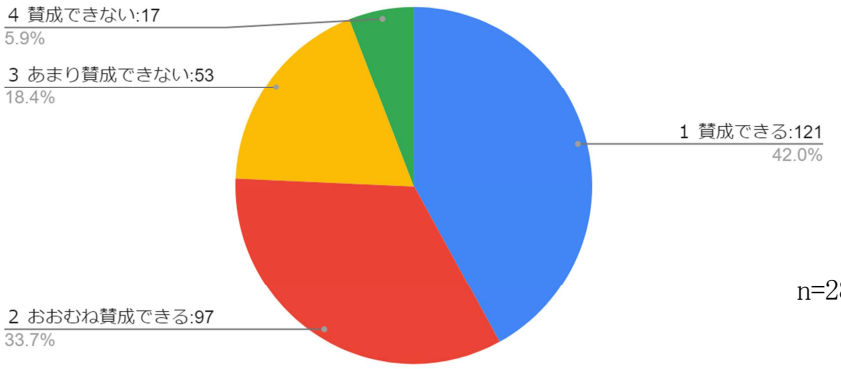


n=288

（２）基本方針についてのあなたのお考えをお答えください

問 4(1) 小学校（1 学年 2 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 70%を超える。年代別での回答の傾向も同様である。



n=288

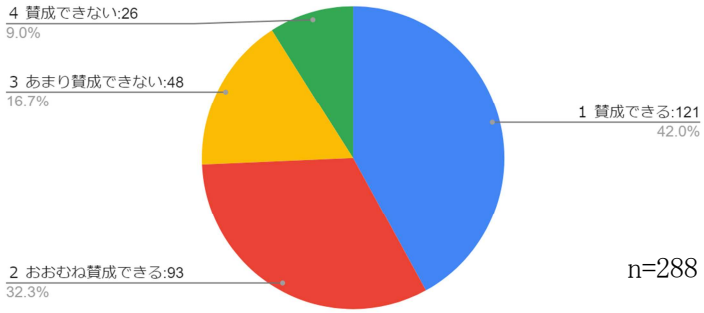
年代別

年代別	回答項目			
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
2 30代	38	32	15	7
	13.2%	11.1%	5.2%	2.4%
3 40代	69	56	31	7
	24.0%	19.4%	10.8%	2.4%
4 50代	12	9	7	2
	4.2%	3.1%	2.4%	0.7%
7 回答しない	2	0	0	1
	0.7%	0.0%	0.0%	0.3%
総計	121	97	53	17
	42.0%	33.7%	18.4%	5.9%

n=288

問 4(2) 中学校（1 学年 3 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 70%を超える。年代別での回答の傾向も同様である。



n=288

年代別

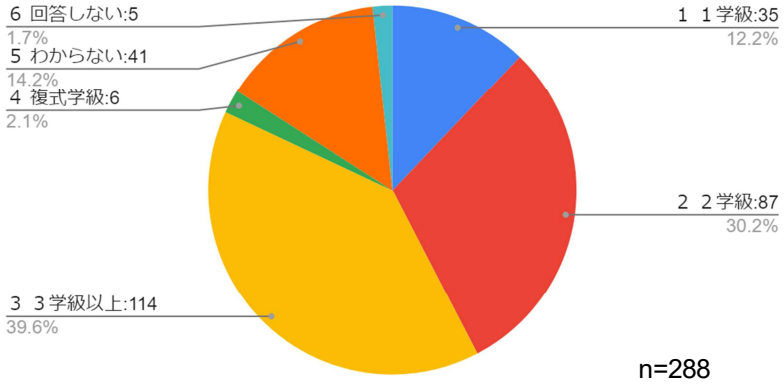
年代別	回答項目			
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
2 30代	37	30	14	11
	12.8%	10.4%	4.9%	3.8%
3 40代	69	54	28	12
	24.0%	18.8%	9.7%	4.2%
4 50代	12	9	6	3
	4.2%	3.1%	2.1%	1.0%
7 回答しない	3	0	0	0
	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	121	93	48	26
	42.0%	32.3%	16.7%	9.0%

n=288

（３）あなたがお住いの地区の学校の規模について

問５　小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

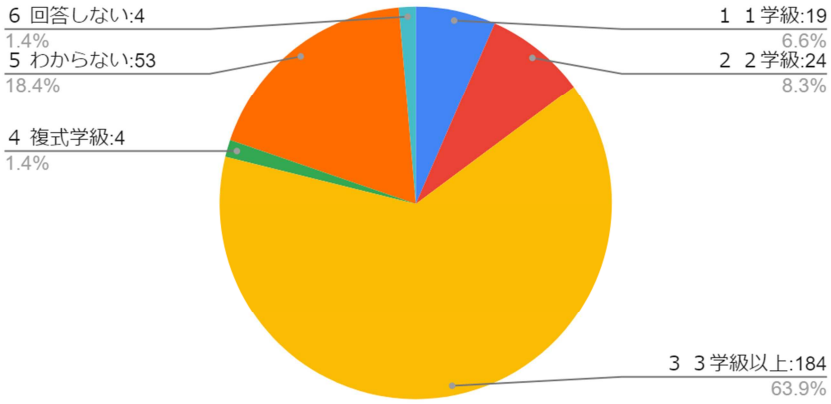
○65%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。



n=288

問６　中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

○70%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。また、60%以上が３学級以上が望ましいと回答している。

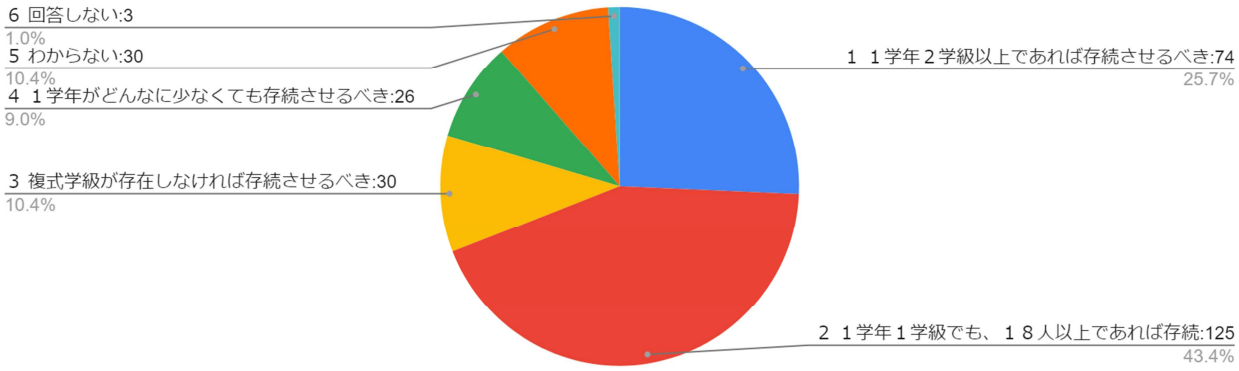


n=288

（４）あなたがお住いの地区の学校の存続について

問７　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○「２　１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が多い。年代による傾向に大きな差はみられない。



n=288

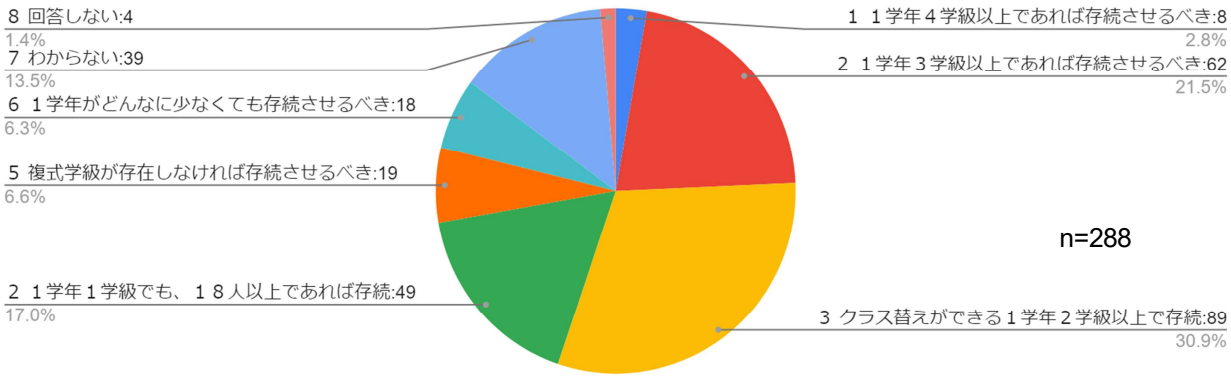
年代別

年代別	回答項目					
	1 １学年２学級以上であれば存続させるべき	2 １学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき	3 複式学級が存在しなければ存続させるべき	4 １学年がどんなに少なくても存続させるべき	5 わからない	6 回答しない
2 30代	22	44	6	7	12	1
	7.6%	15.3%	2.1%	2.4%	4.2%	0.3%
3 40代	42	69	20	15	15	2
	14.6%	24.0%	6.9%	5.2%	5.2%	0.7%
4 50代	9	12	3	4	2	0
	3.1%	4.2%	1.0%	1.4%	0.7%	0.0%
7 回答しない	1	0	1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
総計	74	125	30	26	30	3
	25.7%	43.4%	10.4%	9.0%	10.4%	1.0%

n=288

問８　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○過半数がクラス替えができる２学級以上と回答している。



n=288

年代別

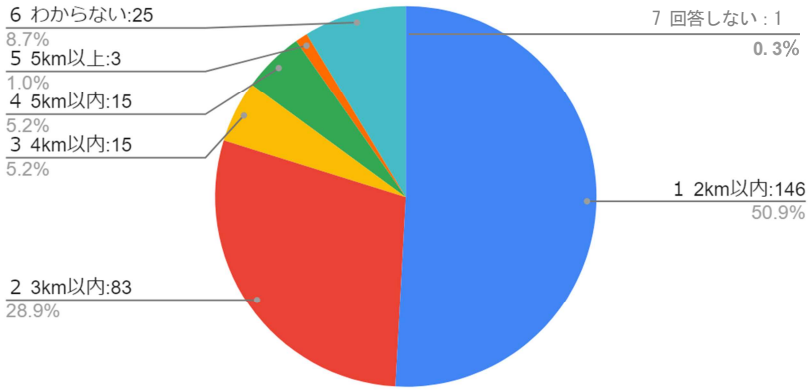
年代別	回答項目							
	１ １学年４学級以上であれば存続させるべき	２ １学年３学級以上であれば存続させるべき	３ クラス替えができる１学年２学級以上であれば存続させるべき	４ １学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき	５ 複式学級が存在しなければ存続させるべき	６ １学年がどんなに少なくても存続させるべき	７ わからない	８ 回答しない
２ 30代	5	16	32	13	4	5	15	2
	1.7%	5.6%	11.1%	4.5%	1.4%	1.7%	5.2%	0.7%
３ 40代	2	37	47	30	13	11	21	2
	0.7%	12.8%	16.3%	10.4%	4.5%	3.8%	7.3%	0.7%
４ 50代	1	8	9	6	2	2	2	0
	0.3%	2.8%	3.1%	2.1%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%
７ 回答しない	0	1	1	0	0	0	1	0
	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%
総計	8	62	89	49	19	18	39	4
	2.8%	21.5%	30.9%	17.0%	6.6%	6.3%	13.5%	1.4%

n=288

（５）あなたがお住いの地区の学校が現在と異なる場所（学校）と統合した場合について

問９　小学校に徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何 km までが適当と考えますか（単一回答）

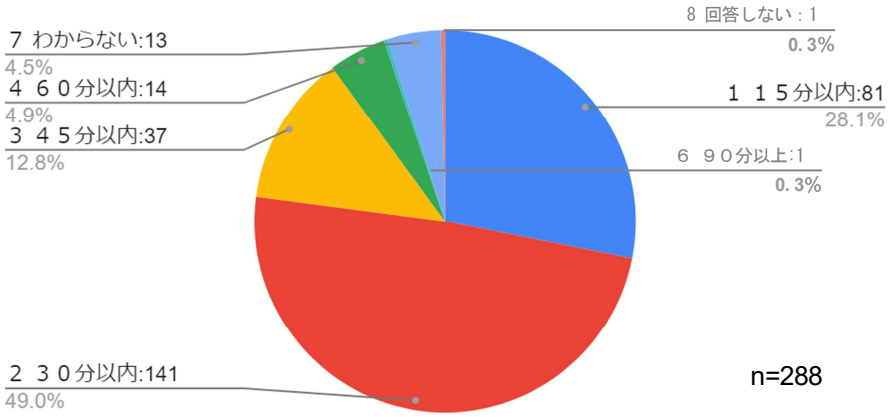
〇通学距離については 4Km 以内の回答が 80%以上を占める。



n=288

問 10　小学校にスクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）総数

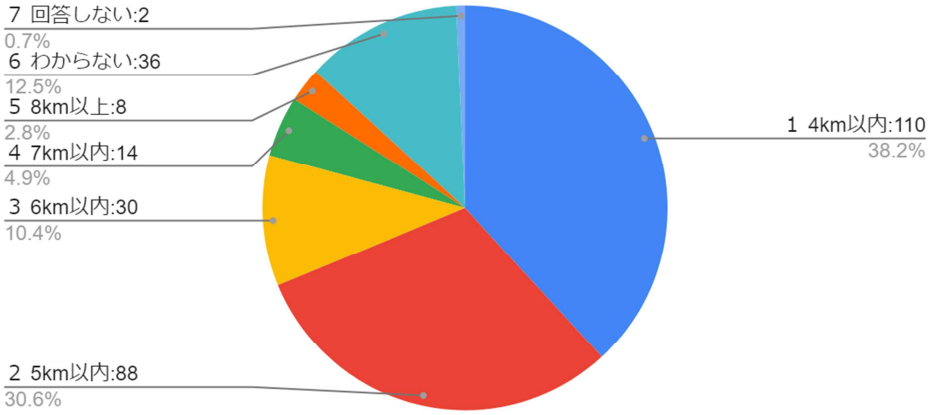
〇通学に要する時間については 30 分以内が全体の 75%を超える。



n=288

問 11　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何 km までが適当と考えますか（単一回答）

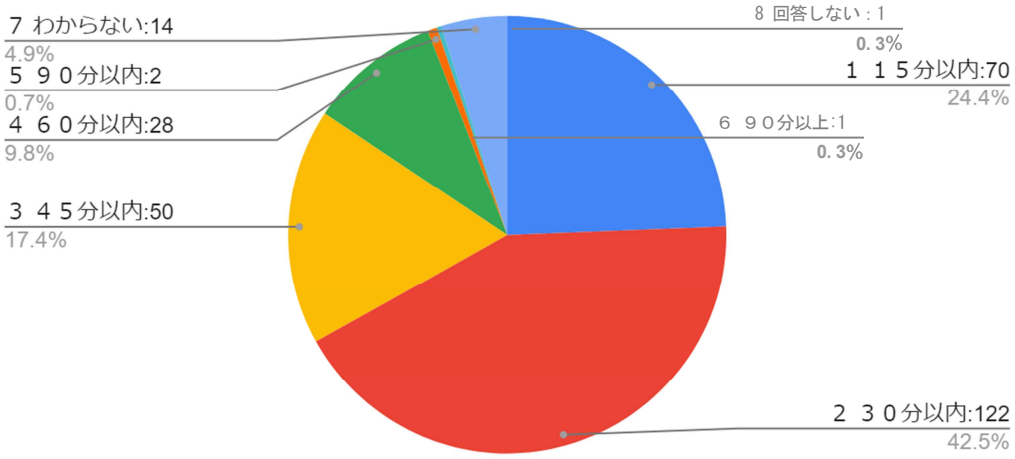
○通学距離については 5Km 以内の回答が 65%以上を占める。



n=288

問 12　中学校にスクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

○通学に要する時間については 30 分以内の希望が全体の 65%を超える。

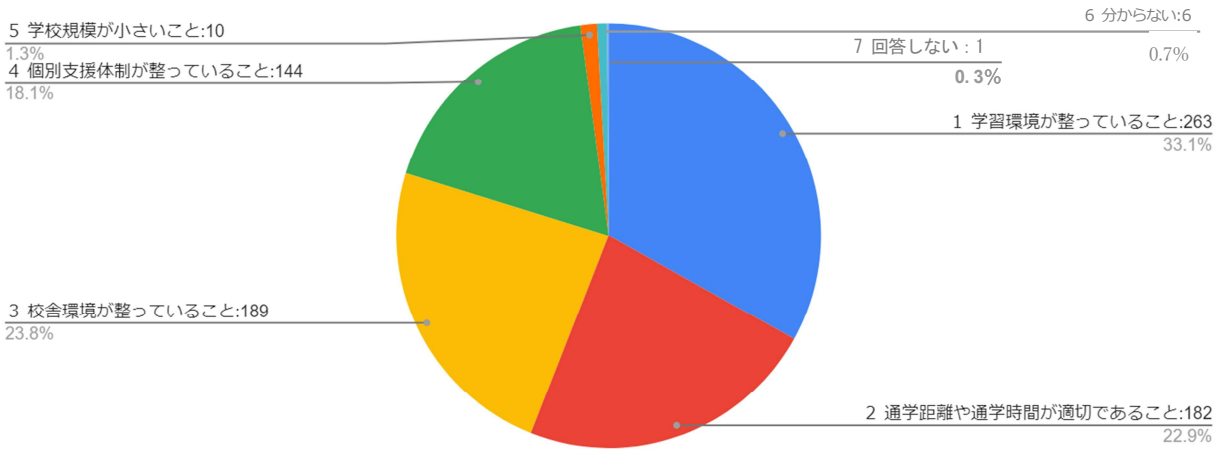


n=288

（６）あなたがお住いの地区の学校の通学条件や教育条件について

問 13　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○回答は以下のとおりであり、「1　学習環境が整っていること」が 33.1%で最も多い



n=288

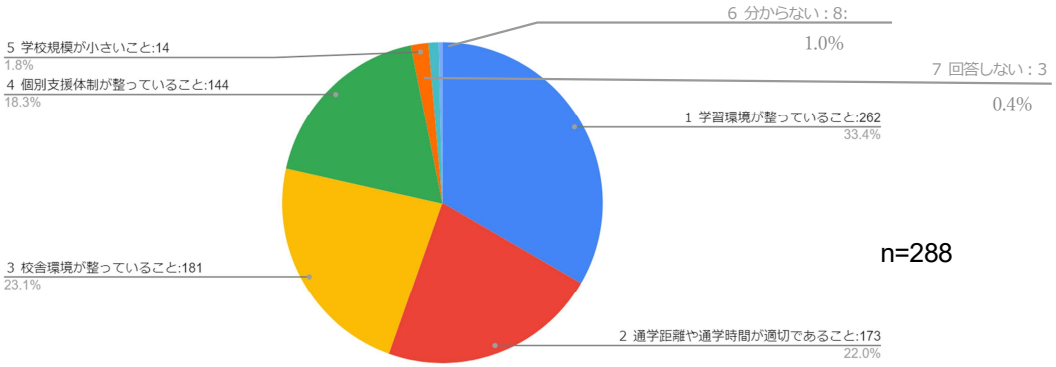
その他自由意見

・環境変化や時流に柔軟に対応してくれること ・自分が一学年２人くらいの学校で育って充実していたので規模で考えること自体がおかしいと感じます。多ければ多いだけ目も届かない問題が多い子も多く感じる。運営する側としては少人数に先生を用意することの大変さはわかりますが先生も生徒もとても楽しい学校でした。	・先生の指名ができること。 ・湯崎地区は通学距離が２キロであっても自転車通学になるが自転車でいくことで学童に預けにくくなり困る。(お迎えのときに車に自転車が乗らない)2キロ前後の距離であればもっと街灯を増やすなどして頂き徒歩での通学も認めて欲しい。

n=4

問 14　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」が 33.4%で最も多い



n=288

その他自由意見

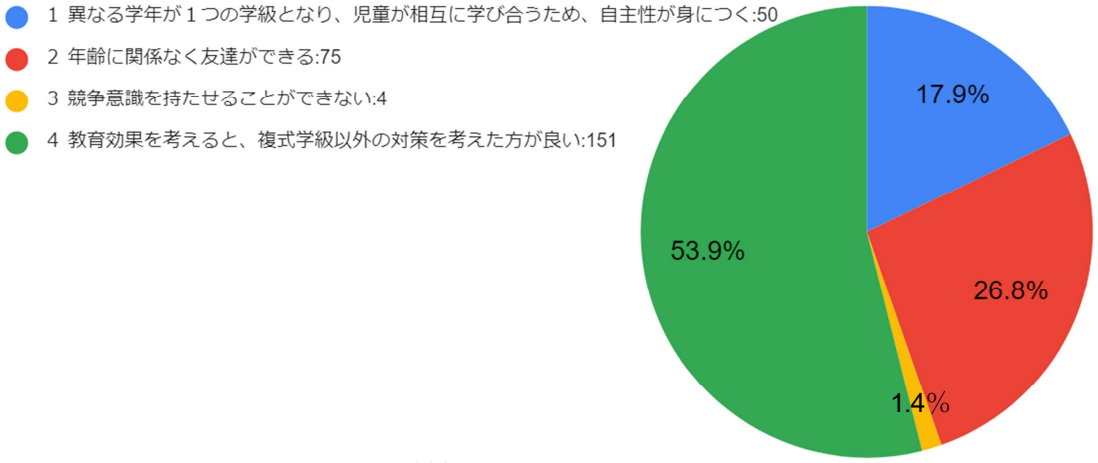
・教師が生徒に理不尽に怒ったり理不尽なことを押し付けない。 ・スクールバスほしいです。	・希望する部活動があること　計３件 ・子ども中心であること

n=6

（７）複式学級に対する意向について

問 15　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

○50%以上の回答が複式学級以外の対策を望んでいる。



n=280

その他自由意見

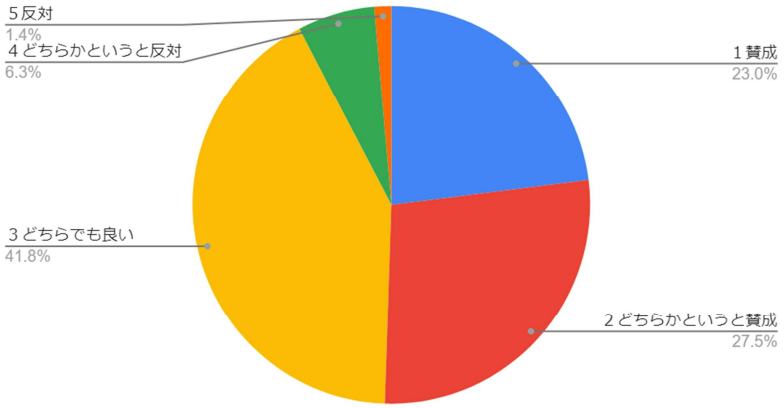
・先生がひとりの場合、学習に遅れが出たりするのではないかと不安 ・良し悪しどちらも考えられる。悪い方になったときのことを考えると不安しかない。 ・経験していない、経験談を聞いてもいない、よって、わからないです ・教育云々の前に子供の発達を段階を考えるべき。小 1 の壁の大きさ（心の問題、家庭環境の変化など）を考えるべき。	・1 の考え方には賛同できますが、現実問題としては 4 になってしまいます。 ・1 と 4 の両方あると思います。いいところと悪いところが。子供達にとって、より良い方法を撮っていただきたい。 ・どのような授業のやり方になるのかわからないので不安 ・先生が児童の数にどこまで対応出来るのか、相合の負担にならないか検討は必要と思う

n=8

（８） 小中一貫校に対する意向について

問 16　学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校 までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「１　賛成」　「２　どちらかというと賛成」が 50.5%で「４　どちらかというと反対」「５　反対」を合わせた 7.7%を大きく上回る。



n=287

その他自由意見

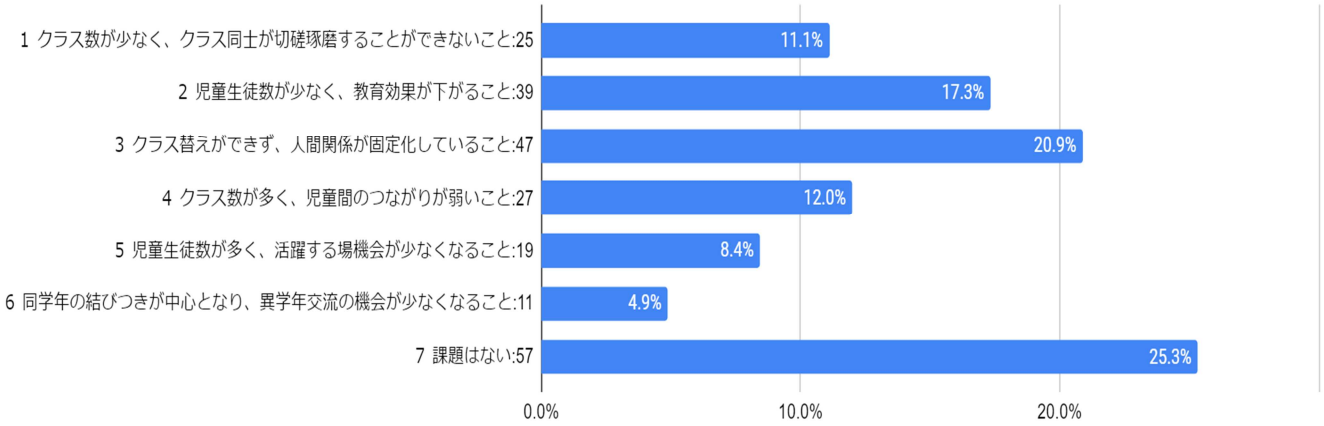
・多様化、弾力化の推進が曖昧で分からず意見できません

n=1

（９）学校の統廃合について

問 17　通学する（予定含む。）学校に「課題」があればお選びください（３つまで）

○通学予定の学校に課題はないと考えている保護者が多いが、クラスや児童生徒の少ないことを課題と考えている回答も多くなっている。



n=288

○学校の学級数と回答の相関で見ると、

1. 各学年単学級のみ、各学年 1～2 学級のみで構成されている学校においては

①「２　児童生徒数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行・クラブ活動や部活動等の集団活動・行事の教育効果が下がること」

②「３　クラス替えができず、人間関係が固定化していること」において課題と考えている傾向がある。

2. 各学年 3 学級以上の学校においては、

①「４　クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童間のつながりが弱いこと」が最多となっている。

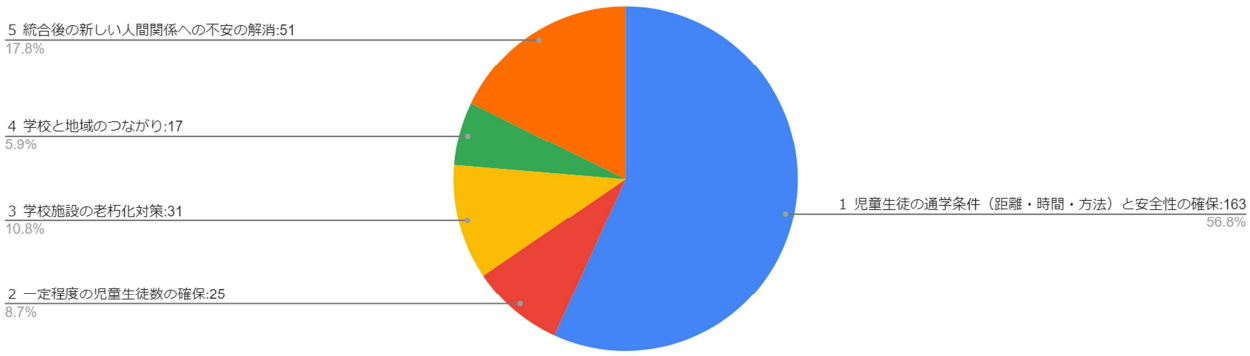
学校名	現学級数	回答数	児童生徒数が少ない			児童生徒数が多い			
			1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
1 笠間小学校	22	51	13.7%	17.6%	21.6%	17.6%	3.9%	2.0%	33.3%
2 稲田小学校	6	25	20.0%	24.0%	44.0%	12.0%	8.0%	4.0%	32.0%
3 宍戸小学校	8	17	11.8%	11.8%	35.3%	23.5%	5.9%	5.9%	35.3%
4 友部小学校	22	75	16.0%	25.3%	28.0%	16.0%	8.0%	8.0%	25.3%
5 北川根小学校	11	27	18.5%	33.3%	18.5%	18.5%	11.1%	3.7%	25.9%
6 大原小学校	6	14	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	7.1%	0.0%	35.7%
7 友部第二小学校	18	25	16.0%	16.0%	24.0%	8.0%	12.0%	12.0%	44.0%
8 岩間第一小学校	12	12	0.0%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%
9 岩間第二小学校	6	15	46.7%	33.3%	53.3%	6.7%	13.3%	0.0%	20.0%
10 岩間第三小学校	8	16	12.5%	37.5%	37.5%	6.3%	25.0%	12.5%	18.8%
11 みなみ学園義務教育学校	6	11	27.3%	27.3%	36.4%	27.3%	9.1%	0.0%	27.3%
計	125	288	17.7%	24.0%	30.2%	15.3%	9.0%	5.2%	29.5%
各学年3学級以上									
各学年1学級									
各学年1～2学級									

学級数に特別支援学級は含まない。

n=288

問 18　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを１つお選びください。

○「１　児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」が 56.8%と多数を占める。続いて「５　統合後の新しい人間関係への不安の解消」が 17.8%となっている。



n=287

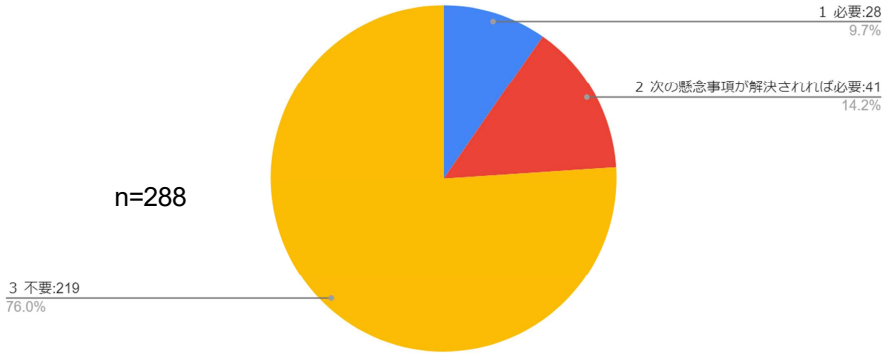
その他自由意見

・６時間授業の少なさも問題

n=1

問 19(1)-1 あなたの居住地区の小学校について、統合が必要だと思いますか

○75%以上が「統合は不要」としている。



問 19(1)-2　問 19(1)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

通学先の学校ごとの集計

「1　必要」と回答した場合

2 稲田小学校

・笠間、友部に比べ生徒数が少なすぎる。均一になれば一番いい。
・今後も児童数が増える見込みが一切ない為
・児童数の減少
・少人数で９年間、環境が変わらないと向上心が育たないと思います。
・人間関係が固定化しているから
・多くの児童の中で、切磋琢磨したり、多様な価値観を認めあってお互いを高めあって行くことが重要であると考えるから。

4 友部小学校

・友部だと北川根や大原、宍戸はどこかに統合してもいいのではないか

5 北川根小学校

・生徒の人数が少なくなってきている為、必要だと思います。

9 岩間第二小学校

・年々児童が減っており一学級 15 人を切っている。男女差の人数も極端になったりしている。中学へ進学した際の大人数となった時の人間関係の構築など不安要素が多い。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・クラス替えがない

「２ 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

1 笠間小学校

・今住んでいる所は人数があまりにも少なく

2 稲田小学校

・今すぐではなくても、将来的には
・通学時間

3 宍戸小学校

・バス通学など通学体制が整えば
・一概には言えない。現在困ってはいない。クラス替えがあれば人脈が広がるだろうという欲はあります。こども達のことだけでなく笠間市の予算運営など総合的に判断頂くべきと考えます

4 友部小学校

・通う距離や、新しい学校環境が子供たちと親の負担にならないのなら。

5 北川根小学校

・スクールバス

・不要と考えますが、学区変更が多いので人数に偏りが出来ているように思います。

7 友部第二小学校

・人数が少なく登下校もほぼ送迎になる

8 岩間第一小学校

・岩間第二小学校は生徒数が少ないと聞いています。今後益々減るようなら統合を考えた方が良いのかな？？とは思います。

・少子化の時代に合わせて学校も見直す必要はあります

9 岩間第二小学校

・岩間地区で 3 校も小学校が必要か疑問があるので、統合には賛成です。中学校は１つしかないので、小学生対象の通学バスが運行すれば統合は問題ないと思います。

・義務教育学校になるなら

・校舎の老朽化や生徒数の減少

・場所

10 岩間第三小学校

・通学距離、統合のタイミングなど検討が必要かと思います。高学年の女子は特に難しくなってくるので。

「３ 不要」とした場合

1 笠間小学校

・いまいちわからない

・学級数が充分にあるので

・現状では不安、不満点はないから。

・今すぐは必要とは思わない。いずれは必要となりそう。

・今はクラスの人数が多い１クラス３０人以下でも良いのではと思う

・人数が多いから

・生徒数が多いためこれ以上増やす必要は無いため

2 稲田小学校

・今のままでいたいから

・人数が増えると教師の目が行き届かなくなりそうだから。

・人数が多いデメリットのほうが多い気がするから、わざわざ統合してまで人数を増やす必要はないと思う

・人数が多すぎて、いじめや学校の配慮が行き届かなくなる事が心配なので、このままあと一年半過ごして、今の小学校で卒業したい。

3 宍戸小学校

・現在においては児童の通学条件等の確保また、児童生徒数の確保に問題がないから。

・現時点ではちょうどいいと思ったから。

・子どもたちが問題なく学校生活を送っているから

4 友部小学校

・児童数が多くなれば、先生方の目が行き届かなくなることもある。現在でも大規模校は教職員の多忙感があると思うし、児童や家庭の統率が取りにくいと思う。統廃合は喫緊の課題だと思う

が、１校の規模が大きくなりすぎるのは心配。統廃合した場合は、十分な人員の配置をしてほしい。

・今すでに４クラスあるため　計２件
・今のところ、児童数が多いため　計３件
・今のままで十分なので　計３件
・児童数が多いので統合が必要とは思えない　計２件
・人数がしっかりいるので統合しなくてもよい　計３件
・生徒数も充分であるし、今のところ何も変える必要がない　計２件
・生徒数も多く、環境がいい。
・適正規模だと思うから
・統合する必要のない児童数がいるから

6 大原小学校

・現状でいいと思うから。
・今現在の小学校の児童数は各学年とも 20 人を超えている。友部小学校の児童数が今でも多すぎるのに、どこに統合されるのかもわからないし、学校施設も老朽化していなくて統合の必要があるという考えには至らない。もう少し児童数を偏りが少なく出来ないのかといつも思っているのですが、どのように考えているのか知りたいです。
・小規模の学校だからこそ目が行き届き、取りこぼされる子供が少ないと感じます。
・人数は少ないがその分先生の目が行き届いて安心できる。建物は新しい
・特に不便を感じていない

7 友部第二小学校

・居住地区の小学校に関して、現時点では児童数が確保されているから。（今後、児童数が・減少してきた時点で再検討が必要かと思いますが…）
・生徒数が充分いる
・全学年３学級あるので統合は必要ないと思います。
・統合するまで子ども数が減少していないと思うから

8 岩間第一小学校

・今のところどの学年も２クラスあるので統合は不要かなと思います
・児童数が多いと思うから

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・居住地区の小学校には通っていないので関係ない

問 19(1)-3 あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

就学学校名	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間小学校	1 笠間小学校	2
	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	1
2 稲田小学校	2 稲田小学校	4
	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	4
	1 笠間小学校	4
	13 わからない	2

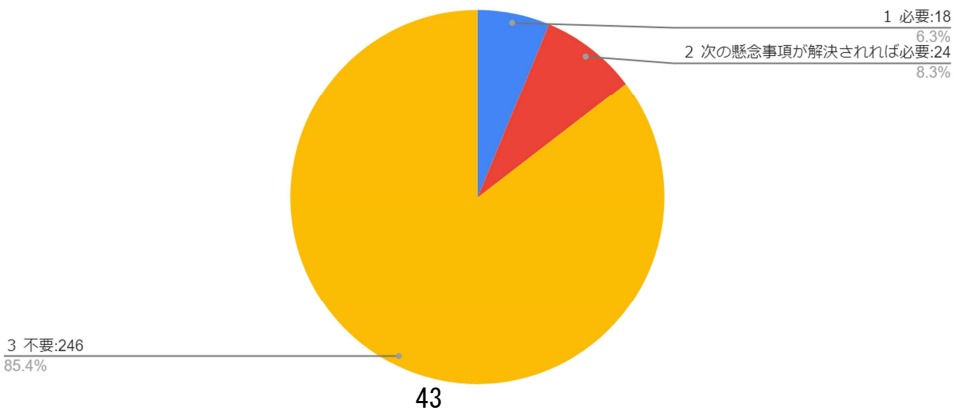
3 宍戸小学校	7 友部第二小学校	2
	3 宍戸小学校	2
	13 わからない	1
4 友部小学校	4 友部小学校	7
	13 わからない	4
	7 友部第二小学校	1
5 北川根小学校	7 友部第二小学校	5
	14 回答しない	2
	13 わからない	1
	12 統合は不要	1
7 友部第二小学校	7 友部第二小学校	1
	13 わからない	1
8 岩間第一小学校	8 岩間第一小学校	3
	5 北川根小学校	1
9 岩間第二小学校	10 岩間第三小学校	4
	5 北川根小学校	3
	13 わからない	1
10 岩間第三小学校	9 岩間第二小学校	2
	13 わからない	2
	8 岩間第一小学校	1
	14 回答しない	1
	10 岩間第三小学校	1
11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	13 わからない	1
	1 笠間小学校	1

n=66

※居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３　不要」と回答した場合を除く

問 19　(2)-1 あなたの居住地区の中学校について、統合が必要だと思いますか

○85%以上が「統合は不要」としている。



n=288

問 19(2)-2　問 19 (2)-1 で回答いただいた理由を教えてください。

問 19(2)-1 で「1　必要」と回答した場合

2 稲田小学校

・持ち上がりの中学校なので生徒数に変わりはなく、部活動の数が余にも少なすぎる。選択すらままならない状況。

・人間関係が固定化している

・生徒数の減少

5 北川根小学校

・人数に差が出ないように分散させる。

7 友部第二小学校

・居住地区の中学校は２ヶ所あり、現時点ではいずれも生徒数が確保はされていますが、今後は減少する可能性もあり、その際は統合も必要かと思われます

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・クラス替えがない

「２ 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

2 稲田小学校

・今すぐではなくても、将来的には

・中学に上がる際に必要であれば。ただ、現時点の人数の少なさが魅力で引っ越してまで入学した学校なので、統合される際の生徒数の多さによるいじめや、配慮のかける学級指導は心配要素です。

・通学時間

3 宍戸小学校

・わかりません。理由、現状を知らないため。

・中学校についてはよくわからないが、中学校は多い方がいいと思ったから。

5 北川根小学校

・不要と考えますが、学区変更が多いので人数に偏りが出来ているように思います。

「３ 不要」とした場合

1 笠間小学校

・わからない

・学級数が充分にあるので

・現状では不安、不満点はないから。

・現段階で生徒数も多いため、無理に増やす必要は無い

・今すぐは必要とは思わない。いずれは必要となりそう。

・人数が多いから

2 稲田小学校

・今のままでいたいから

・今の人数だから学校全体が仲良くできているのに、わざわざ統合してまで人数を増やす必要はないと思う

3 宍戸小学校

・個別の支援が必要な児童や、不登校気味の児童が通いやすい学校が必要だから。
・今のところ児童の通学条件等の確保また、児童生徒数の確保に問題がないと思われるから。
・生徒数が一定以上いるため

4 友部小学校
・今すでに５クラスあるため　　計２件
・生徒数が十分な人数いるから。　　計９件
・生徒数が適正(やや多い)であると思われるため
・人数にばらつきがあるが、統合するまででではないと思うから。
・今の学校の規模、状況に満足している。計５件
・特に必要を感じない
・理由はない
・適正規模だと思うから

5 北川根小学校
・今は、２クラス存在しているから
・生徒の人数が分からないので判断できない。

6 大原小学校
・現状でいいと思うから。
・今で十分な規模だと思われる。
・児童数、学級数ともに問題無いから。
・特に不便な感じていない
・友部中学校は人数が多いから

7 友部第二小学校
・現在、全学年何学級あるのかは分からないですけど、今の生徒数なら統合は必要ないと思います。
・生徒数が充分
・中学校２校ともそれなりの人数がいるから
・特に問題ないと思うから

8 岩間第一小学校
・3クラスはあると聞いてるので統合するほどではないと思います
・生徒数が多いと思うから

9 岩間第二小学校
・岩間に中学校が元々１つだから。
・現状より遠くへ行かせたくない
・校舎が新しいことと生徒数も十分に多い
・今の規模でよいと考える

10 岩間第三小学校
・1クラスになるようなら検討も、必要かと思います。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）
・居住地区の学校には通っていないので関係ない

問 19 (2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

就学学校名	居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間小学校	1 笠間中学校	3
	6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
10 岩間第三小学校	8 わからない	1
	5 岩間中学校	1
11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	1 笠間中学校	1
2 稲田小学校	6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	5
	2 稲田中学校	4
	1 笠間中学校	4
	8 わからない	2
3 宍戸小学校	3 友部中学校	2
4 友部小学校	3 友部中学校	5
	8 わからない	3
5 北川根小学校	9 回答しない	2
	3 友部中学校	2
7 友部第二小学校	3 友部中学校	1
8 岩間第一小学校	5 岩間中学校	3
9 岩間第二小学校	4 友部第二中学校	2

n=39

※居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果

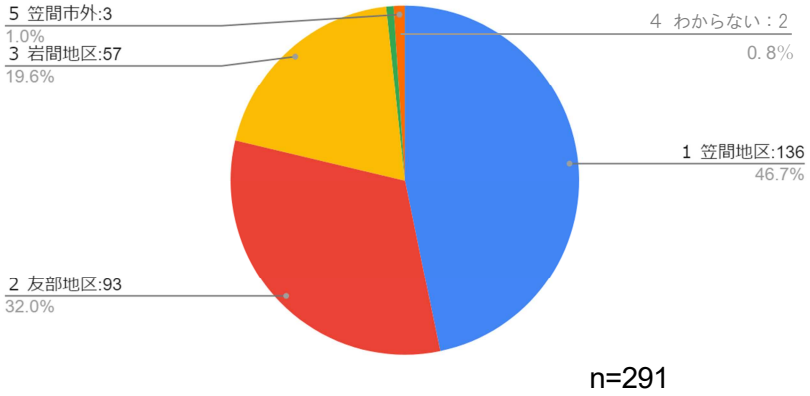
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「3 不要」と回答した場合を除く

２－３　児童生徒保護者調査　市内中２年、義務教育学校８年の保護者

（１）回答者の属性

問１　あなたの居住する地区をお答えください（単一回答）

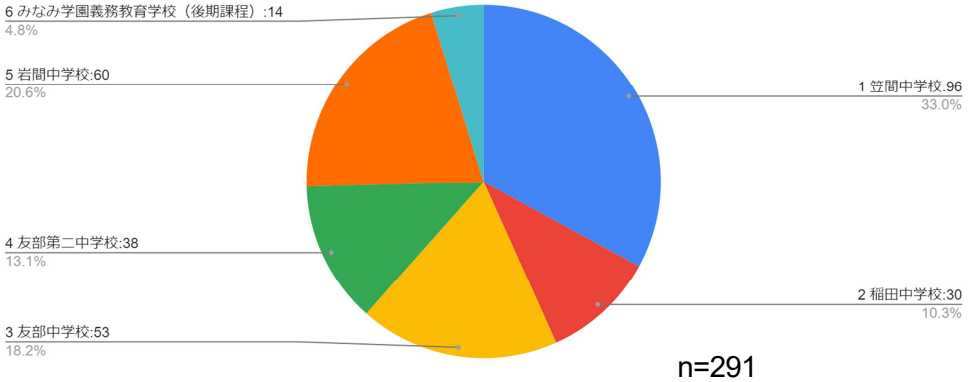
○居住地区の割合は笠間地区が 46.7%である。



n=291

問２　お子さんが通学する学校名をお答えください（単一回答）

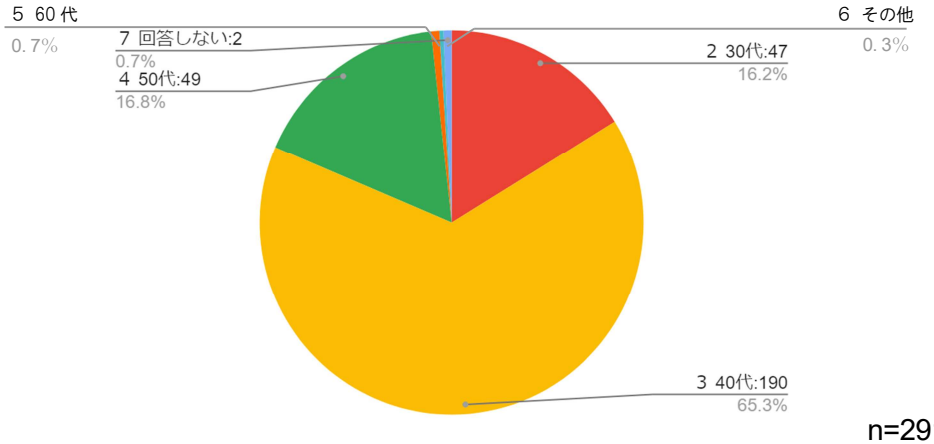
○通う学校については、「笠間中学校」が 30%を超えている。



n=291

問３　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

○回答者の年齢については、「30 代」が 16.2%、「40 代」が 65.3%である。

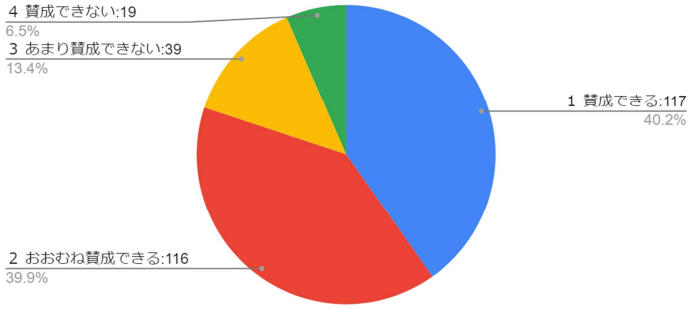


n=291

（２）基本方針についてのあなたのお考えをお答えください

問 4(1) 小学校（1 学年 2 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の約 8 割である。



n=291

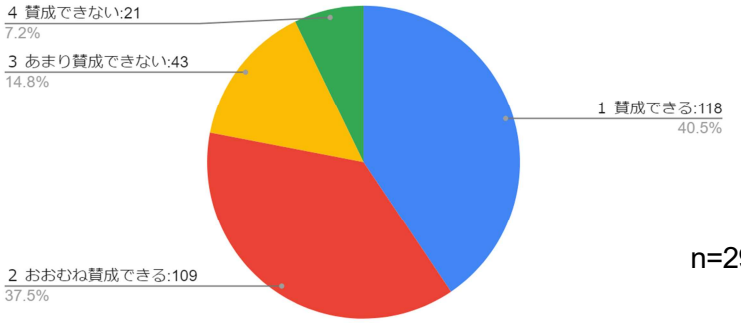
年代別

年代別	回答項目			
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
2 30代	13	20	9	5
	4.5%	6.9%	3.1%	1.7%
3 40代	87	70	23	10
	29.9%	24.1%	7.9%	3.4%
4 50代	14	25	6	4
	4.8%	8.6%	2.1%	1.4%
5 60代	1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
6 その他	1	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	1	1	0	0
	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%
総計	117	116	39	19
	40.2%	39.9%	13.4%	6.5%

n=291

問 4(2) 中学校（1 学年 3 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 70%を超える。



n=291

年代別

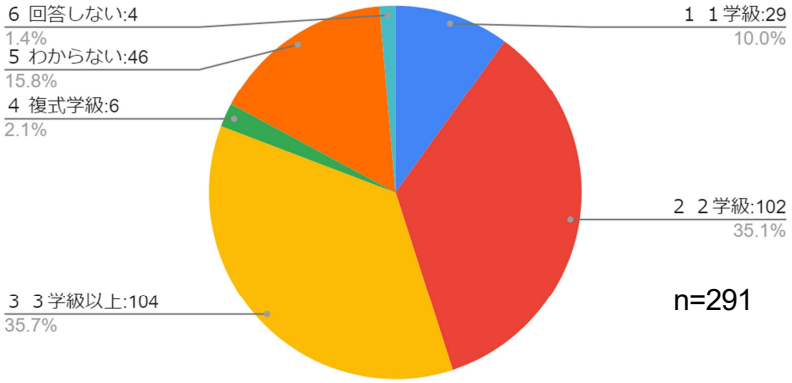
年代別				
	1 賛成できる	2 おおむね賛成できる	3 あまり賛成できない	4 賛成できない
2 30代	13	19	10	5
	4.5%	6.5%	3.4%	1.7%
3 40代	85	68	24	13
	29.2%	23.4%	8.2%	4.5%
4 50代	18	20	8	3
	6.2%	6.9%	2.7%	1.0%
5 60代	1	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%
6 その他	0	1	0	0
	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%
7 回答しない	1	1	0	0
	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%
総計	118	109	43	21
	40.5%	37.5%	14.8%	7.2%

n=291

（３）あなたがお住いの地区の学校の規模について

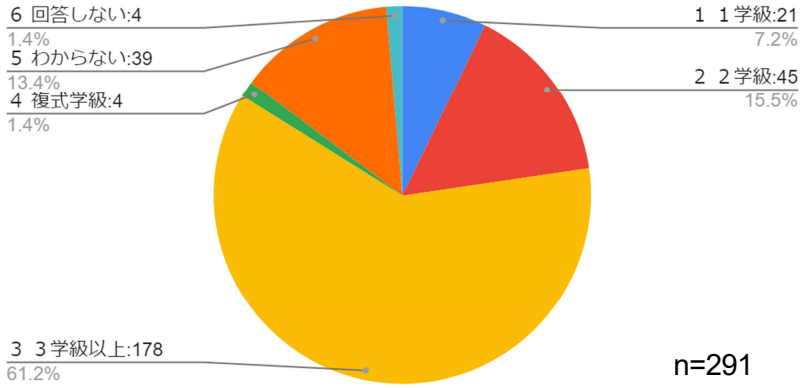
問５　小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

○70%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。



問６　中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

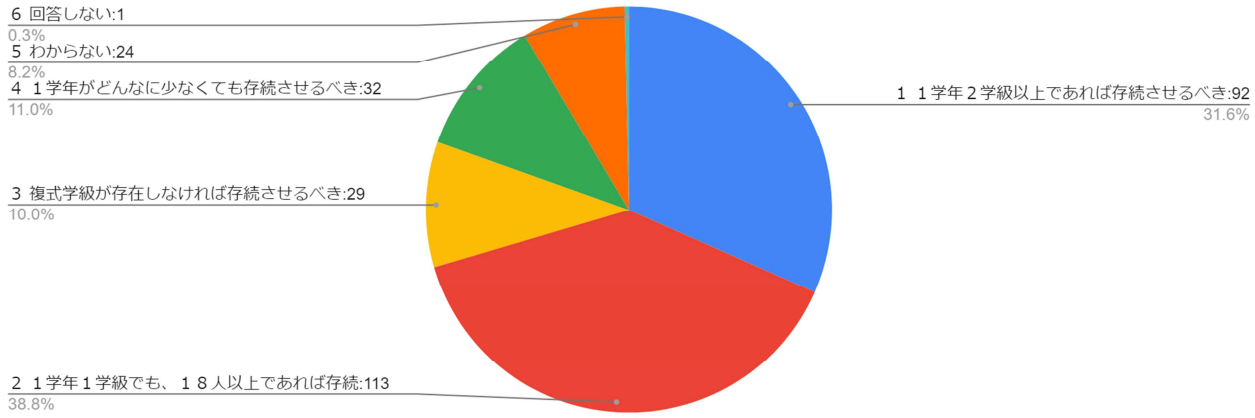
○75%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。また、61%以上が３学級以上が望ましいと回答している。



（４）あなたがお住いの地区の学校の存続について

問７　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○総数、年代別での回答を集計すると「２　１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が多い。次いで「１　１学年２学級以上であれば存続させるべき」との回答が多い。年代による傾向に大きな差はみられない。



n=291

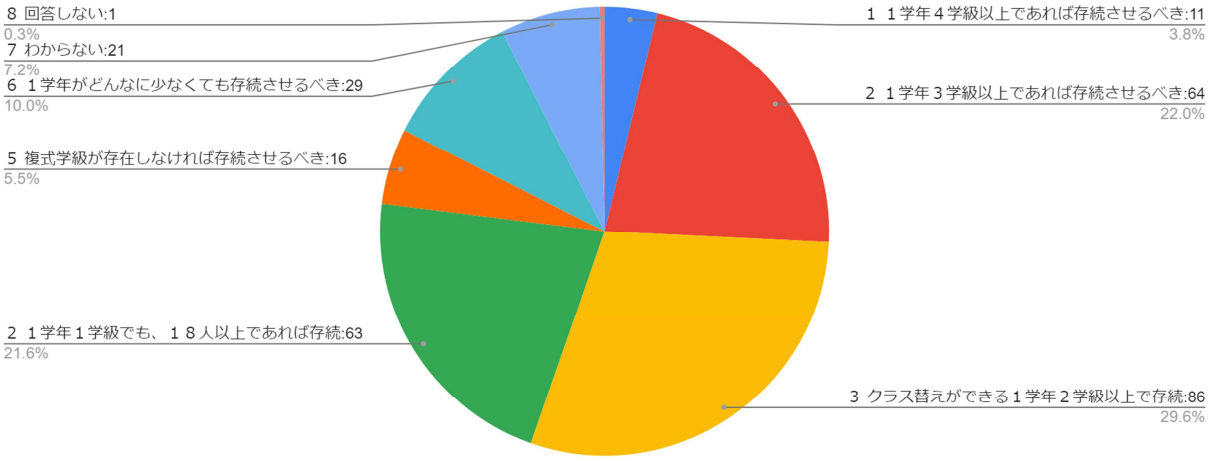
年代別

年代別	回答項目					
	1 １学年２学級以上であれば存続させるべき	2 １学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき	3 複式学級が存在しなければ存続させるべき	4 １学年がどんなに少なくても存続させるべき	5 わからない	6 回答しない
2 30代	9	18	2	10	8	0
	3.1%	6.2%	0.7%	3.4%	2.7%	0.0%
3 40代	65	76	19	15	14	1
	22.3%	26.1%	6.5%	5.2%	4.8%	0.3%
4 50代	15	17	8	7	2	0
	5.2%	5.8%	2.7%	2.4%	0.7%	0.0%
5 60代	1	1	0	0	0	0
	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 その他	1	0	0	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	1	1	0	0	0	2
	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
総計	92	113	29	32	24	1
	31.6%	38.8%	10.0%	11.0%	8.2%	0.3%

n=291

問８　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○過半数がクラス替えができる２学級以上と回答している。また、７割以上の回答が学級の人数は 18 人以上の学級を希望している。



n=291

年代別

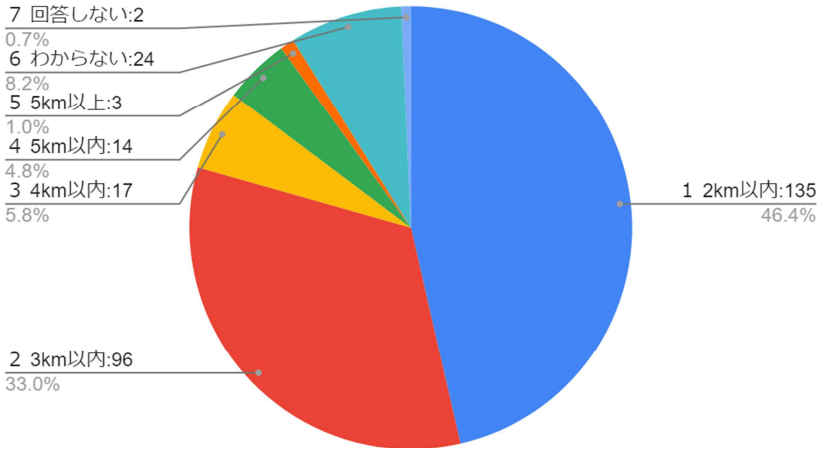
年代別	回答項目							
	1 １学年４学級以上であれば存続させるべき	2 １学年３学級以上であれば存続させるべき	3 クラス替えができる１学年２学級以上であれば存続させるべき	4 １学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき	5 複式学級が存在しなければ存続させるべき	6 １学年がどんなに少なくても存続させるべき	7 わからない	8 回答しない
2 30代	0	8	10	13	1	8	7	0
	0.0%	2.7%	3.4%	4.5%	0.3%	2.7%	2.4%	0.0%
3 40代	10	45	60	39	9	15	11	1
	3.4%	15.5%	20.6%	13.4%	3.1%	5.2%	3.8%	0.3%
4 50代	1	9	14	11	6	5	3	0
	0.3%	3.1%	4.8%	3.8%	2.1%	1.7%	1.0%	0.0%
5 60代	0	1	1	0	0	0	0	0
	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 その他	0	0	1	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 回答しない	0	1	0	0	0	1	0	0
	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%
総計	11	64	86	63	16	29	21	1
	3.8%	22.0%	29.6%	21.6%	5.5%	10.0%	7.2%	0.3%

n=291

（５）あなたがお住いの地区の学校が現在と異なる場所（学校）と統合した場合について

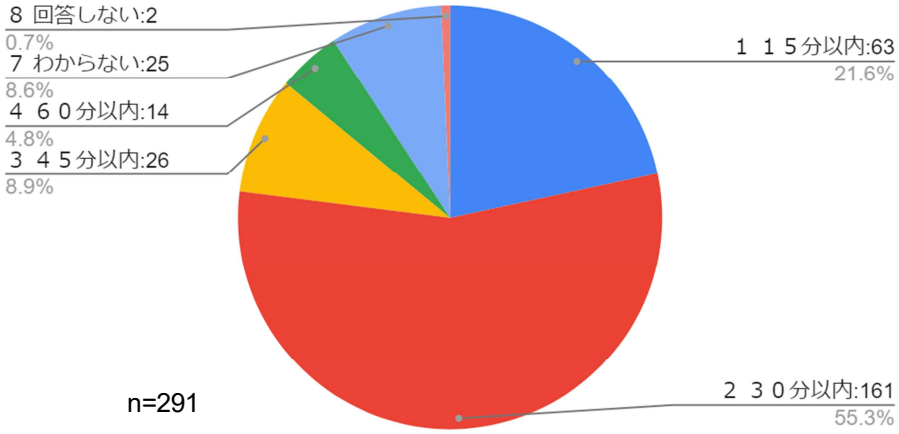
問 9　小学校に徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何 km までが適当と考えますか（単一回答）

○通学距離については 4Km 以内の回答が 80%を超える。



問 10　小学校にスクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

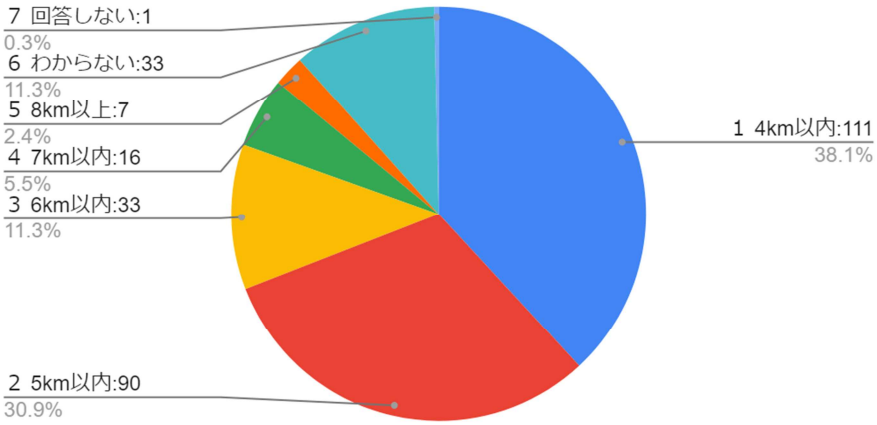
○通学に要する時間については 30 分以内が全体の 75%を超える。



問 11　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何 km までが適当と考えますか（単一回答）

〇通学距離については 5Km 以内の回答が全体の 65%を超える。

総数

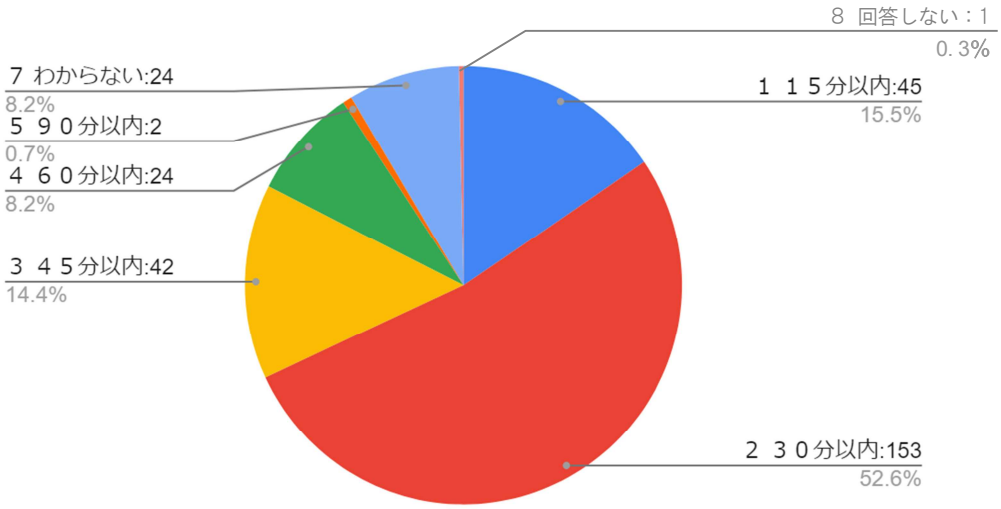


n=291

問 12　中学校に　スクールバスで通うことになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

〇通学に要する時間については 30 分以内の回答が全体の 65%を超える。

総数

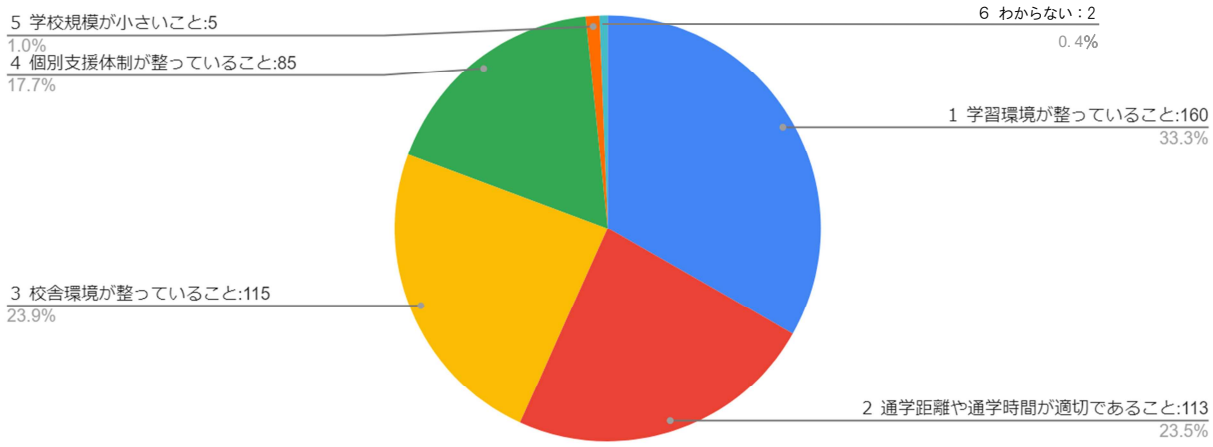


n=291

（６）あなたがお住いの地区の学校の通学条件や教育条件について

問 13　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」回答が 33.3%と最も多い。



n=291

その他自由意見

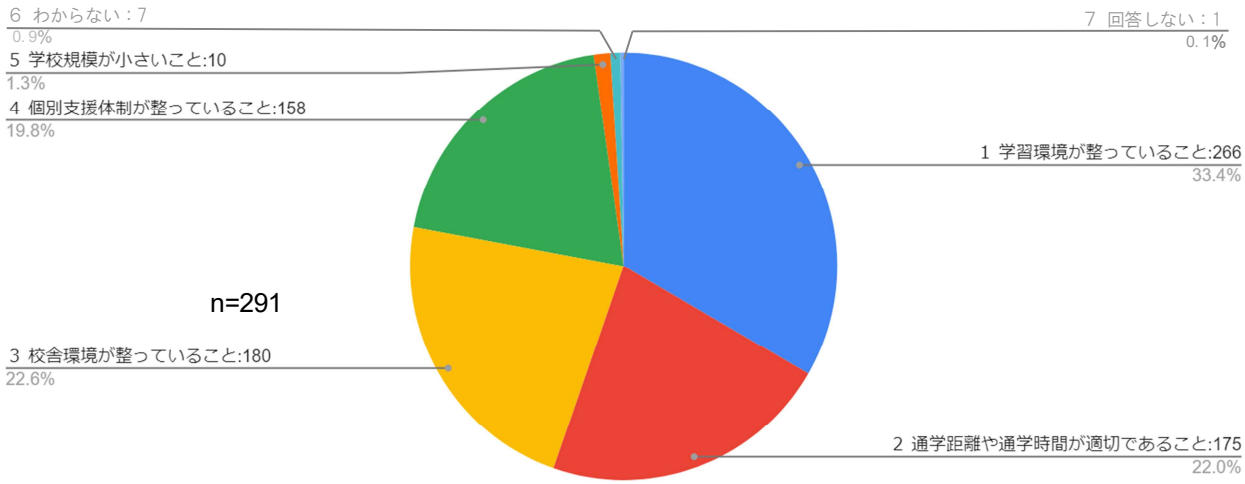
・クラス替えができるくらい人数が多いところ ・クラス替えの出来る人数	・教師と生徒の信頼関係

n=3

問 14　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」回答が 33.4%と最も多い。

総数



その他自由意見

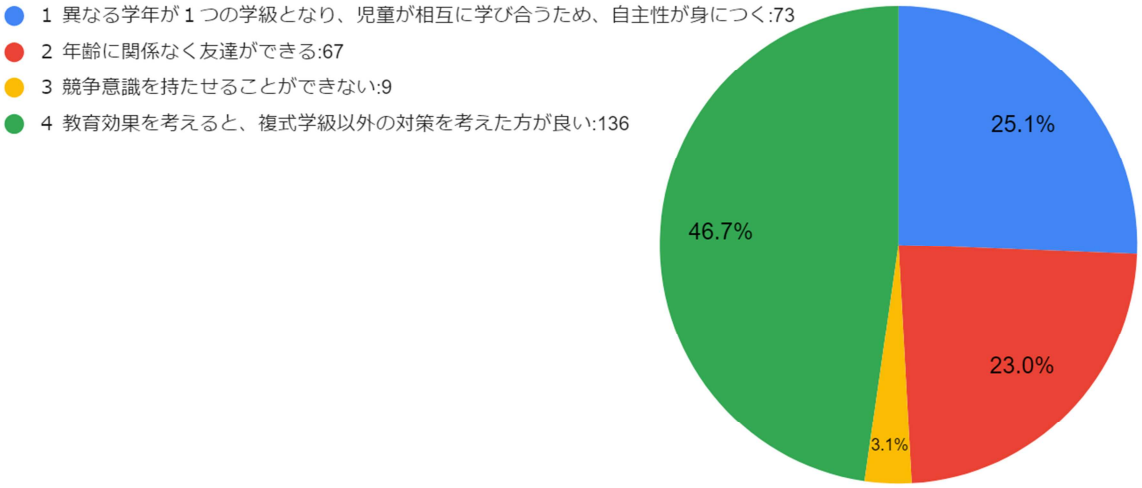
・進路についての情報が充実していること ・クラス替えができるくらい人数が多いところ ・クラス替えの出来る人数	・教師と生徒の信頼関係

n=4

（７）複式学級に対する意向について

問 15　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

○46%以上の回答が複式学級以外の対策を望んでいる。



n=285

その他自由意見

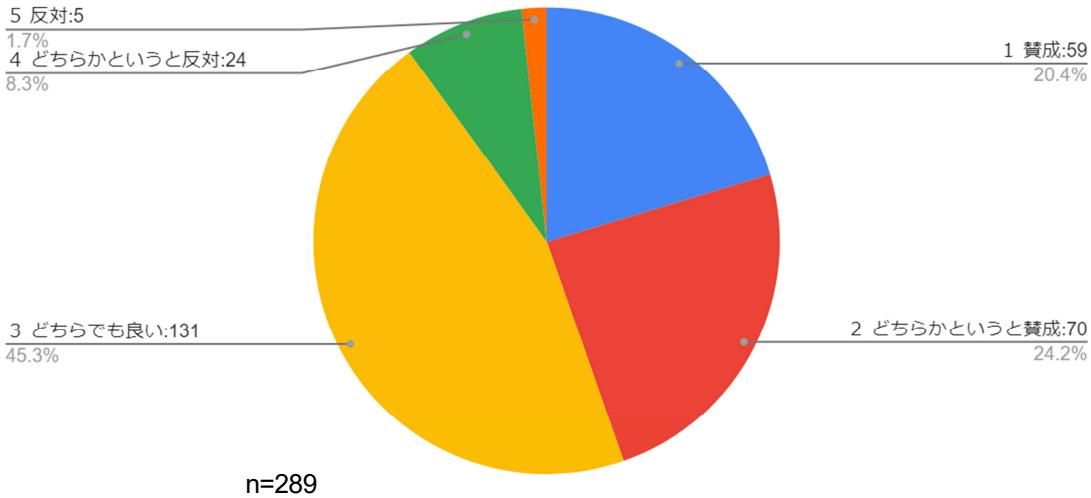
・いじめがあっても先生や保護者では発見が遅くなるし 子供達でもひとつ上の子達に従わざるおえない状況になるのではないかと不安 ・異なる学級で学び合うことで、下の学年は上を見ることでその先を知ることができ、上の学年は下の学年を見ることで以前学習したことを振り返るきっかけになり学びが深まる ・学習面で心配	・学年を超えた思いやりは育ちそうだが、どの様に授業を進めるのかイメージが分からない。子ども達が混乱しないのか不安はある。 ・考えたことがないからわからない ・小学校であれば担任・副担任が居れば複式学級でも良いと思う

n=6

（８） 小中一貫校に対する意向について

問 16　学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校 までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「１　賛成」　「２　どちらかというと賛成」が 44.6%となり、「４　どちらかというと反対」「５　反対」を合わせた 10.0%を上回る。



n=289

その他自由意見

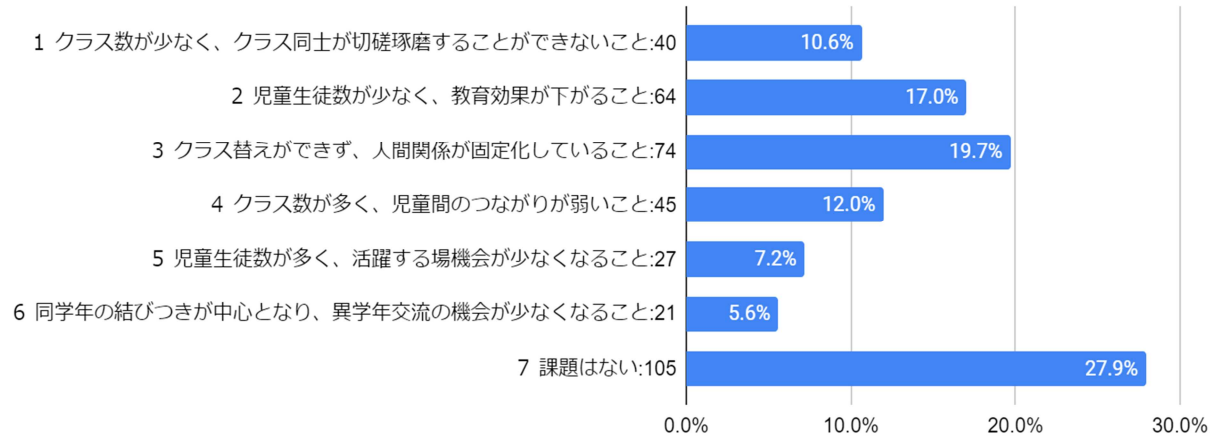
・自分が経験してないので、なんともいえない
・小中一貫校と現行の小・中学校の違いが分からない

n=2

（９）学校の統廃合について

問 17　通学する（予定含む。）学校に「課題」があればお選びください（３つまで）

○通学予定の学校に課題はないと考えている保護者が多いが、クラスや児童生徒の少ないことを課題と考えている回答も多くなっている。



n=291

○学校の学級数と回答の相関で見ると

1. 各学年 1～2 学級のみで構成されている学校においては

①「２　児童生徒数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行・クラブ活動や部活動等の集団活動・行事の教育効果が下がること」

②「３　クラス替えができず、人間関係が固定化していること」において課題と考えている傾向がある。

2. 各学年 3 学級以上の学校においては、

①「４　クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童間のつながりが弱いこと」が最多となっている。また少数ながら児童生徒数が少ないとの意見もある。

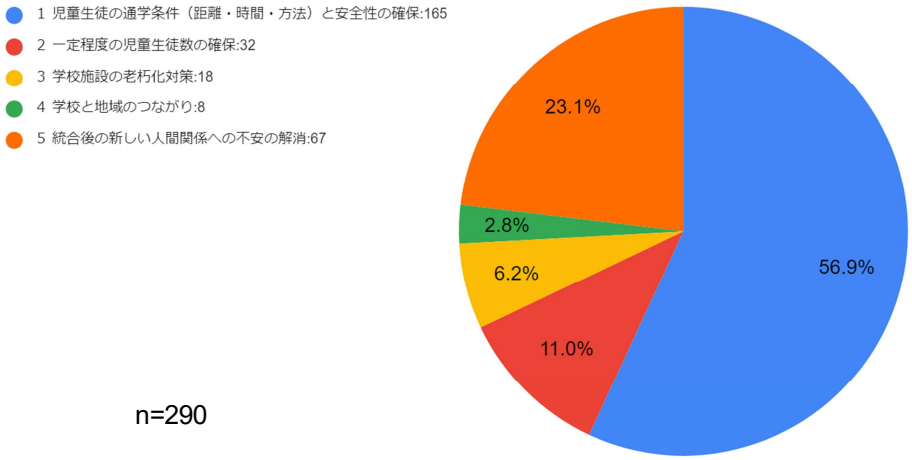
学校名	現学級数	回答数	児童生徒数が少			児童生徒数が多			
			1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
1 笠間中学校	13	96	8.3%	18.8%	21.9%	18.8%	10.4%	8.3%	45.8%
2 稲田中学校	4	30	30.0%	33.3%	50.0%	3.3%	3.3%	6.7%	26.7%
3 友部中学校	16	53	9.4%	5.7%	17.0%	28.3%	11.3%	13.2%	41.5%
4 友部第二中学校	11	38	10.5%	21.1%	15.8%	7.9%	0.0%	7.9%	55.3%
5 岩間中学校	9	60	15.0%	23.3%	26.7%	10.0%	6.7%	3.3%	43.3%
6 みなみ学園義務教育学校	3	14	21.4%	50.0%	57.1%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%
計	56	291	13.1%	20.6%	25.8%	15.1%	7.6%	7.9%	42.3%

各学年3学級以上
各学年1~2学級
表のパーセントは学校ごとの回答数総数に対する回答数の割合

n=291

問 18　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを１つお選びください。

○「１　児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」が 56.9%と多数を占める。続いて「５　統合後の新しい人間関係への不安の解消」が 23.1%となっている。



n=290

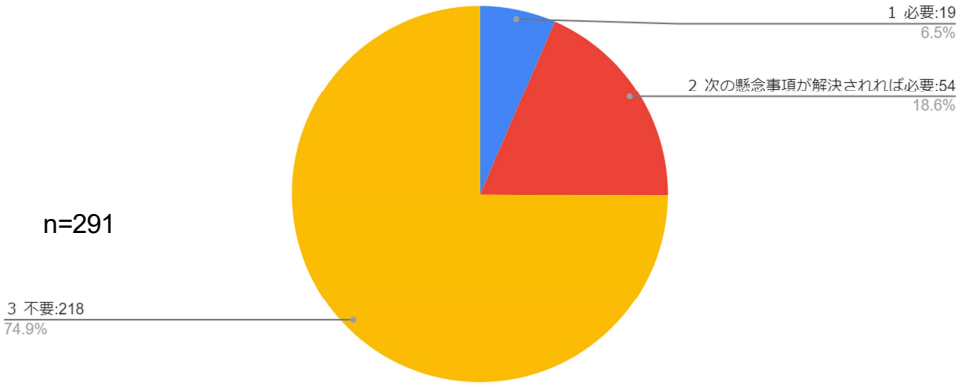
その他自由意見

・学校施設のバリアフリー化の徹底

n=1

問 19(1)-1 あなたの居住地区の小学校について、統合が必要だと思いますか

○70%以上が「統合は不要」としている。



問 19(1)-2 上の (1)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

通学先の学校ごとの集計

「1　必要」と回答した場合

1 笠間中学校

・児童数が少なすぎる

2 稲田中学校

・クラス替えも出来ず、人間関係で悩んだ場合不登校になる確率が高い

・生徒数が少ないため

3 友部中学校

・人数の減少のため

・大原小学校はクラス替えがなく、6 年間同じメンバーで固定されており、1 クラスの人数もあまりにも少ないため、いじめから逃れることができないから

・長男は小学校 6 年間過ごしクラス替えがなかった。気の合うお友達がいなかった為、小学校生活はつまらなかったそうです。

4 友部第二中学校

・施設老朽化。児童数が少ないことによる教育的効果の減少。

5 岩間中学校

・クラス替えができない

・我が子は卒業してしまったが、単学級でクラス替えもなく、友達も学級内の雰囲気も固定してしまう 6 年間は少しかわいそうだった。新学期にクラス替えで新しい友達と関わることもできず、夢や目標をもとう！という気持ちも少ないのでは？と感じていた。行事も盛り上がりにかける。先生方は一生懸命やってくださっていたが、子どもにとっては大人数で集団生活を学んだ方がメリットが大きいと思う。

・学年だけの行事、イベントが困難。PTA の負担が重くなる。

・今すぐ！というわけではないが、年々生徒数が減少しているし、校舎も老朽化しているので、数年後には統合も考えなくてはならないのかなぁ… と思います。

・人数が少ない小学校があるから。

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・増築して校舎綺麗なので人数を増やしたい

・廃校になると転校するにあたり通学に問題が出る場合があるのでは

「２ 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

1 笠間中学校

・笠間以外の学校に対して少人数な学校がある為、統合が必要になる場合もあると思った為。

・老朽化対策で学校の位置が変わる可能性があると思った為。

・小学校、中学校がすでに統合されて今でも通学距離があるので学校すべてを自宅から遠すぎるのは大変。

・通学方法手段がどうにかなるならば、近隣の小規模の学校との統合を考えてもいいと思う。そして、学校あたりの先生を基準以上に満たすこともできればいいと思う。先生にも、生徒にめ手厚く。生徒に手厚いということは、保護者にもプラスだと考えている。

2 稲田中学校

・人数がかなり少なくなったら

・通学手段と時間　計２件

・通学手段や安全面が心配なのでそこが整った状態であれば必要かと思います。使われなくなった教室も多く、物の紛失などが増えたり人数が少なく維持費などの面でも気になります。

・統合により、児童生徒の通学時間がかかりすぎることがあるから。

3 友部中学校

・いずれ、児童数が減っているので必要になると思う。

・教師不足を考えると、複合学級はやむを得ない

・校舎の老朽化

・通学条件（距離、時間、方法）

・通学条件や安全性が保てれば、子どもの人数が少ない地域と、多い地域のバランスがとれるとおもったから

5 岩間中学校

どの学校でもあるいじめや不登校、統合した場合、中学生が小学生のいじめを見て　入って行けるのだろうか？受験を控え苛立ちなどて見て見ぬふりや一緒にいじめに関わるなどの対応はできるのでしょうか?子供が少ない中　情報も豊富に入る社会に先生や保護者は対応できるのか?それならば 笠間地区の小中ならどこでも自由に入れる方が子供の選択が良いと思います。学校に行かなくてもオンラインでの授業笠間市の学校ならどこでも受けることが出来れば嬉しいのではないかと思います

・安全確保

・子供が減少し続ければ、必要

・生徒数に関しては、市の問題を超越しているため仕方ない部分があり、保護者が受け入れなくてはならないと思います。

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・みなみ学園は新しい校舎を建てたばかりなので、児童生徒数を増やすことには賛成。

・教員の数が確保てきれば良いとおもいます。

「３ 不要」とした場合

1 笠間中学校

・すでに統合されているから　計４件

・前例もあるのでまた新たに統合するのなら笠間小学校へ統合化されたほうがいいと考える

・現在は生徒数があるのでいいと思います。先を見据えると統合も仕方ない事と思います

・現状３クラス以上あり、学習で使用する特別室の使用が限られ、あらゆる経験不足を招くおそれがあるから。

・市外から通学しているため参考にならない

・十分なクラス数もあるから
・統合が必要と感じる生徒数ではないと思うため　　計４件
・不要だと思うから

2 稲田中学校

・小学校は、少人数でもよい
・少子化で児童数が減っているから必要になりそうだか、笠間小の学区を見直して欲しい。多すぎる。
・人数が多けりゃあ良いってもんじゃない

3 友部中学校

・今のままでよい
・自分の学区しか詳しくわかりませんが学級数、人数ともに問題を感じないから
・生徒数が多いから　計２件
・通学距離を考えて、統合不要
・必要性を感じない

4 友部第二中学校

・今はまだ学級、学年で成り立っているから　計５件
・小学校は分かりませんが笠間東小、中のように旧笠間、旧友部、旧岩間だからで近い大原小でなく笠間小にスクールバスとかは無駄な気がする。
・適切な規模であるため
・特になし

5 岩間中学校

・２クラスある。また統廃合により子供達の通学時間が長くなったり、本人や家族の負担が増えるのは避けたい
・クラス数がある程度あり、教室数にゆとりがあることで支援級や教科ごとの特別教室などに充分なスペースをさくことができている。レベル別少人数授業など教室数があるからこその教育的な取り組みもできる。子どもの人数を増やすことよりも、そうしたゆとりが産み出す教育効果の高さに注目したい。
・居住地によっては、通学時間長くなる為
・今のところ人数は多い為　計５件
・今のままで良いから
・統合したら通えなくなる子どもが出る

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・今、小中一貫校なので
・今の規模でも子供に寄り添えていないから。
・今現在、学区外からの生徒が増え、問題のある児童が入ってきて、新たな問題を引き起こしている。小中一貫以前は平和だったのに残念である。

問 19(1)-3 あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

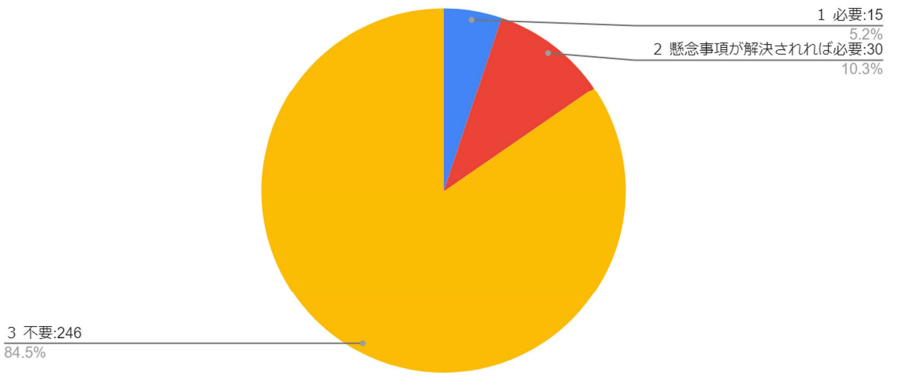
就学学校名	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間中学校	13 わからない	7
	1 笠間小学校	3
	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	2
	5 北川根小学校	1
	4 友部小学校	1
	14 回答しない	1
2 稲田中学校	1 笠間小学校	6
	2 稲田小学校	3
	13 わからない	3
3 友部中学校	6 大原小学校	3
	4 友部小学校	3
	3 宍戸小学校	3
	13 わからない	2
	12 統合は不要	1
4 友部第二中学校	13 わからない	4
	7 友部第二小学校	1
	5 北川根小学校	1
	4 友部小学校	1
	12 統合は不要	1
5 岩間中学校	13 わからない	6
	9 岩間第二小学校	4
	8 岩間第一小学校	4
	12 統合は不要	2
	10 岩間第三小学校	2
	6 大原小学校	1
	5 北川根小学校	1
	2 稲田小学校	1
6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	2 稲田小学校	2
	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	1
	10 岩間第三小学校	1
	1 笠間小学校	1

n=73

※居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「3 不要」と回答した場合を除く

問 19　(2)-1 あなたの居住地区の中学校について、統合が必要だと思いますか

○80%以上が「統合は不要」としている。



n=291

問 19(2)-2 上の (2)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

通学先の学校ごとの集計

問 19(2)-1 で「1　必要」と回答した場合

1 笠間中学校

・以前に統合した中学校との規模の違いが大きすぎる、小学校から人間関係がかわらず、新しい友人ができない

2 稲田中学校

・何事にも張合いがなく、現状維持できてればいいと子供たちの中でも変な安心感があるように感じるため。

・人数が少ない為クラス替えもなく、部活が合同となった場合の合同練習等の送迎の親負担も大きい。

・生徒数が少ないため

・部活動の選択肢がない

・幼稚園から中学校までずっと１クラスで、クラス替えによる人間関係の変化がなく、変化に対応できず、高校生活を迎えることになる。小学校は少人数でもいいが、中学校は統合して、大人数で生活し、協調性と競争心、両方養ってもらいたい。〃

3 友部中学校

・生徒数が多すぎる

4 友部第二中学校

・部活動がまだ続くのであれば、人数が少ない部活動もあるので、必要かと思う。

・部活動が完全に学校で無くなるのであれば、不要なのかとも思う。

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・運動部の充実

・部活動外部委託になるだろうけども数を増やして子供たちに、選択肢を与えてあげたいクラブチームまではという家庭もあるだろうし、放課後少しっていう家庭もあるので 。

問 19(2)-1 で「２　懸念事項が解決されれば必要」とした場合

1 笠間中学校

・少子化のため

2 稲田中学校

・通学手段と時間
・統合により、児童生徒の通学時間がかかりすぎることがあってはならない。

5 岩間中学校
・子供の減少が続けば、必要
・生徒が自由に選択出来ればどこの学校ではなく学習の自由化はどうか?

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）
・みなみ学園は新しい校舎を建てたばかりなので、児童生徒数を増やすことには賛成。

問 19(2)-1 で「３ 不要」とした場合

1 笠間中学校
・いまのままでいい
・すでに統合されている　計４件
・これ以上通学時間がかかるのは子供にとって負担が大きい
・笠間中は１学年ちょうど良い人数だと思うので
・旧笠間地区で中学校を残すなら、笠間中学校を残して欲しいから
・現状全学年３クラス以上あり、生徒含め教員の人間関係の希薄さが伺える
・市外から通学しているため参考にならない
・将来的に統合は仕方ないと思いますが、旧笠間は地域柄残さなくてはいけないと思うから
・小学校の質問同様、生徒数が少ないとは思わないため
・人数が多くなってしまうため　計３件
・統合後のため
・不要だと思うから

2 稲田中学校
・まずは、笠間中の学区見直しが先
・人数が多けりゃあ良いってもんじゃない

3 友部中学校
・今のままでよい
・今以上に学級数が増えるのは好ましくないから
・子供２人、たくさんお友達が出来、楽しく通えているから。
・人数は十分であるから
・生徒数は多いほうだと思うので。 計２件
・地理的に適正配置されているため
・統合して、１つにしたら、さらに人数が増えること。現状だと、学区変更する人も多く、変わらないと思う。
・必要性を感じない

4 友部第二中学校
・まだ人数的に成り立っているから　計４件
・適切な規模であるため　　・特になし
・友部は２校しかないので統廃合はなくても良い

5 岩間中学校
・１つしか学校がない　　計２件
・学年３クラスあるため
・岩間地区に１つしかない中学をこれ以上統合できると思えない　計２件
・居住地によっては、通学時間が長くなり、交通事故などに合う可能性が高くなる為

・今のところ人数は多い為　計６件
・生徒数も今のところ問題ないようですし、校舎もまだ新しいと思うので…
・必要ない

6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・みなみ学園は、学区外からの受け入れも行っている。大人数での学校生活に適応できなかったり、障がいを持っているであろう子供達の受け入れ先にもなっていると思う。
そのような子供と小さいうちから触れ合うことで偏見（先入観？）は少なくなるのではとも思う。そういう良い面もあるが、少人数での学校生活が当たり前だと思い生活しているので、高校に入ってあまりのギャップでうまく人間関係を築けるのか不安。
・どこの学校にも一長一短はあると思う。笠間市内の学校でもっと積極的に学校間交流を行ってもいいかとも思う。
・今、小中一貫校なので　　・今の規模でも子供に寄り添えていないから。
・統合した場合の人間関係が不安です。
・統合しない為の一貫校だと説明を受けているので。

問 19 (2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

就学学校名	居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間中学校	1　笠間中学校	4
	8 わからない	3
	9 回答しない	1
	6　みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
	3　友部中学校	1
2 稲田中学校	1　笠間中学校	7
	2　稲田中学校	3
	8 わからない	2
3 友部中学校	4　友部第二中学校	2
	3　友部中学校	1
4 友部第二中学校	8 わからない	4
5 岩間中学校	8 わからない	6
	3　友部中学校	3
	5　岩間中学校	2
	6　みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
6 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	2　稲田中学校	2
	5　岩間中学校	1
	1　笠間中学校	1

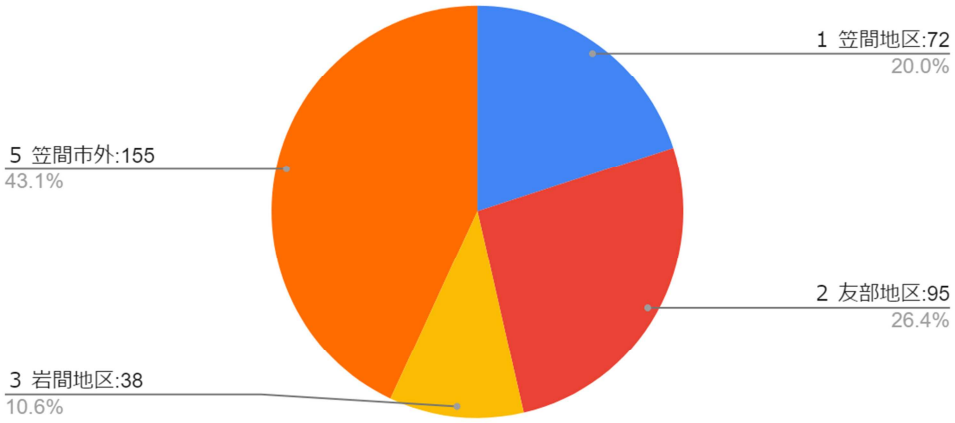
n=45

※居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「3　不要」と回答した場合を除く

（１）回答者の属性

問１　あなたの居住する地区をお答えください（単一回答）

○割合は笠間地区が 20.0%、友部地区が 26.4%である。

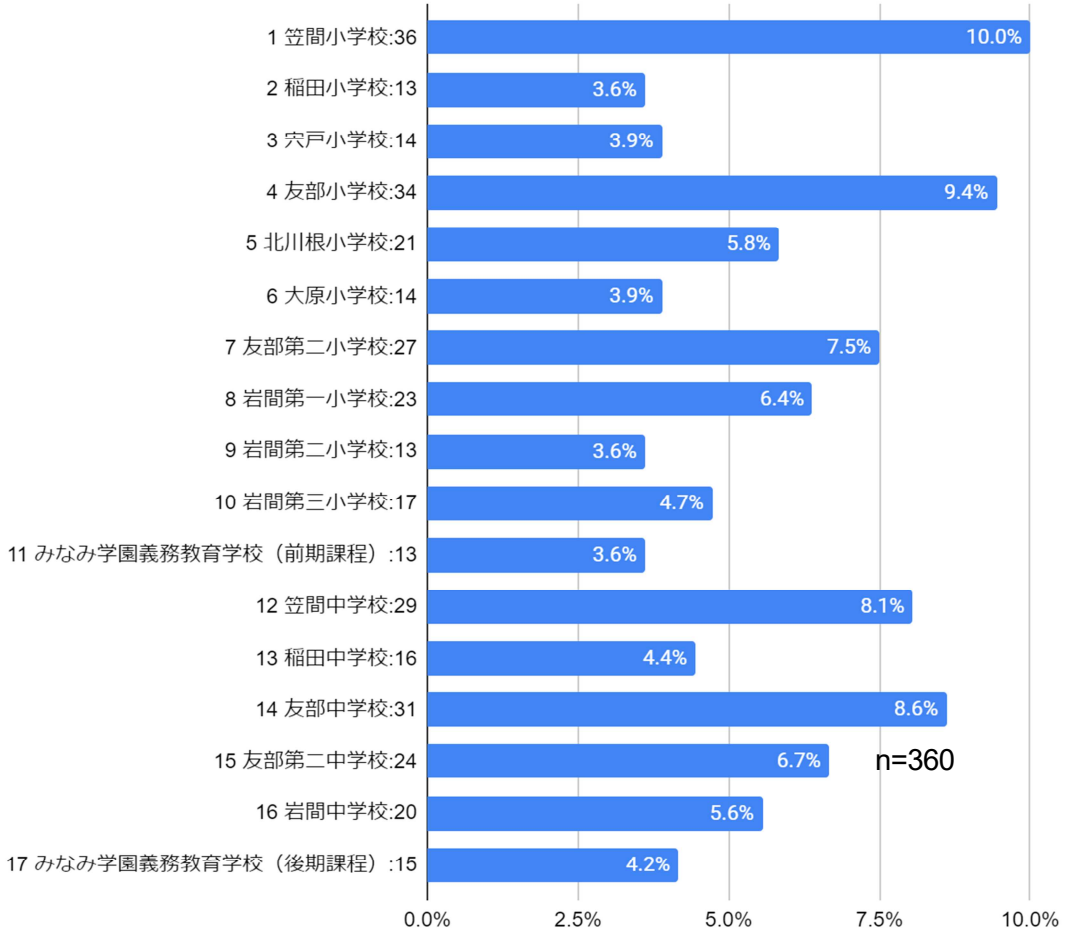


n=360

問２　あなたが勤務する学校名をお答えください（単一回答）

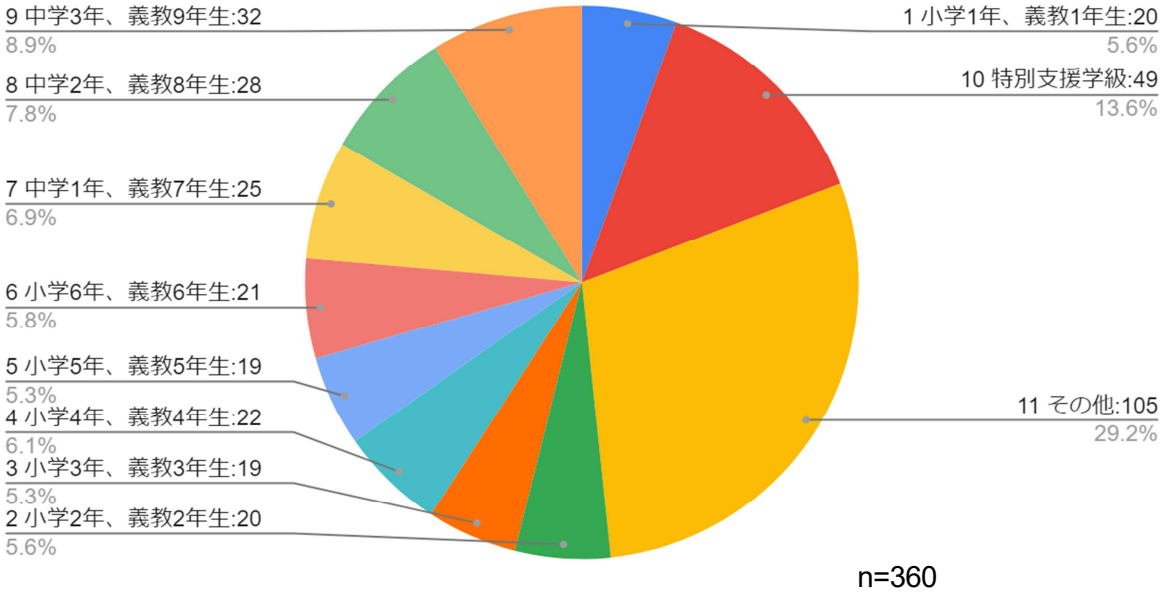
○勤務する学校については、「笠間小」（10.0%）、「友部小」（9.4%）、「友部中」（8.6%）、「笠間中」（8.1%）などで８%を超えている。

○地区別では、「笠間地区」が 33.9%、「友部地区」が 45.8%、「岩間地区」20.2%となっている。



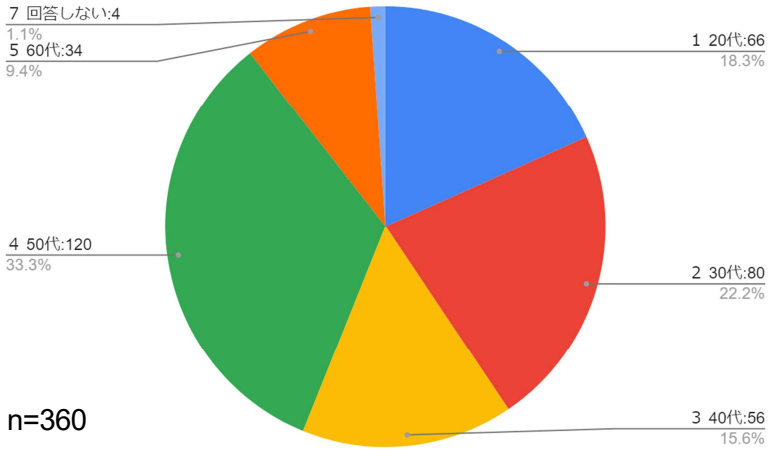
問３　担当の学年、学級をお答えください（単一回答）

○担当の学年、学級は以下のとおりである。



問４　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

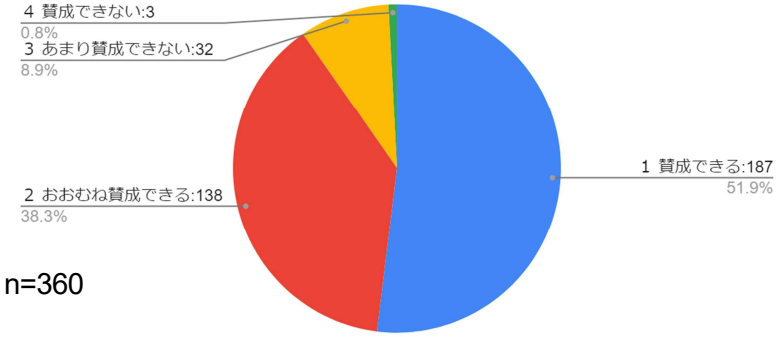
○回答者の年齢については「50 代」が 33.3%で最多となっている。



（２）基本方針についてのあなたのお考えをお答えください

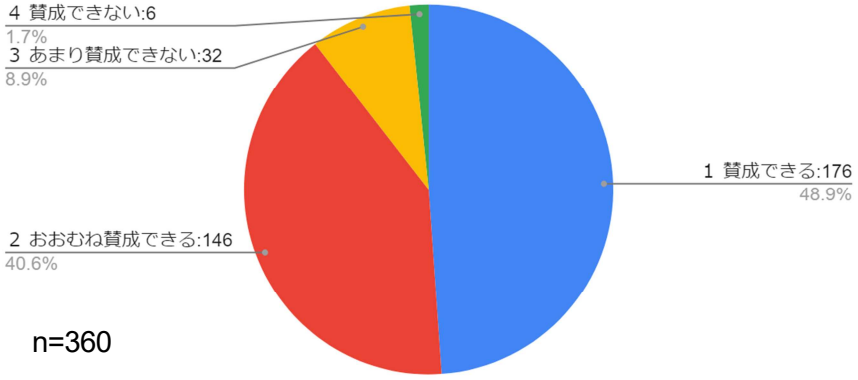
問５(1)　小学校（1 学年 2 学級以上）について

○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 80%を超える。年代別での回答の傾向も同様である。



問５(2)　中学校（1 学年 3 学級以上）について

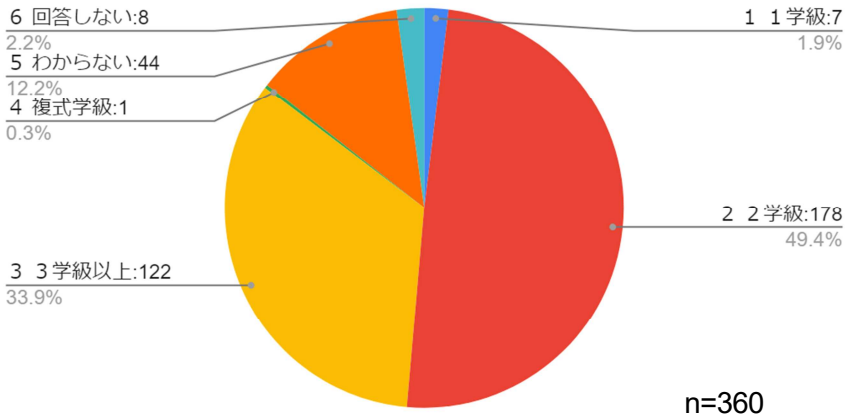
○「１　賛成できる」「２　おおむね賛成できる」が全体の 80%を超える。年代別での回答の傾向も同様である。



（３）勤務する学校の規模について

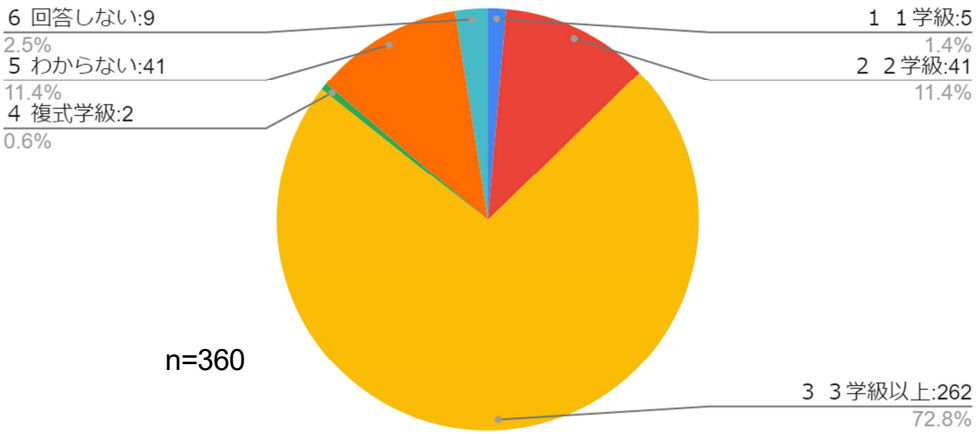
問６　小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

○80%以上が 2 学級以上の複数学級を望ましいとしている。



問７　中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

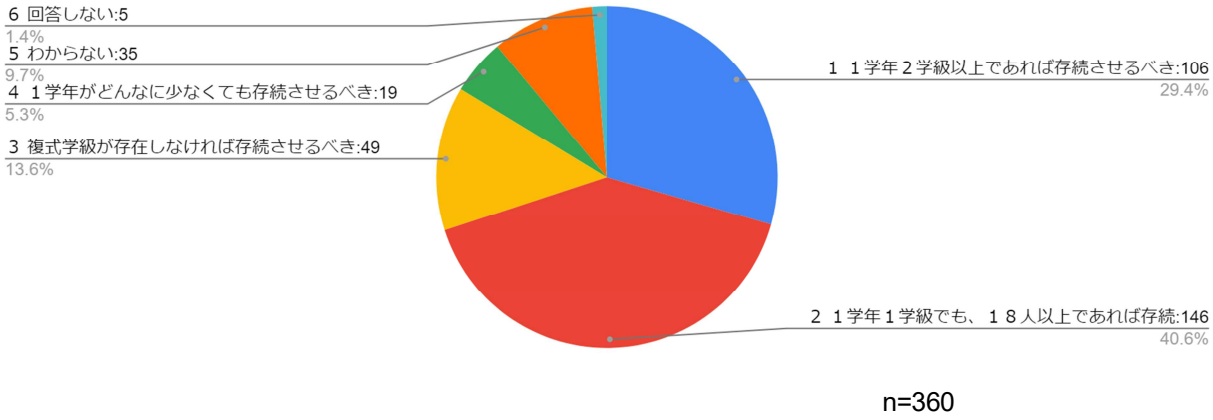
○80%以上が 2 学級以上の複数学級を望ましいとしている。また、70%以上が 3 学級以上が望ましいと回答している。



（４）勤務する学校の存続について

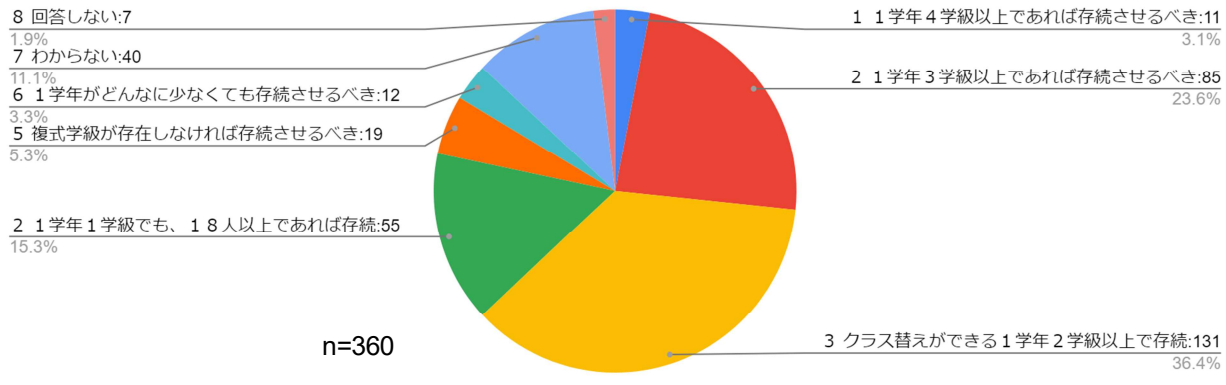
問８　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○年代別での回答を集計すると「２　１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が多い。



問９　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

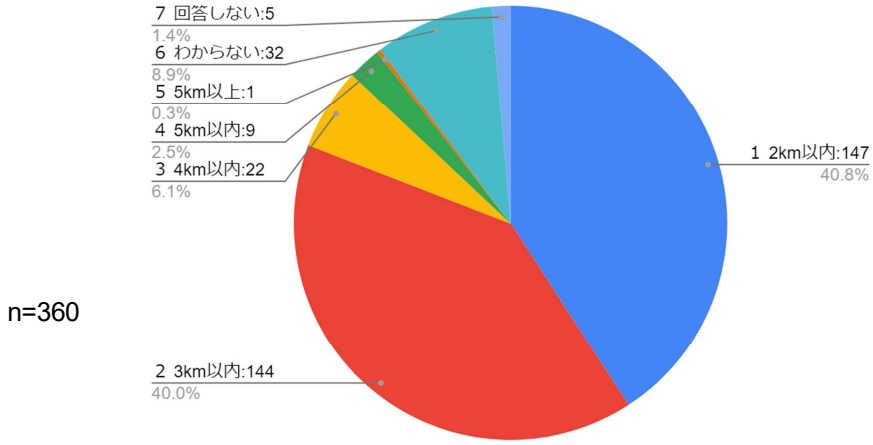
○60%以上がクラス替えができる 2 学級以上と回答している。



（５）勤務する学校が現在と異なる場所（学校）と統合した場合について

問 10　小学生が徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何 km までが適当と考えますか（単一回答）

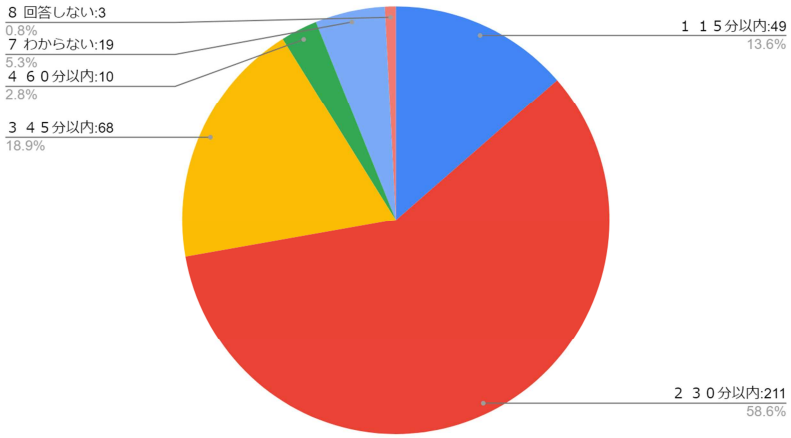
○通学距離については 4Km 以内の回答が 80%以上を超える。



n=360

問 11　小学校でスクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

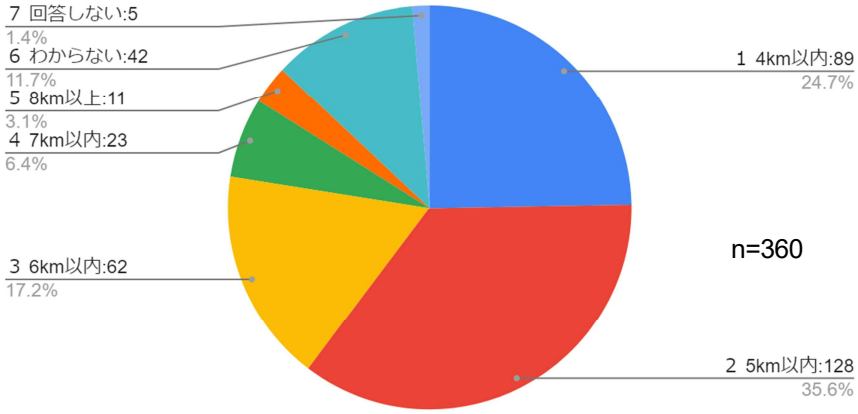
○通学に要する時間については 30 分以内が 70%を超える。



n=360

問 12　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何 km までが適当と考えますか（単一回答）

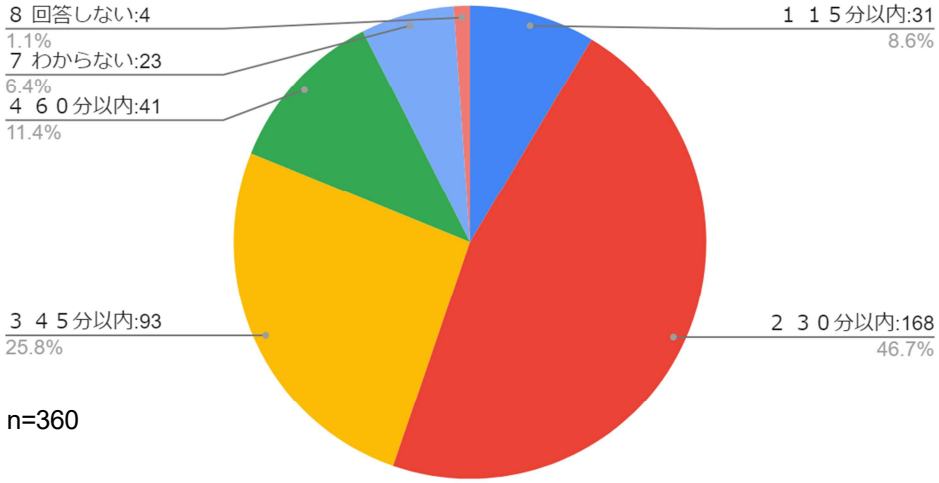
○通学距離については 6Km 以内の回答が 75%以上を超える。



n=360

問 13　中学校でスクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

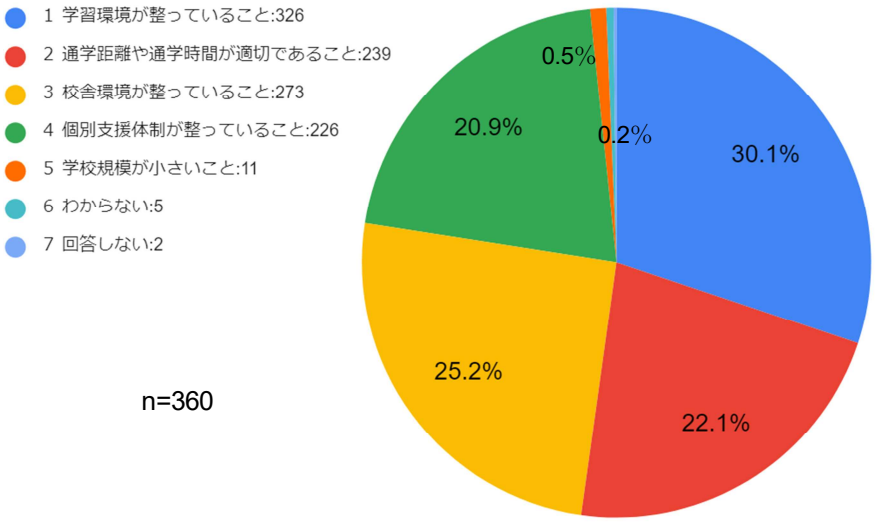
○通学に要する時間については 30 分以内の希望が全体の過半数を占めている。



（６）勤務する学校の通学条件や教育条件について

問 14　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○回答は以下のとおりであり、「1　学習環境が整っていること」が最も多い。次いで「3　校舎環境が整っていること」が多い。また、教職員の人員配置に言及した意見が多い。



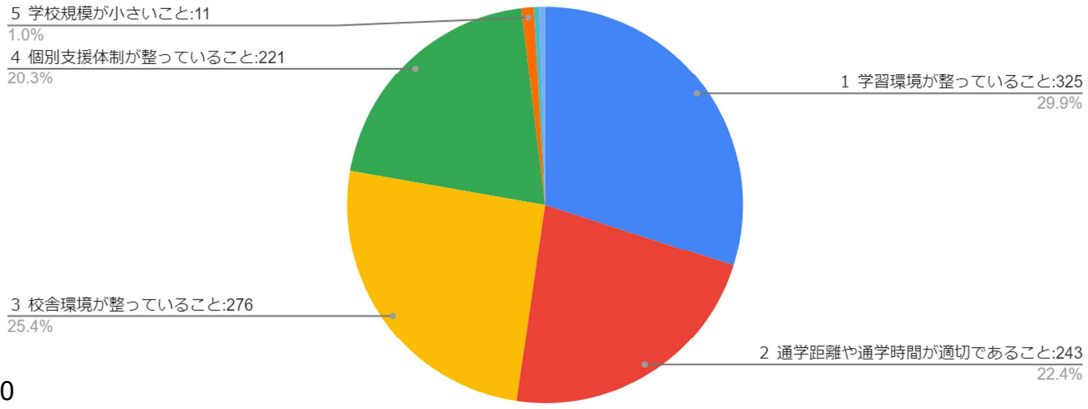
その他自由意見

・教員数が揃っていること。 ・教員が余裕のある環境がある。 ・統合しても教員の人員配置にゆとりがあること	・ある一定以上の人数がいること ・教職員人数の増員

n=5

問 15　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○回答は以下のとおりであり、「1　学習環境が整っていること」が最も多い。次いで「３　校舎環境が整っていること」が多い。また、教職員の人員配置に言及した意見が多い。



n=360

その他自由意見

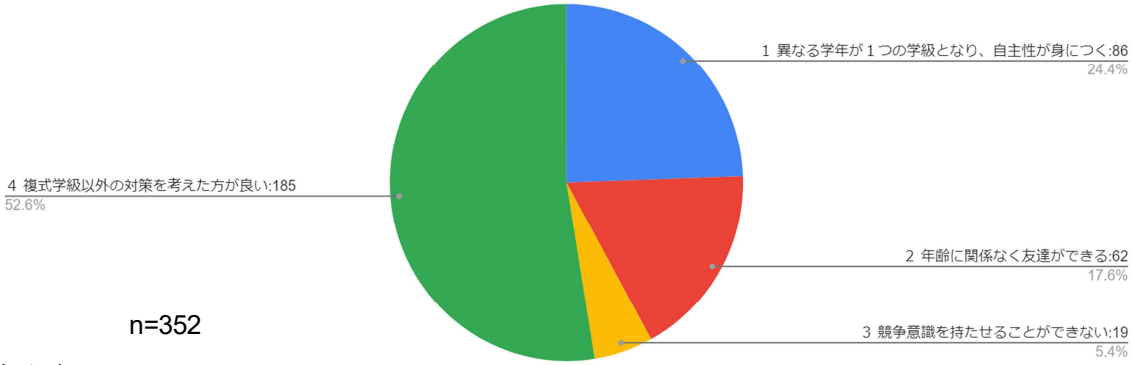
・教員の数が揃っていること。充実していること。 ・教員の余裕がある環境がある。	・統合しても教員の人員配置にゆとりがあること ・ある一定以上の人数がいること ・教職員人数の増員

n=5

（７）複式学級に対する意向について

問 16　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

○52%以上の回答が複式学級以外の対策を望んでいる。



n=352

その他自由意見

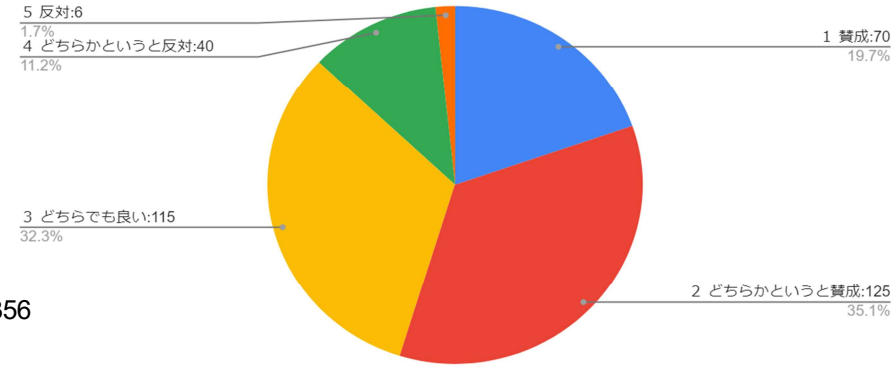
・メリットとデメリットについて理解できていないため、回答するのが難しい ・わからない ・学習の成立が難しくなる。 ・教員が大変ではないかと思う ・分かりません	・授業の準備だけでなく、先生の負担が大きい。学習の質に不安がある。 ・授業者がどのように授業を行っていくのか、経験がないから分からない。 ・複式学級による教育効果はどのような事が望めるのか具体的な数値はどこからも出されていないためだ判断ができません。

n=8

（８） 小中一貫校に対する意向について

問 17　学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校 までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「１　賛成」　「２　どちらかというと賛成」が 54.8%となり、「４　どちらかというと反対」「５　反対」を合わせた 12.9%を大幅に上回る。



n=356

その他自由意見

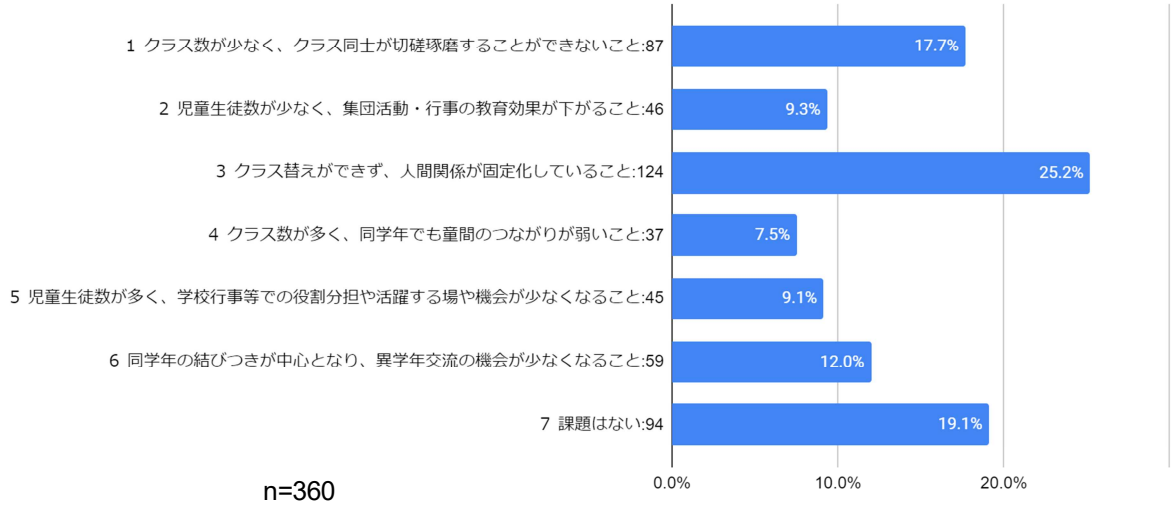
・9 学年が揃うことについて、経験がないからよく分からない。授業は学級担任制なのか、教科担任制なのか、どの学年から教科担任制になるのかなど、はっきりわからないことが多いのが現状。
・回答できません
・教員の働き方が悪くならなければ賛成です。
・分かりません

n=4

（９）学校の統廃合について

問 18　勤務する学校に「課題」があればお選びください（３つまで）

○人間関係の固定化のほか、課題はないとする回答が多い。



n=360

○学校の学級数と回答の相関で見ると

1. 各学年単学級のみで構成されている学校においては

①「3　クラス替えができず、人間関係が固定化していること」

②「1　クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」を課題と考えている。

2. 各学年 3 学級以上の学校においては、

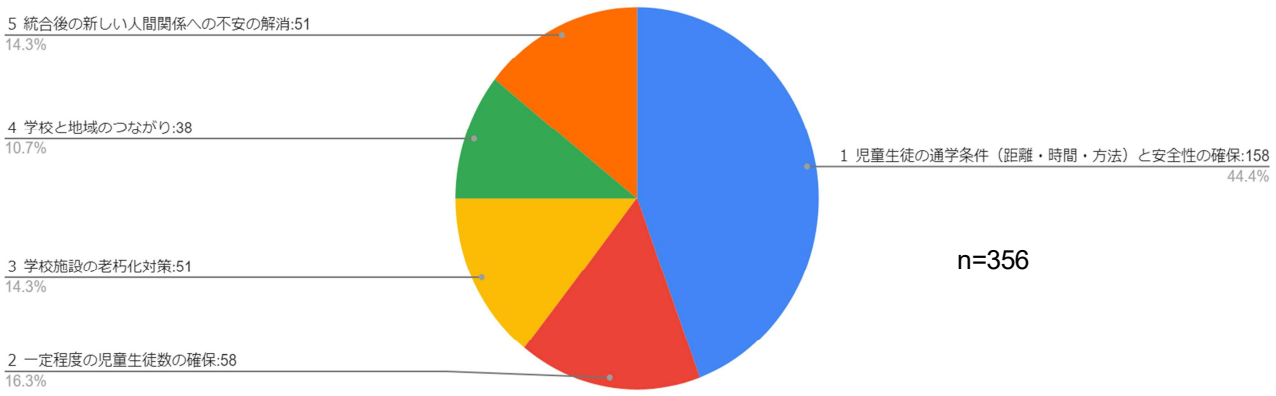
①「6　同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少なくなること」が最多となっている。また、各学年 3 学級以上の学校においては児童生徒が多いことを課題と考えている傾向がある。

			児童生徒数が少			児童生徒数が多			
学校名	現学級数	回答数	1 クラス数少	2 児童生徒数少	3 クラス替不可	4 クラス数が多	5 児童生徒数多	6 同学年中心	7 課題はない
1 笞間小学校	22	36	2.8%	2.8%	2.8%	25.0%	27.8%	22.2%	36.1%
2 稲田小学校	6	13	76.9%	61.5%	92.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 宍戸小学校	8	14	28.6%	21.4%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
4 友部小学校	22	34	2.9%	2.9%	5.9%	35.3%	55.9%	20.6%	23.5%
5 北川根小学校	11	21	33.3%	19.0%	42.9%	0.0%	0.0%	23.8%	14.3%
6 大原小学校	6	14	42.9%	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 友部第二小学校	18	27	3.7%	3.7%	7.4%	3.7%	11.1%	11.1%	59.3%
8 岩間第一小学校	12	23	43.5%	13.0%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%	37.0%
9 岩間第二小学校	6	13	38.5%	7.7%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
10 岩間第三小学校	8	17	41.2%	23.5%	100.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
11 みなみ学園義務教育学校	6	13	76.9%	61.5%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12 笠間中学校	13	29	3.4%	0.0%	3.4%	10.3%	6.9%	34.5%	40.7%
13 稲田中学校	4	16	56.3%	31.3%	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	3.7%
14 友部中学校	16	31	6.5%	3.2%	3.2%	29.0%	29.0%	29.0%	33.3%
15 友部第二中学校	11	24	4.2%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	37.5%	37.0%
16 岩間中学校	9	20	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	30.0%	37.0%
17 みなみ学園義務教育学校	3	15	86.7%	13.3%	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	56	360	24.2%	12.8%	34.4%	10.3%	12.5%	16.4%	26.1%
各学年3学級以上		表のパーセントは学校ごとの回答数総数に対する回答数の割合							
各学年1学級		学級数に特別支援学級は含まない。							
各学年1~2学級									

n=360

問 19　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを１つお選びください。

○「1　児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」が 44.4%と多数を占める。



n=356

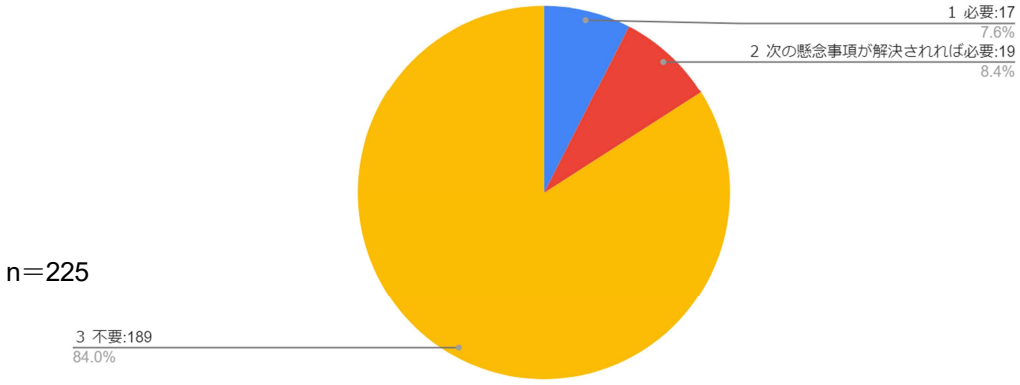
その他自由意見

・回答できない	・教員数の確保。
・教員の余裕がある環境。	・分かりません

n＝4

問 20(1)-1 あなたの 勤務している 小学校について、統合が必要だと思いますか

〇80%以上が「統合は不要」としている。



問 20(1)-2　問 20 (1)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

「1　必要」と回答した場合

2 稲田小学校

・人数が減り続けているので、統合を考えていかなければならないと思う

・人数が少なくなり、中学校もこのメンバーのままだと、刺激がなく成長する機会が少なくなってしまうから。

5 北川根小学校

・1 学年 40 人前後で少なく、特別支援学級入級すべきだが勧めにくいケースがあるため。

・単学級が出てきたから　計 2 件

・統合して、学級数を増やして、教員の数を増やして指導したり人間関係が固定化しないようにしたい。

6 大原小学校

・関係が固定化されてしまう。たくさんの人との関わりをもちながら、人間関係づくりについて学んで欲しい。

・規模が小さい事で良い部分も沢山あるが、人間関係が変わっていく経験をさせてあげたいと感じるところがある

9 岩間第二小学校

・勤務していて小規模校に不満はなく、児童に対し細かいところまで見ることができ、教員側から見たらとてもよい学校だと思っているが、6 年間、ずっと同じ人間関係で過ごすことは児童にとってよいのか疑問を感じることはある一方で、子どもたちは学校が楽しいと感じているようで、今の生活に満足している児童が多いのであれば、大人の価値観だけで測れないなと思っている。ただ、現実的に笠間市として見たときに、３校足しても 1 学年 100 人いない現状では、岩間地区の統廃合は避けられないのではないかと思う。

・児童数が少なく人間関係が固定化しているため、辛い思いをしている児童がいるから。

・人数が少なく、人間関係が固定化されてしまう。また、井の中の蛙状態なので刺激があると良い。また、人数が少ないので活動に制限がある。

10 岩間第三小学校

・1 学年複数学級が適当

・児童数が少ない

・多くの子と学び合う機会

・近い将来、全学年が単学級になるのであれば、岩間で一つ義務教育学校も検討の一つとしてはあるのではないかとは思います。課題は大きいとは思いますが。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・児童数が少ないので人間関係が固定されてしまうので、教室が増えれば、もっと人数が増えた方が良い。

問 20(1)-1 で「２ 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

1 笠間小学校

児童生徒の通学条件

2 稲田小学校

・稲田の場合、子ども園から多くの児童が中学校まで過ごす。長い場合は、0 歳から 15 歳まで過ごすことになる。児童数が年々少なくなり、単学級となってしまい、ブロック間や縦割りの活動を行うなどしているが、人間関係が固定されてしまう。地域とのつながりや個別の指導はより深く行うことができるなど良いこともあるが、児童に与える影響、校舎の老朽化、通学の安全等様々な視点から考えて、統合していった方が良いと思う。

・義務教育学校では、学年が増えるだけで教育効果は少ない。

・通学時間がかかりすぎないこと

・通学方法

4 友部小学校

統合ではなく、近隣の学校に児童を分散させたい

5 北川根小学校

・①地域の理解　②通学バス等の通学手段の配慮　③安全で安心な学習環境の整備　④1 学級在籍児童数 30 人以下

・教職員の増員

9 岩間第二小学校

・学年の人数が 10 人未満になったら、統合を考える必要があると思う。

・通学時間や地域とのつながりがある程度妥当であるならば、文部科学省の示す適切な学校規模になるような統廃合は容認できると考える。

・保護者や地域の理解

10 岩間第三小学校

・４０人近くなっている学年を２つのクラスに分かれる人数が足りなくて、一つのクラスの人数が多すぎる。できれば２２人ほどにできるといいです。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・地域の理解

問 20(1)-1 で「３ 不要」とした場合

1 笠間小学校

・これ以上の統合は、学区が大きくなり過ぎて望ましくない。

・すでに統合されているので、十分な児童数が確保できているから。　計 2 件

・一定数の学級数、児童数が確保されているから。

・学区が広すぎる上に人数・クラス数多すぎるから(将来的には減るが)。むしろ一部をみなみ学園や稲田小の学区にして分散させる方が良いのかもしれない。

・規模を考えて

・現在のところ、児童数が確保されていると思われるため　計 3 件

・現在は各学年 3 学級以上あるから。

・全クラス 3 学級以上あるため　計 2 件

2 稲田小学校

・全学年単学級のため、人間関係の固定化はありますが、中学校で単学級が解消されれば、小学校の統合は不要だと思います。

3 宍戸小学校

・2 学級ある学年もあり、児童数が少なくないため

・各学年児童がまだ 25 人以上いるし、落ち着いて教育活動ができているから

・学校全体のまとまりが見られていると感じるため。

・現在の規模で様々な教育活動が成り立っているからです。

・地域の協力が素晴らしい学校であり、地元の方から愛されている学校であると感じるため。

4 友部小学校

・この規模以上は色々と難しいから

・各学年３クラス以上の人数がいるため

・他校に統合されるのならば良いが、人数が増えても空き教室がないため。

・児童数が多い　計 11 件

・統合すると教室が不足するから　計 3 件

5 北川根小学校

・学級としては多くないが、統合になった場合、通学が困難になる児童が考えられるため。

・現状ではまだ統廃合による効果より統廃合に伴う負担の方が大きいと感じるため。

・人数がそこまで少ないわけではないので、統合は必要ないと思います。

・人数的に問題がないから

・統合しなければいけないほどの事情はないから

・特に問題を抱えていないため

6 大原小学校

・学区が広く、通学範囲を広げると通学距離が長くなり、安全上の懸念がある。

・学校の規模で考えると統廃合の必要があると思うが、学区が広く、他の学校と一緒になった場合にカバーできると思えないため。また、地域と根強いつながりがあり、小規模ならではの学校と地域のあたたかさがあると思うから。

・子どもたちは特に問題なく、学校生活を送ることができているから。

・施設の有効活用を考えたい

・特に児童数が少ないわけではないので、統合する必要がないと思うから

7 友部第二小学校

・どの学年も 3 学級ある。

・児童数が確保されており、新たな環境を作る必要がないため　計 6 件

・統合するような小規模ではない　計 3 件

8 岩間第一小学校

・各学年２クラスで、児童数が適正であるから。

・現在のところは、人数がある程度いるため。今後は検討事項となってくるとは思う。

・現在は、全学年 2 学級で、どの学年も 40 人以上の在籍があるから。

・全学年 2 学級ずつのクラス編成ができているので、行事や活動は無理なくできていると思うので。

・全学年 2 学級で目の行き届く規模なので、早急な統合の必要性は感じない。

9 岩間第二小学校

・よい環境のもとで、教育活動が行われているから

・現状においては、統合する理由が挙げられない。

・落ち着いた環境で教育活動ができている。保護者も協力的である。

10 岩間第三小学校

・１学年が 30 名以上いるので不要だと考えます。それより、外国と同レベルに 25 人、20 人学級を実現してほしい。

・人数がある程度いるから

・単学級も増えているが、一学級あたりの人数は多いから。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・学区外からも通える小規模特任校だから。

・義務教育学校ですでに統合しているから。　計 4 件

問 20(1)-3　(1)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、　あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

勤務学校名	勤務する小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間小学校	6 大原小学校	1
2 稲田小学校	3 宍戸小学校	1
	14 回答しない	1
	11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	3
	1 笠間小学校	4
4 友部小学校	12 統合は不要	1
5 北川根小学校	9 岩間第二小学校	3
	7 友部第二小学校	3
	1 笠間小学校	1
6 大原小学校	4 友部小学校	1
	13 わからない	1
8 岩間第一小学校	8 岩間第一小学校	1
9 岩間第二小学校	8 岩間第一小学校	2
	5 北川根小学校	3
	13 わからない	1
	10 岩間第三小学校	2
10 岩間第三小学校	9 岩間第二小学校	1
	8 岩間第一小学校	2
	13 わからない	1
11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）	13 わからない	1

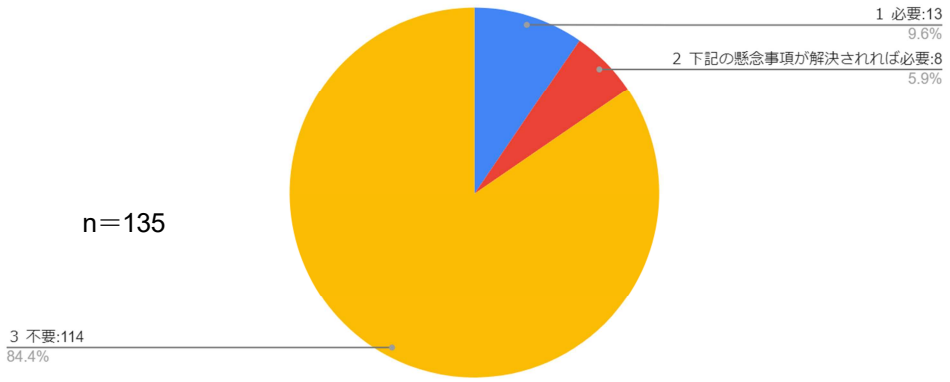
n＝34

※勤務先の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果

※統合が必要だと思いますかの質問に対し「3　不要」と回答した場合を除く

問 20　(2)-1 あなたの勤務している中学校について、統合が必要だと思いますか

〇80%以上が「統合は不要」としている。



問 20(2)-2　問 20 (2)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

学校ごとの集計

問 20(2)-1 で「1　必要」と回答した場合

12 笠間中学校

・稲田中とみなみ学園との生徒数の偏りがある

・将来生徒数が減少が予想されるため

13 稲田中学校

・単学級だと、担任への負担が大きく、かつ授業準備が 3 学年分、テストも 3 学年分、校務分掌も主任がたくさん、仕事量の差が他校とも校内でも激しすぎて働き方改革になっていない。本当にあまりにも教員間の差が激しすぎます。

・部活が成り立たない。

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・人間関係の固定が懸念

・生徒数が少なく、人間関係が固定化されている。また、教職員数が少ない。

問 20(2)-1 で「２ 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

13 稲田中学校

・懸念事項が解決した場合ではなく、さらに生徒数が減ってしまった場合必要だと考えます。

・地域の理解、納得

・安全安心な通学手段の確保

15 友部第二中学校

・友部二中は友部中と分離した学校であるため、元に戻ると考えれば異論はないのでは

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・教員数が足りていない。支援が必要な児童生徒が多すぎる。

・登下校の距離や通学路の安全性の確保、地域との連携が存続すること、など

問 20(2)-1 で「３ 不要」とした場合

12 笠間中学校

・1 学年 4 学級あるため　計 5 件

・現在の状況で行事も成り立つしちょうどやりやすい。

・今のところ生徒数に問題はないため

13 稲田中学校

・いい学校だから

・いまのところ、人数もいるので必要ないと思う。

・地区の衰退化が加速するから

・隣接校の所在地がかなりの遠距離であり、通学に時間がかかることが予想される。また、地域の「地元の学校」を存続させたいという思いが強い。

14 友部中学校

・１学年５クラス以上あるため　計７件

・規模がこれ以上大きくなった分、教職員の負担が大きくなるため

・小規模ではないから。

・生徒数も多く、本校のみで教育活動ができているため

・特に必要ないので。

15 友部第二中学校

・クラス数が適正であるため

・今後も生徒数を確保できると思うから。

・各学年３クラス以上あるので。

・現状で問題がないため。

16 岩間中学校

・いずれ生徒数が少なくなれば必要になる。

・学級数が確保されているため

・義務教育学校としての統合は必要

・近くに統合できる学校がない。

・現状で問題はない

・人間関係によるもの

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・義務教育の９年間を落ち着いた環境で生活することができる。

・義務教育学校として開校したばかり　計３件

問 20　(2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

勤務学校名	勤務先の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
12 笠間中学校	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
	２ 稲田中学校	1
	１ 笠間中学校	1
13 稲田中学校	１ 笠間中学校	3
	7 わからない	2
	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
14 友部中学校	４ 友部第二中学校	1
15 友部第二中学校	３ 友部中学校	1
16 岩間中学校	7 わからない	1
17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	7 わからない	2
	１ 笠間中学校	2
	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
12 笠間中学校	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1
	２ 稲田中学校	1
	１ 笠間中学校	1
13 稲田中学校	１ 笠間中学校	3
	7 わからない	2
	６ みなみ学園義務教育学校（後期課程）	1

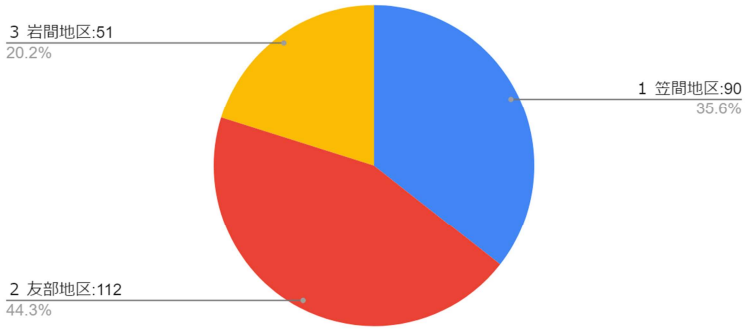
n＝17

※勤務先の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３ 不要」と回答した場合を除く

（１）回答者の属性

問１　あなたの居住する地区をお答えください（単一回答）

○居住地区の割合は友部地区が 44.3%で最多である。

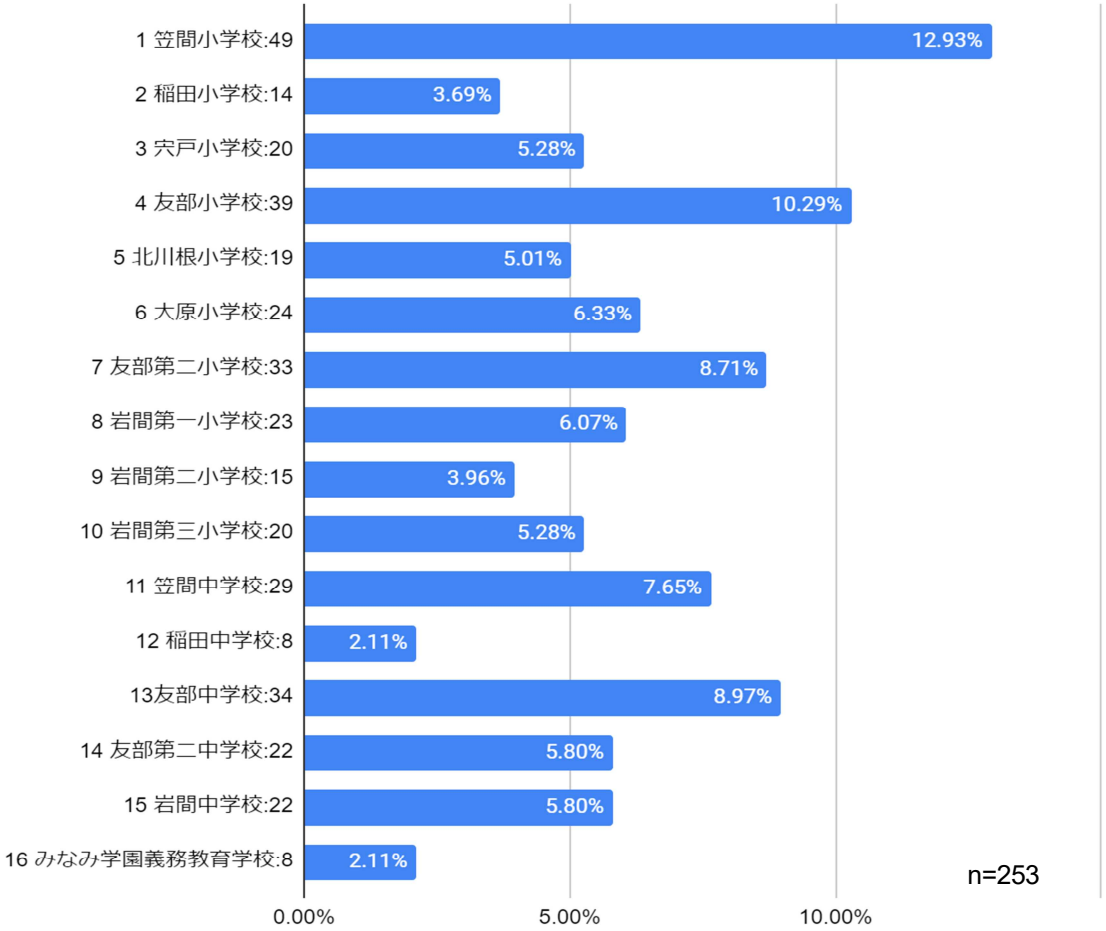


n=253

問２　あなたがお住まいの地区にある学校名をお答えください（複数回答）

○通う学校については、「笠間小」(12.9%)、「友部小」(10.2%)で１割を超え多くなっている。

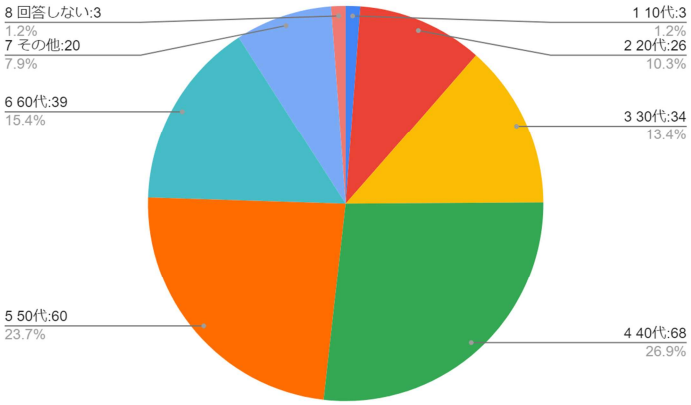
○地区別では、「笠間地区」が 28.5%、「友部地区」が 50.4%、「岩間地区」21.1%となっている。



n=253

問３　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

○回答者の年齢については、「40 代」が 26.9%、「50 代」が 23.7%である。

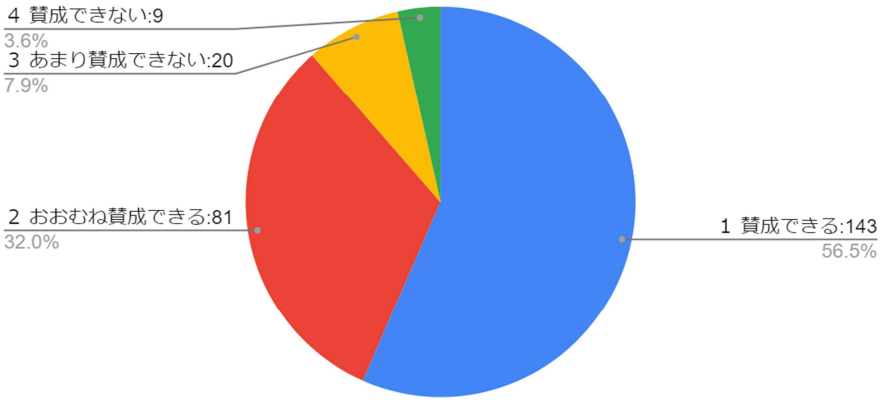


n=253

（２）基本方針についてのあなたのお考えをお答えください

問 4(1) 小学校（1 学年 2 学級以上）について

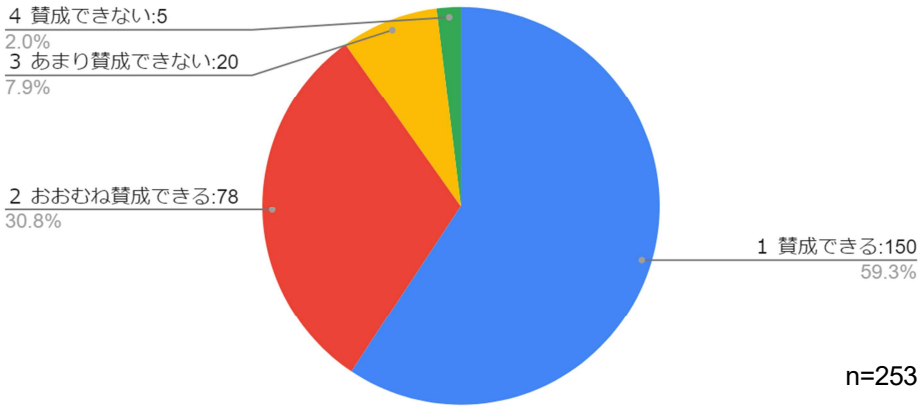
○「１賛成できる」の回答が 56.5%で半数を超える。



n=253

問 4(2) 中学校（1 学年 3 学級以上）について

○「１賛成できる」の回答が 59.3%で半数を超える。

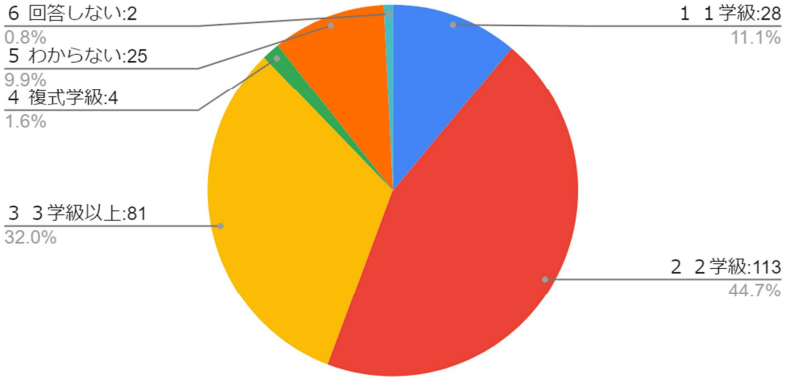


n=253

（３）あなたがお住いの地区の学校の規模について

問５　小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

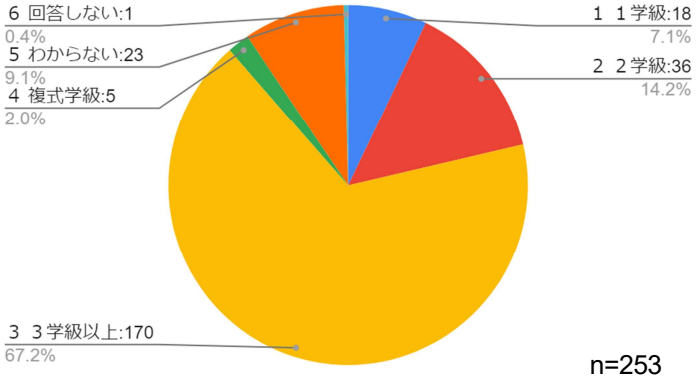
○75%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。



n=253

問６　中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

○80%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。

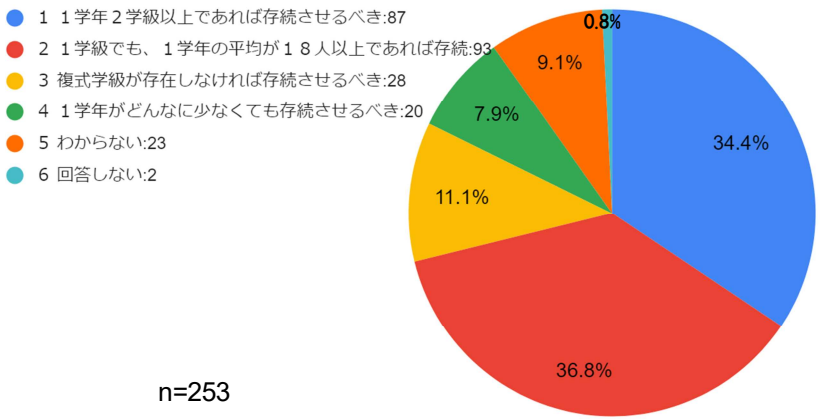


n=253

（４）あなたがお住いの地区の学校の存続について

問７　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

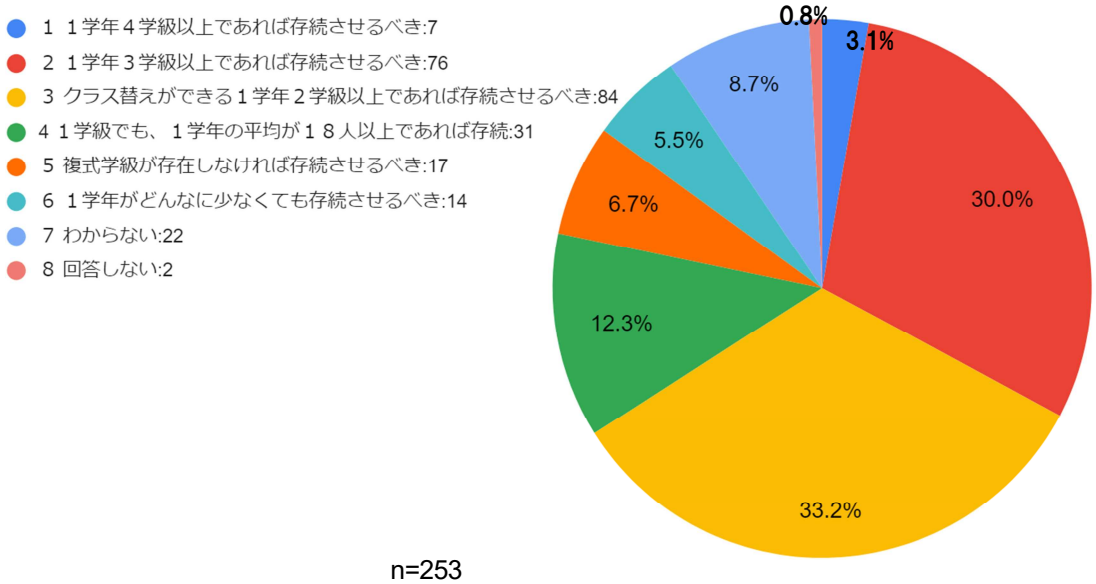
○「２　１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が最も多い。



n=253

問８　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

○「３　クラス替えができる１学年２学級以上であれば存続させるべき」との回答が最も多い。

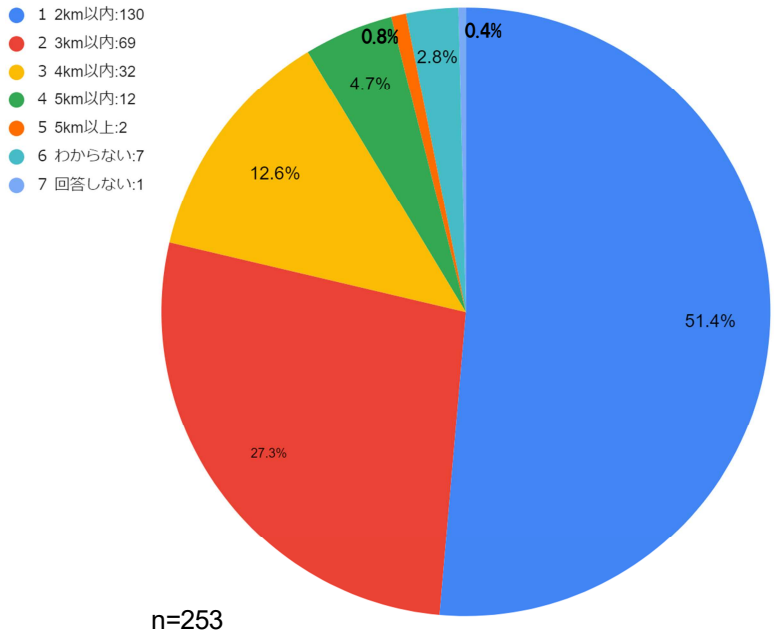


n=253

（５）お住いの地区の学校が現在と異なる場所（学校）と統合した場合について

問９　小学校に徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何 km までが適当と考えますか（単一回答）

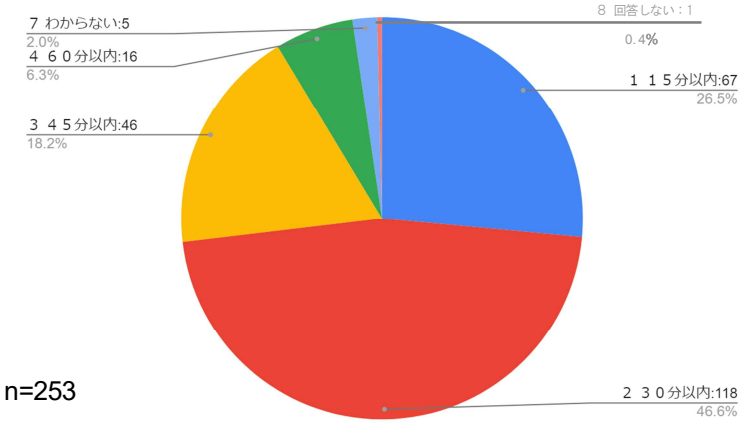
○通学距離については 4Km 以内の回答が 90%以上を占める。



n=253

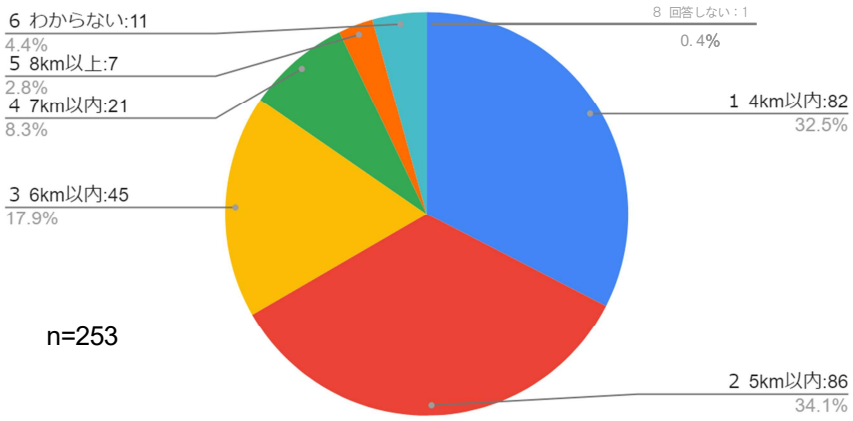
問 10　小学校でスクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

○通学に要する時間については 30 分以内が全体の 70%を超える。



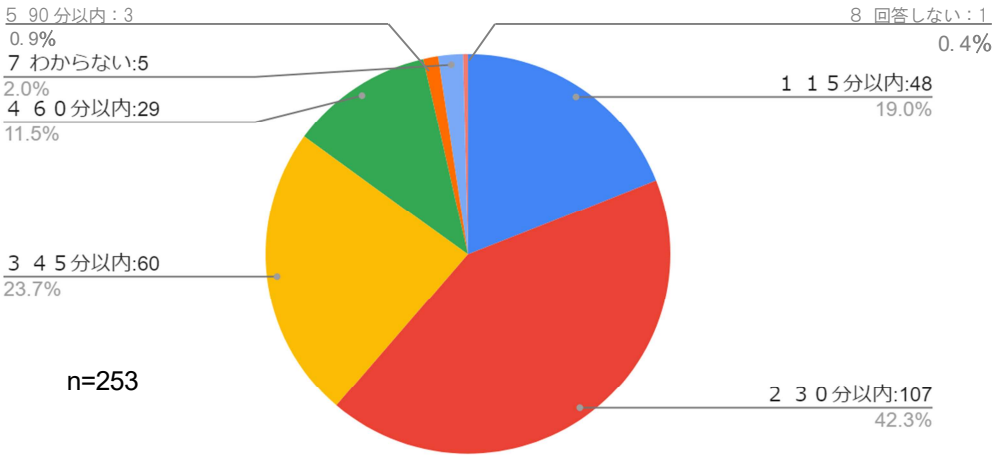
問 11　中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大何 km までが適当と考えますか（単一回答）

○通学距離については 5Km 以内の回答が 65%以上を占める。



問 12　中学校でスクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗車場所への移動時間を含めて、最大何分までが適当と考えますか（単一回答）

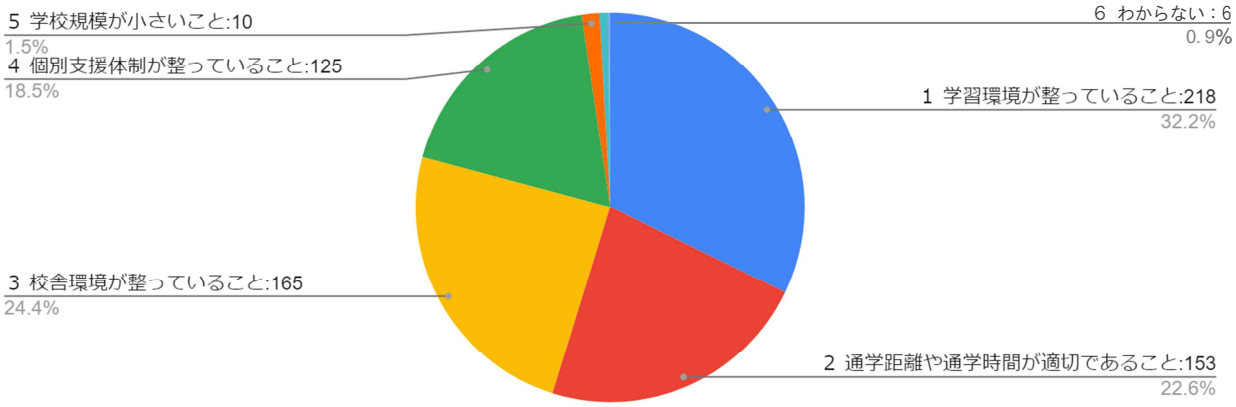
○通学に要する時間については 30 分以内の希望が全体の 60%を超える。



（６）お住いの地区の学校の通学条件や教育条件について

問 13　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」が 32.2%で最も多い



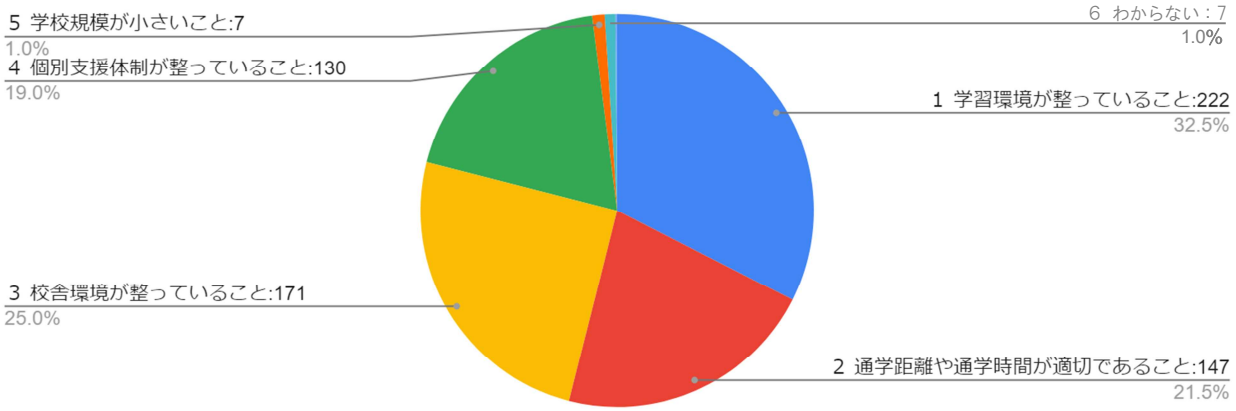
n=253

・学校の教育理念、先生や生徒の質(前向きに取り組む姿勢や、荒れていないなど)
・いじめへの対応力
・各生徒の個性差が尊重される環境（学校の雰囲気）

n=3

問 14　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」が 32.5%で最も多い



その他自由意見　　n=253

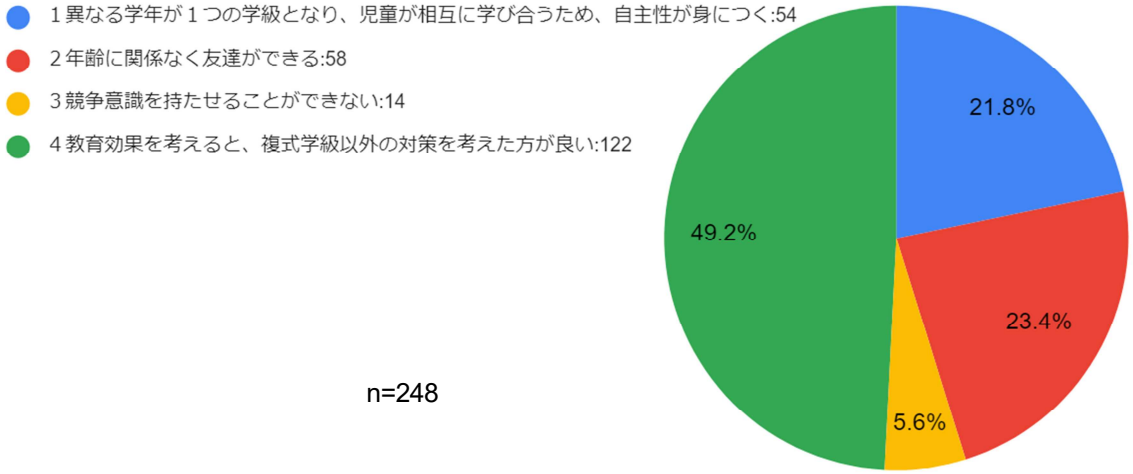
・いじめへの対応力
・生徒や先生間の意思疎通が尊重されること
・部活はある程度選べるぐらい生徒数がいること
・部活動
・学校の教育理念、先生や生徒の質(前向きに取り組む姿勢や、荒れていないなど)

n=5

（７）複式学級に対する意向について

問 15　少子化により複数の学年（例 1・2 年生合同、3・4 年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

○おおよそ半数が複式学級以外の対策を望んでいる。



n=248

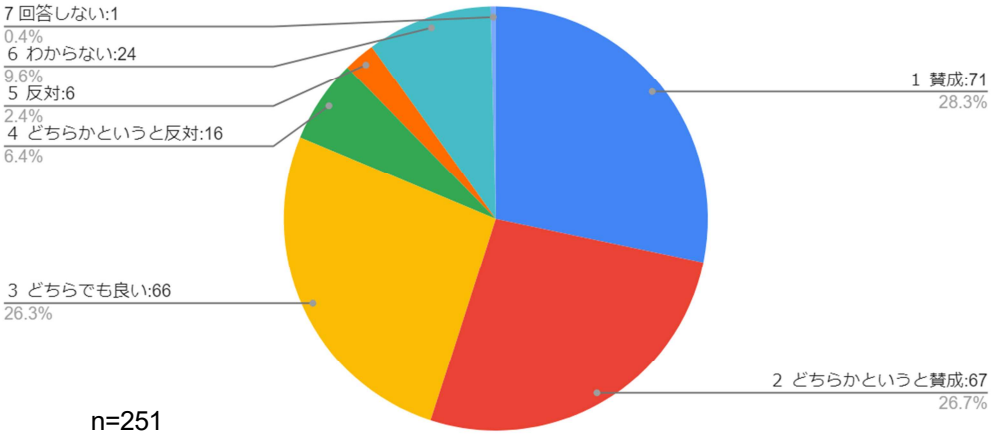
・わからない
・上記１・２のようなこともちろんあると思うが、勉強の習得レベルが中学校に上がる段階で問題にならないようにすることが必須だと思う。そこがクリア出来るのであれば有りだと思う。
・複式なりの良さがあり、それを引き出すようにすればよい。
・学年が上がり、教室の移動がないため、児童自身が成長を実感しにくい
・小学校低学年ならありえる

n=5

（８） 小中一貫校に対する意向について

問 16　小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「1　賛成」　「2　どちらかというと賛成」が 55.0%で「4　どちらかというと反対」「5　反対」を合わせた 8.8%を大きく上回る。



n=251

その他自由意見

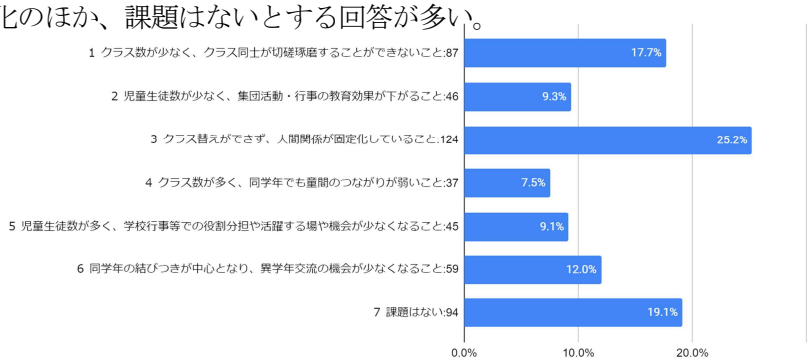
・いじめられている子の逃げ場がなくなる　・子供の成長全体をよく観るようにすれば一貫の方がよい。

n=2

（９）学校の統廃合について

問 17　地域にある学校に「課題」があればお選びください（３つまで）

○人間関係の固定化のほか、課題はないとする回答が多い。



n=253

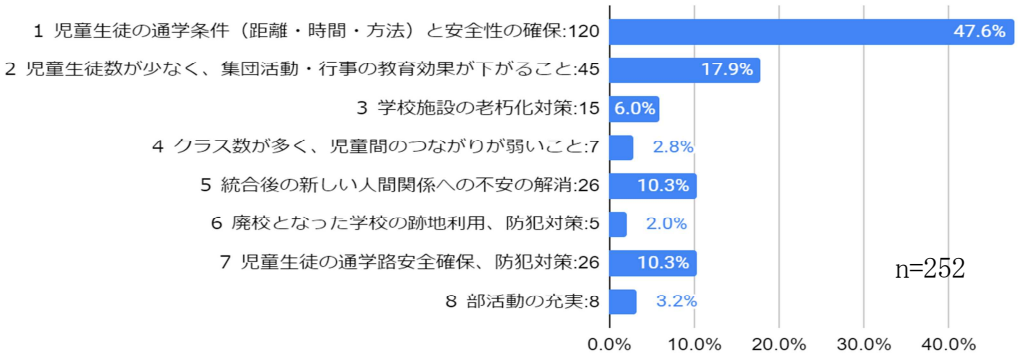
その他自由意見

・情報なし ・廊下との間に壁が無い方が良い ・分からない ・問題行動を起こす児童、生徒に対し、画一的な指導しかできないこと ・学校が無くなると、その地域に若い人が戻ってこなくなる。地域活性化は、まず無理だと考える。 ・わからない ・南友部地区は友部小学校か大原小学校の好きな方を選べるため、親と子どもで相談して魅力的な方が選べるから後悔は無く、1?6 のこともマイナスな方に考えるのではなくプラスにとらえられると思う。	・部活の選択肢が減ること。部活においては合同で、かつ外部に委託することで専門性を上げ、学校側の負担を減らし、教育に重きを置いてほしい。 ・子供がいないので分からない ・学校までの距離が遠く、児童生徒はスクールバスを利用しているが、隣の学区の学校の方が近い。 ・支援級に通っていて、体育などの授業は通常級に行く子が、担任の先生から親へ、他の子の面倒が見られないので、体育の授業は見に来て対応してくださいと言われている ・校則があって当然ではあるが時代に沿った新しい考えも必要か ・地域の交流の場としても活用することを考える

n=13

問 18　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを１つお選びください。

○「1　児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」とする回答が 47.6%を占める。



n=252

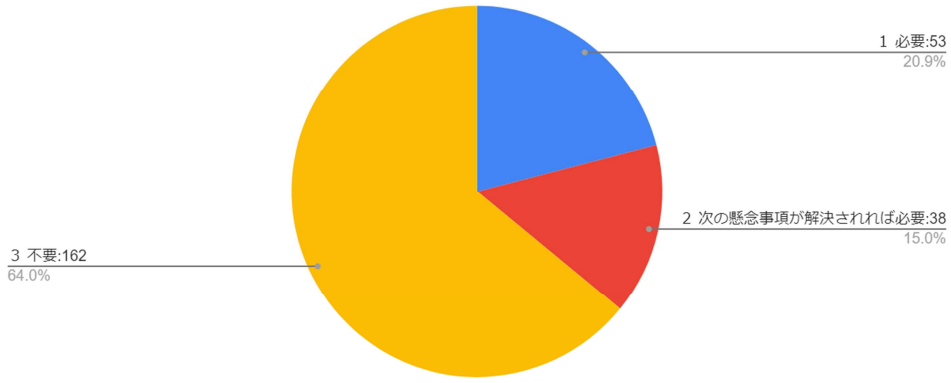
その他自由意見

１つだけなんて選べない

n=1

問 19(1)-1 あなたの居住地区の小学校について、統合が必要だと思いますか

○60%以上が「統合は不要」としている。



n=253

問 19　(1)-2 上の (1)-1　で回答いただいた懸念事項理由を教えてください。

意見ごとの集計

「1 必要」と回答した場合

・他市に比べて校舎が古すぎる。
・バランスが良い子供の数が必要
・人数減少　計 10 件
・人が少なく、やりたい事が出来ない声があった。
・建物の老朽化
・統合し、先生を分散させないことでより充実した指導をお願いしたいから。
・クラス替えができる人数が必要

「2 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

・統合による問題点
・多いところにまとめるのは良いと思う。
・通学時間　計 2 件
・1 クラスの人数を減らして目が行き届くようにする。または 1 クラスに対して先生を一人増やす。
・学校までの距離が遠くなり、通学時間が長くなること。　計 2 件
・子どもたちの負担が増えないこと。
・新しい人間関係の不安や、万が一いじめがあった時の解決策
・子供の安全第一
・地元理解
・通勤方法とマンモス学校により先生たちの児童の状況の把握
・子どもの数が今後さらに少なくなってしまい行事等も運営できなくなったら
・地域住民の反対運動
・学校がなくなることにより地域コミュニティの繋がりが弱くなること
・生徒数と教諭数の適切なバランス
・登下校手段

問 19(1)-1 で「3 不要」とした場合

・すでに合併済みだから
・既に統廃合がなされており、統廃合により通うか学校が遠くなる家庭も沢山居て、これ以上通学に

時間がかかるようになれば、子供もその親達に負担が大きい。
・計画的に議論していると思えない。
・今のところ人数は問題ないため
・大原小学校、北川根小学校、宍戸小学校の廃校
・2 学級が維持されているので
・子どもの数が多い
・人数が増えれば
・人数が多くなれば、それだけいじめが発生しやすい。毎年いじめで自殺している児童の数が増えているのに救えない命が殆ど。いじめのリスクを無くしたい。

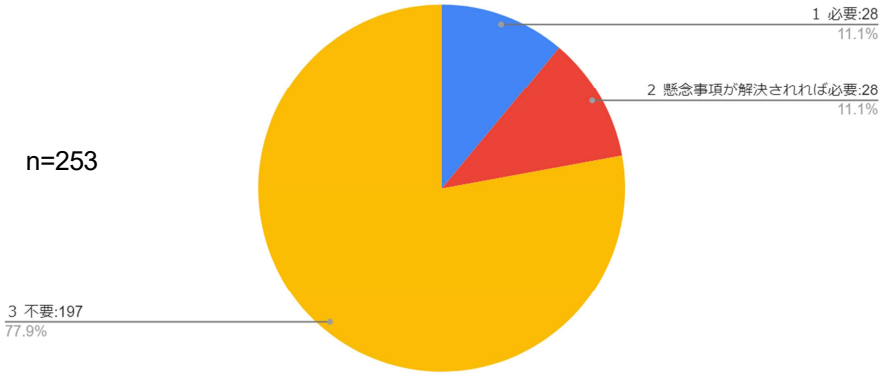
問 19 (1)-3 (1)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか。あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

居住地区	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
1 笠間地区	1 笠間小学校	14
	13 わからない	5
	6 大原小学校	3
	2 稲田小学校	2
	11 みなみ学園義務教育学校	2
	3 宍戸小学校	1
	12 統合は不要	1
2 友部地区	13 わからない	9
	6 大原小学校	8
	7 友部第二小学校	4
	4 友部小学校	3
	5 北川根小学校	2
	3 宍戸小学校	2
	14 回答しない	2
	9 岩間第二小学校	1
	12 統合は不要	1
3 岩間地区	8 岩間第一小学校	9
	10 岩間第三小学校	9
	13 わからない	6
	9 岩間第二小学校	4
	5 北川根小学校	1
	14 回答しない	1

n=90

問 19 (2)-1 あなたの居住地区の中学校について、統合が必要だと思いますか

○75%以上が「統合は不要」としている。



問 19　(2)-2 上の (2)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

「1　必要」と回答した場合

・校舎の老朽化、部活動の統合。
・子どもの人数の見直し
・中学生になればある程度の集団行動に慣れる必要がある。（大人への第一歩）小規模校は高校に行った時に苦労すると思う。小学校までは、児童に合わせた小集団活動がないと不登校が増える等の問題がある。
・やりたい部活が無かったりする
・生徒数が少ない　計 4 件
・人数が偏りすぎてしまうため

「2 懸念事項が解決されれば必要」とした場合

・統合による問題点
・多いところにまとめるのは良いと思う。
・回答というか意見です。学校だけでなく、統合したあとの学童についても考えてほしい。学校内に学童の施設があるのに定員数が超えてしまい入所ができない現実問題。施設を作るのではなく、学校校舎をそのまま利用し、外部委託のほうが良いのではないかと思う。なぜ学校があるのにわざわざ、校舎に施設を作るのか理解できない。その予算を学校の老朽化対策や、外部委託の人件費にあてて、より教育に専念できる環境作りをしてもらいたいと思う。なぜ幼稚園は延長できるのに、小学校は延長できないのか。幼稚園は働き方改革に合わせて変化しているのに義務教育においては変化していない現状。統合するにあたり学童が学校内にない場合、バス送迎など学童費が高額になる可能性など、広い視野で考察してほしい。
・子どもたちの負担が増えないこと。
・小学校同様、新しい人間関係や、通学時間
・子供の安全第一
・登下校手段
・問題行動を起こす生徒への対応
・必要クラス数を今後も維持していけると思われるから

「3 不要」とした場合

・小学校と同様。部活動等で帰宅が遅くなり、尚且つ自宅まで遠いとなると、日も暮れ、夜間になることもあり、特に 1 人で帰宅する場合、危険が潜んでいる可能性もあり、変質者や車、歩行者等との

接触事故などもあるかもしれないし、子供が帰宅するまで親の心配はなくならない。

・理由はない　　・人数とか、よくわからないので
・生徒数が確保されているから。　計５件
・3-4 学級が維持されているので
・統合は必要ない　計３件
・必要クラス数を今後も維持していけると思われるから
・人数が増えれば　　・上記と一緒の理由。特に中学生がいじめ多発の年頃。絶対反対！
・通学距離　　・地域に１校しかない　計４件

問 19　(2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「２下記の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

居住地区	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
１ 笠間地区	１ 笠間中学校	15
	8 わからない	5
	２ 稲田中学校	3
	7 統合は不要	2
	３ 友部中学校	2
	9 回答しない	1
	６ みなみ学園義務教育学校	1
２ 友部地区	8 わからない	6
	３ 友部中学校	4
	４ 友部第二中学校	2
	9 回答しない	1
	7 統合は不要	1
	２ 稲田中学校	1
３ 岩間地区	8 わからない	4
	５ 岩間中学校	4
	9 回答しない	2
	６ みなみ学園義務教育学校	1
	４ 友部第二中学校	1
	６ みなみ学園義務教育学校	1
	４ 友部第二中学校	1
	２ 稲田中学校	1
	１ 笠間中学校	1

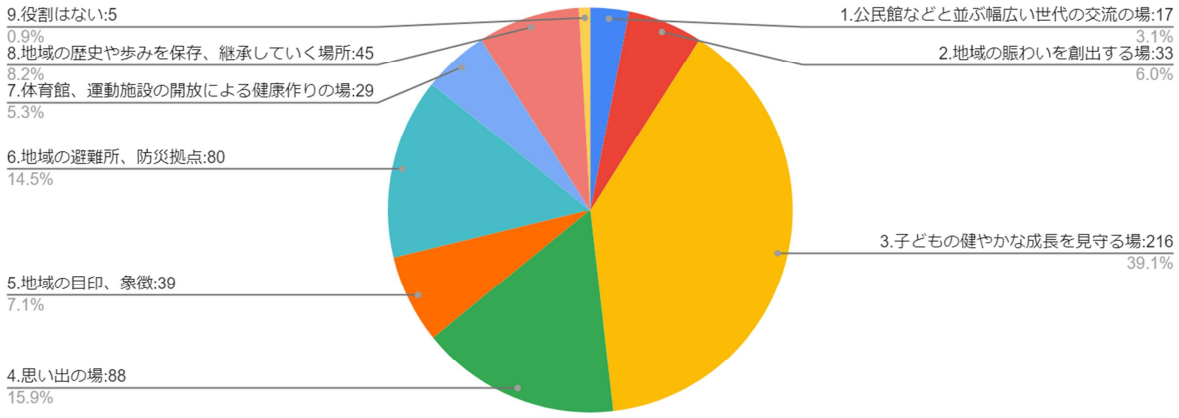
n=58

※居住地区の中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果

※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３ 不要」と回答した場合を除く

問 20　あなたにとって現在の学校の重要な役割は何になりますか？（3 つまで）

○「3　子どもの健やかな成長を見守る場」が 39.1%と最も多い。



n=253

その他自由意見

・大人になるために、いずれ自立するために子どもたちがいろいろなことを学び経験する場所
・他人を意識し、個人を確立し、協調性を学ぶ場所

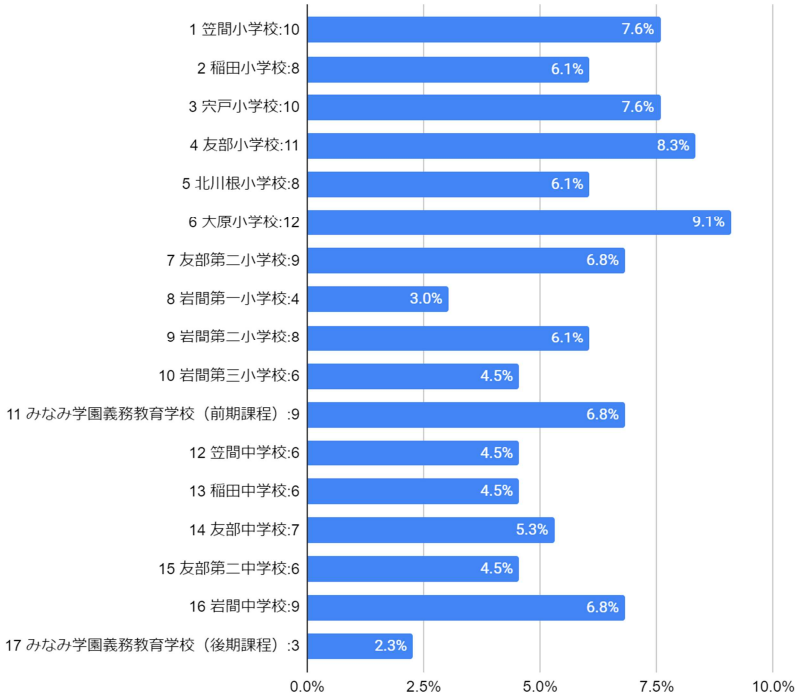
n=2

（１）回答者の属性

問１　あなたが学校運営協議会に所属する学校名をお答えください（単一回答）

○所属する学校については、「大原小」（9.1%）、「友部小」（8.3%）となっている。

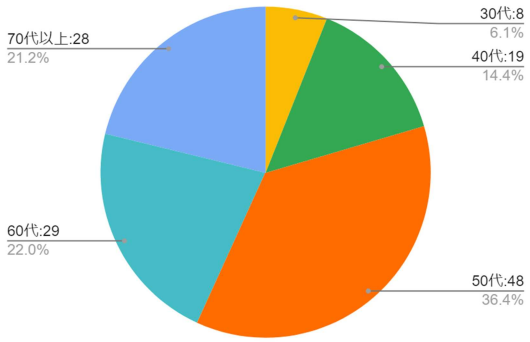
○地区別では、「笠間地区」が 31.8%、「友部地区」が 47.7%、「岩間地区」20.5%となっている。



n=132

問２　あなたの年齢をお答えください（単一回答）

○回答者の年齢については、「50 代」が 36.4%、「60 代」が 22.0%である。

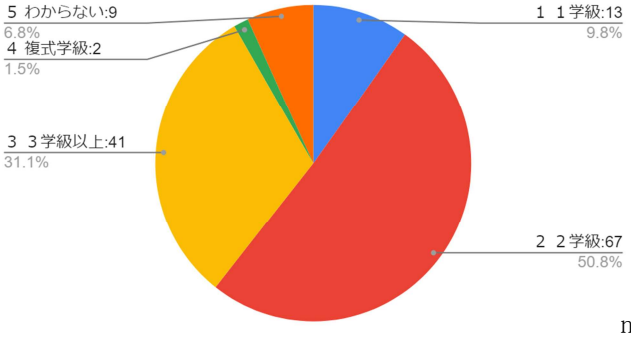


n=132

（２）学級（クラス）数の確保について

問３　あなたが考える小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

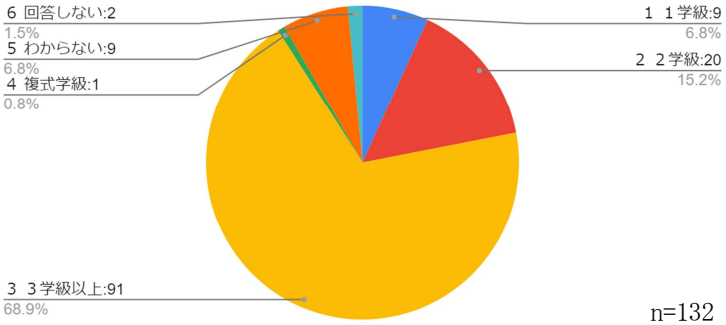
○80%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。



n=132

問４　あなたが考える中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいですか（単一回答）

○80%以上が２学級以上の複数学級を望ましいとしている。

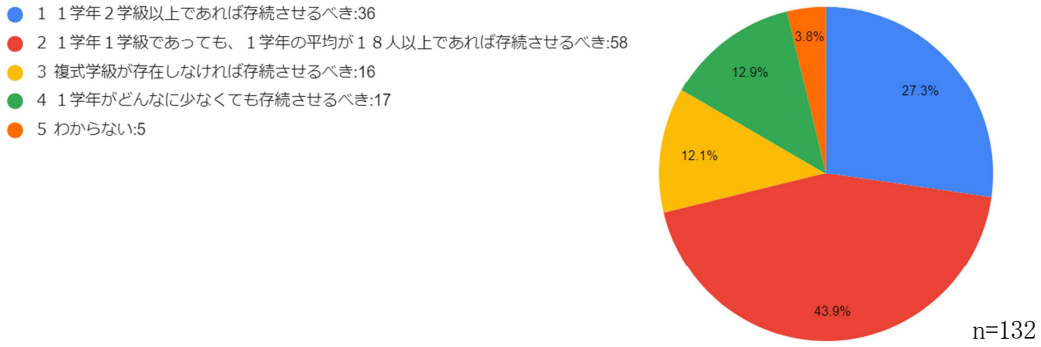


n=132

（４）あなたがお住いの地区の学校の存続について

問５　小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

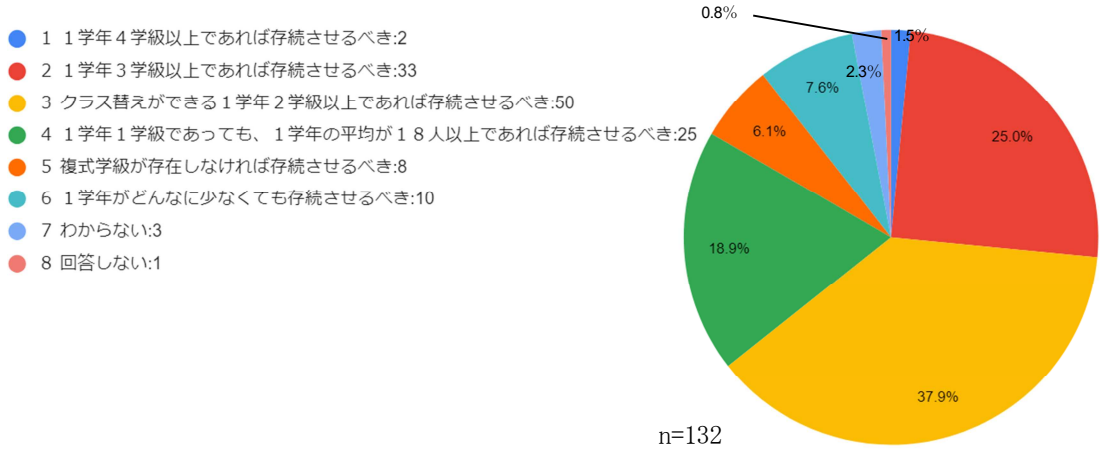
○「２　１学年１学級であっても、１学年の平均が１８人以上であれば存続させるべき」との回答が多い。



n=132

問６　中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきですか（単一回答）

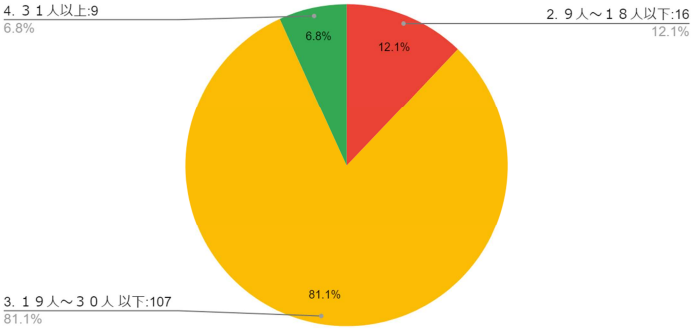
○「３　クラス替えができる１学年２学級以上であれば存続させるべき」との回答が多い。



n=132

問７　　あなたにとって小中学校の１学級あたりの適正人数は何人くらいが適正と考えますか？（単一回答）

○「３　１９人～３０人 以下」との回答が 80%以上を占めている。

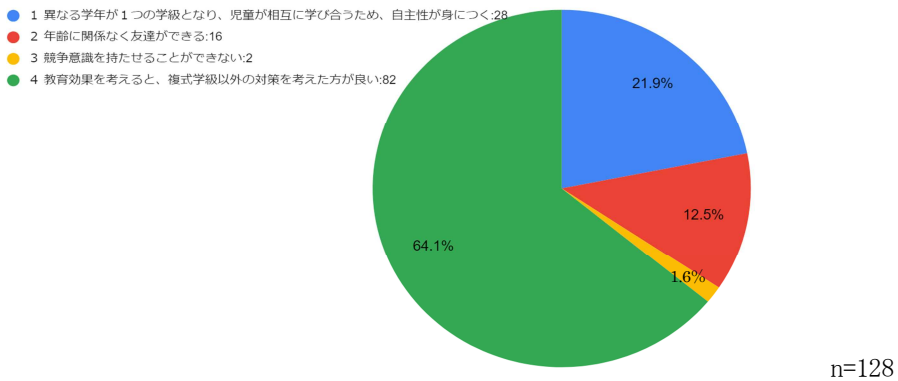


n=132

（３）複式学級に対する意向について

問８　少子化により複数の学年（例 １・２年生合同、３・４年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どのように考えますか。次の中から１つ選んでください（単一回答）

○「４ 教育効果を考えると、複式学級以外の対策を考えた方が良い」との回答が 60%を超える。



n=128

その他自由意見

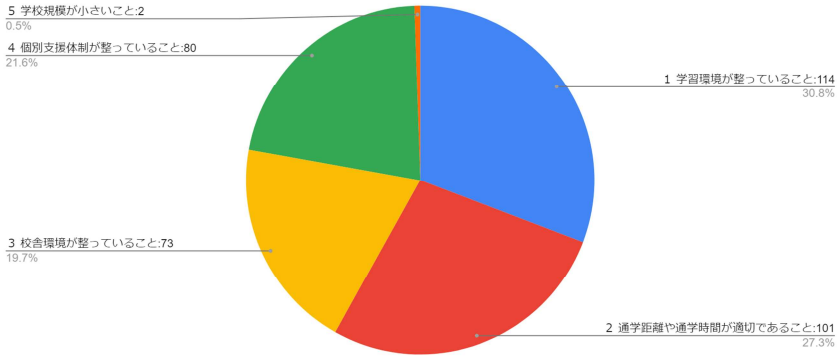
・複式学級を担当する教員の力量が心配
・わからない
・複式学級であっても、少人数でも、受けられない授業(人数が必要なもの)なるべくないように工夫している事、等しく、学習できる環境作りをしていれば良いと思います。例えば、大人数が必要なディスカッション等の授業は、少人数の他校の生徒とコラボレーションする。
・メリットもデメリットもあると思いますが、それに合う指導の方針やスキルなどが必要なのだろうと想像します。

n=4

（４）各地域の学校の課題と必要な機能について

問９　小学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」が最も多い



n=132

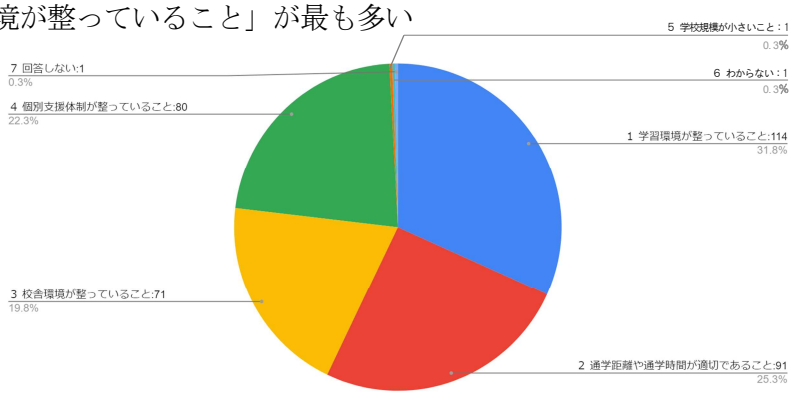
その他自由意見

・児童達自身が元気に楽しく安全・安心して通える学校
・人は人と接することで人となると考えます（人とのかかわりが重要と考えます）
・通学の距離や時間は何を基本とするのか不明であり回答しにくいと思う

n=3

問 10　中学校において、特に重要と考える教育条件や通学条件をお答えください（複数回答）

○「1　学習環境が整っていること」が最も多い



n=132

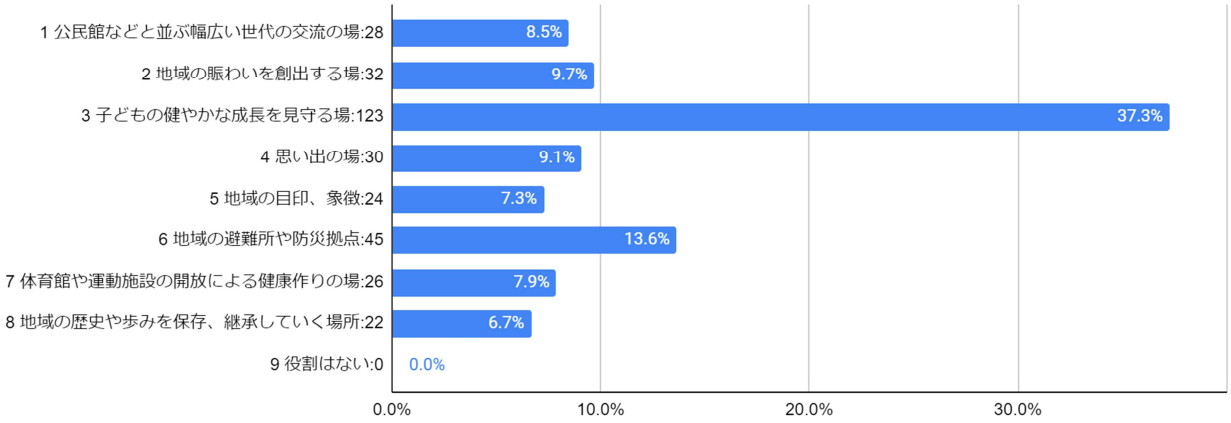
その他自由意見

・児童達が元気に楽しく安全に安心して通える学校

n=1

問 11 あなたにとって学校に求める機能はなんですか？（3 つまで）

○「3 子どもの健やかな成長を見守る場」（37.3%）の回答が最も多い。次いで「6 地域の避難所や防災拠点」（13.6%）の回答が多い。



n=132

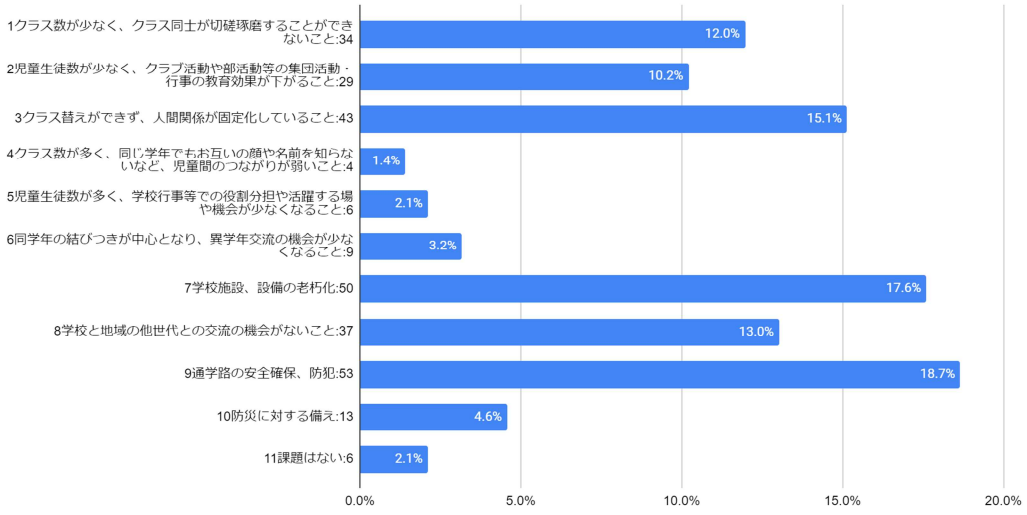
その他自由意見

・教育を受ける場所	・安心して学べる場
・生きる力を育む場	・施設の維持管理の為にも場合によっては有料も必要だと思う

n=4

問 12　あなたが所属する学校の現在の課題は次のうちどれにあてはまりますか？（3 つまで）

○「9 通学路の安全確保、防犯」（18.7%）や「7 学校施設、設備の老朽化」（17.6%）を課題と考える意見が多くなっている。



n=132

その他自由意見

・人手不足

・岩間第一小学校では、地域学校協働本部として今後、コミュニティカフェを開催し、イベントで完全予約制にして、地域の人が学校給食を食べられるとかをやってみたい。そうやって、学校の中に地域の人が「来てもいい」って雰囲気を出していくこと、その他には駄菓子屋、相談スペース等のアイディアが出ている。安全確保、防犯については生徒の通学路に【見守り隊】と言われる地域の人々を配置して、子供たちを見守る組織を結成しました！今後もメンバーを募集して拡大していく予定です。
・働き方改革などにより、先生方が地域に顔を出す機会が減少している（地域を知る機会が減少しているのではないか？）

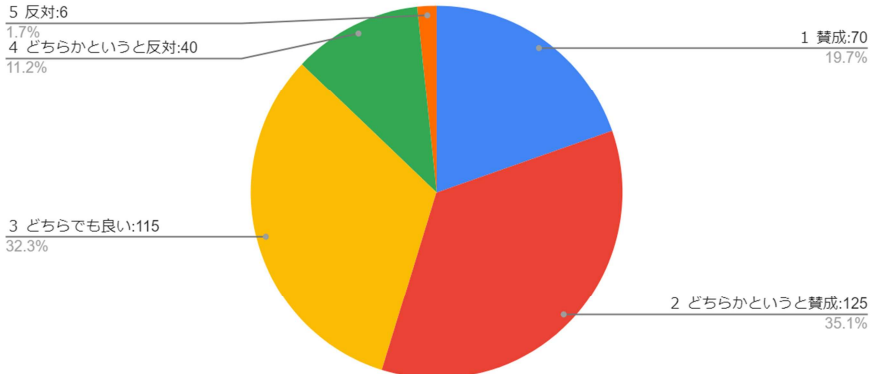
n=3

（５）小中一貫校に対する意向について

「義務教育学校（小中一貫校）」とは 小学校と中学校が連携し、9 年間の義務教育を一貫して行う学校のことをいいます。

問 13　学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校 までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。小中一貫校についてどのように考えますか（単一回答）

○「１ 賛成」　「２ どちらかというと賛成」が 54.8%となり、「４ どちらかというと反対」「５ 反対」を合わせた 12.9%を大幅に上回る。



n=129

その他自由意見

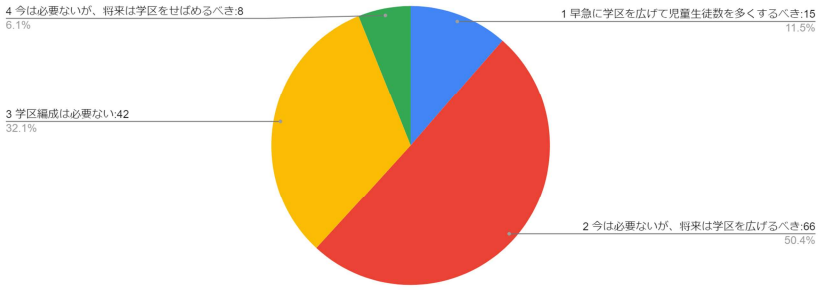
・「どちらかというと反対」市町村が進める小中一貫化と県が進める中高一貫化によって、子どもたちの進学に問題が発生して（受験校の選択肢など）いる。
・「どちらかというと反対」校内でのいじめ対策をどの様にするのか不明でありもう少ししっかりとした方針を示してほしい
・「賛成」目のとどく教育が出来る、上級生が下級生のめんどうを見るなど良い面もある

n=3

（６）学区の再編成について

問 14（1）あなたの所属する学校で、将来にわたる学校の適正な児童生徒数を確保し、子どもの学習環境を確保するために学区の再編成は必要ですか？（単一回答）

○「1 早急に学区を広げて児童生徒数を多くするべき」、「2 今は必要ないが、将来は学区を広げるべき」という意見が 60%を超える。



n=131

問 14（2）　問 14（1）で回答した理由は何ですか？

「1 早急に学区を広げて児童生徒数を多くするべき」「2 今は必要ないが、将来は学区を広げるべき」とした場合の主な意見

1 笠間小学校

・少子化はいずれくるから

・年々、生徒数が減少しているため

2 稲田小学校

・１学級の人数が少なくなる傾向がある

・教科担任制が実施でき学習効果が上がる。職員の一人の負担軽減が図れる。。

・児童数、生徒数の減少が予測されるため

・入学児童の減少が予想されるため

3 宍戸小学校

・学区を広げることによる新たな課題もあると思うから。

・学校のバランスを考え、学区の調整は必要と思います。

・児童の教育効果を考慮した時、適正と考える児童数は確保される必要があると思う。

・児童数が減少してきたときの状況に応じて検討していくべきかと。

・新たに住宅地なども各地区で増えてきているので今までも学区だとバランスが悪い。新たに小学校、中学校の区域を検討することで分散出来るのではないか？

4 友部小学校

・ここ数年児童数が７００人弱だが、将来的には人数が減ると予想されるため

・現時点では所属する学校の規模に問題はないが、今後児童数が減っていく事が予想される為。

・今、学生は減っていないから

・児童数の確保という点では必要ないが、他校の統合などには関わってくるのかと思う。

・児童数の減少に対処する

・将来的には学区を広げてもいいのでは。

5 北川根小学校

・1 年生が 34 人の 1 学級となり、担任一人では崩壊する恐れがある。

・子どもの少子化が進んでいるから

・子どもの数が減少しているため。

・柔軟に考えて通いやすい方に進学することも考えてよいと思う。

6 大原小学校

・1 学級 20 人程度が確保されている

・笠間市の財務改善を含めた 持続可能な学校教育の確保の為

・近くに小学校があるのに何故かスクールバスを利用する地域がある

・現時点では反対が目に見えているが、もう少し時間がたてば、治ると考える。

・児童数確保のため

・先は分かりませんが、少子化が進めば、必要と感じました。

・地域形態から見て、学区を広げて生徒を増やすべき。

7 友部第二小学校

・現時点で、学区を広げる準備ができてないため地域や教育機関との連携や情報共有の準備期間が必須と考える

8 岩間第一小学校

・児童の減少

・時代背景や、子供たちの影響を考えて、学区を広げる必要があるのであれば、学習環境を確保するため、将来学区は広げるべきだと考えます。

・将来的には児童数の減少により児童数を確保するため

9 岩間第二小学校

・ますます子供が減少する傾向のため　計 3 件

・学校の老朽化に伴い安全性の確保が難しくなるため

・子供同士で切磋琢磨できる環境にしたい、女の子 4 名の学年がある。良くも悪くも人数は多いほうがより良い環境になるのではないか。

・少子化がさらに進むことが予想されるため。

・通学の安全からも少子化への対応が必要と考える

10 岩間第三小学校

将来的に児童数の減少により全学年単学級が見込まれるため。　計 3 件

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

1 学年１０人程のクラスで少ない学校は統合して３０人程にした方がよく、先生の数も少なく働き方改革の改善にも繋がると思う 。

複式学級を避けるため。

12 笠間中学校

・今は、生徒数もよく、教育環境も適切であると思うが、生徒数は減少傾向になるはずなので、今後、計画的に生徒数を確保していく必要があると思うからです。

今後子供の数が減少することが予想されるため、学区を広げ、学校の適正な子供の数を確保するため

・子供の減少は止められない。時代の流れに応じた対応が必要。適切な対応をお願いしたい。

・人の流入出の動向、地域開発による変化を診るべき

13 稲田中学校

・生徒数を増やし各学年複数学級となりクラス替えが出来る規模としたい。

・生徒数の減少　計２件

14 友部中学校

・こどもの数が激減することが予測される

・少子化とそれに伴う教員不足に対応するため

・少子化は今後も加速化していきます。子ども達の通学する安全を考えながら、行う事が大切と思います。

・人口が減ることが分かっているならば、いづれ学校数は減らすことになるので、30 年先 50 何先を見通して今できることに着手した方がいいと思います。

15 友部第二中学校

・市の将来を考え、全体として検討しなければならない。喫緊の課題として早急に対応すべきだ。

・将来を見据えればどのような形になっても受け入れざるを得ない問題である

・将来的には生徒数も減少するから

・少子化が進む中では検討していく必要がある。

16 岩間中学校

・児童生徒が少なくなるから

・将来、必ず生徒数が減少することが分かっているため

・少子化が進むため　計２件

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

将来の少子化によって必要性が増すと思われるから

小規模特認校ではあるが、児童生徒数が減少していくことは明確なので、一定数以上の数は確保したい。

<u>3 学区編成は必要ないとした場合の主な意見</u>

1 笠間小学校

・平成２７年に統合済みのため　計２件

・現在すでに学区が広がっているから

・児童数が多いため

・また再編成統合となると今より広くなり通学時間を要することになりそう

2 稲田小学校

・学区を小さくしては児童、生徒数が減ってしまうし、大きくしては通学が困難になる地域も出てくると思うので

・学区編成が子どもたちにプラスになると考えにくい

・児童数が減少した場合は、小規模校としての特性を生かし、個別指導に重点を置いた指導を充

実させればよい。

3 宍戸小学校

・地域との結び付きがかなり強い学校だから

・地域と密着している学校であるため。

4 友部小学校

・安定した子供の数が見込めるから

・今のままでいいと思う

・生徒数が確保できているため

6 大原小学校

・現在の人数で不満はないから

7 友部第二小学校

・友二小は児童数が増えている状況であるため、学区編成の必要はない。

8 岩間第一小学校

・わからない

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・各学校の特色に合わせ、児童が行きたい学校へ通うことが良いと考えます。ただし、通学に関し、父兄等に負担がかかると思いますが。

・笠間市内から入学できるから

・既に小規模特認校である。　計２件

13 稲田中学校

・学区を広げて児童生徒数を確保したとしても新たに加わった地域から通学する児童生徒の通学距離は適正か、という問題が同時に生まれてしまうことが考えられるため。特に、稲田小中学校に関してはこの方法による課題解決は難しいのではないでしょうか。

・学区を広げるよりも、義務教育学校への移行や他校との統合を検討する方が現実的な策であると考えるから。

・学校を拠点とした地域住民の思い出を尊重したい

14 友部中学校

・学校規模が大きいため

・今のところ、児童も多く問題無いと思われます。

・私の子供は友部中学校に通っているので生徒数も多いですし、あまり身近に今考えることはないのですが、学校を運営していく上で先生の確保だったり施設・設備投資も大変なのは勿論分かります。ただ今の時代は部活で学校を選んだり、ましてや地域移行化になったりと生徒や保護者が学校を選ぶ時代になりつつあるので、それをまた市が自ら学校の統廃合をしなくてもいいのではないかと。個人的にやはり学校は残してほしいという願望です。

15 友部第二中学校

・特になし

16 岩間中学校

・３つの小学校があるため。

・岩間地区は、二小かかなり小規模になってしまったか、中学校も１学年３クラスになっている、近い将来もっと減る、一小三小も減っているので、地域コミニティも含め、これ以上の少子化させないよう、(学校が近くにい地区には住みたい感がなくなる)、学区再編成よりも小中連携を、検討したほうが良いと思う。

・現在の通学条件が妥当と思われ、将来推計の結果も適正規模であることから。

・生徒数が妥当な人数であること。

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・結局、学区外から通学できるから

「4 今は必要ないが、将来は学区をせばめるべき」「5 早急に学区をせばめて児童生徒数を減らすべき」とした場合の主な意見

1 笠間小学校

・近くに小学校があるのに学区が違う

2 稲田小学校

・児童数減少しているので仕方ない

4 友部小学校

・2 クラス程度の規模を考えているから

・現在、空き教室がない状況であるから。

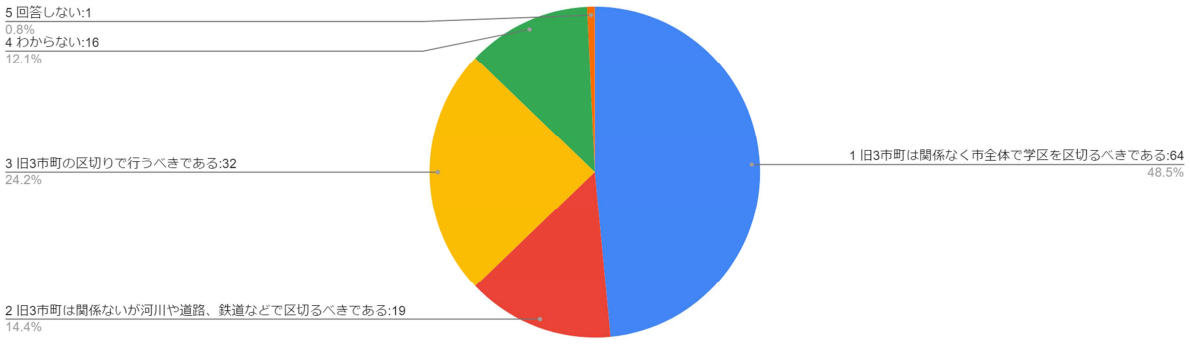
7 友部第二小学校

・本校の児童を近隣小学校へ移動させることで、近隣の小規模校の児童数を増やした方がよいと考えたため。

・市内学校の人数をある程度均等化すると良い

問 14　（3）統合をすることとなった場合、旧 3 市町（笠間市、友部町、岩間町）の学区の区切についてあなたはどのようにお考えですか？（単一回答）

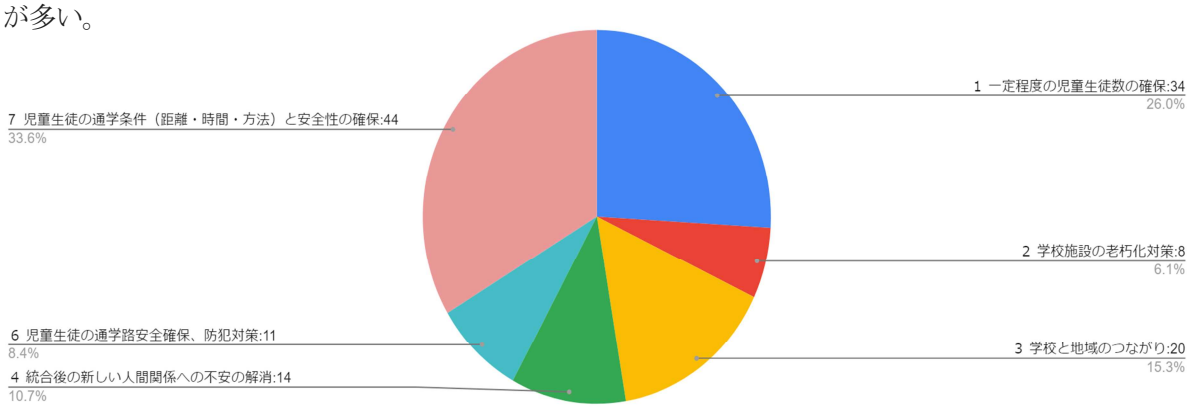
○60%以上が旧 3 市町（笠間市、友部町、岩間町）に関係なく区切るべきと回答している。



n=132

問 15　昨今の少子化や学校施設の老朽化などを総合的に判断・検討し、より良い環境で子どもたちに教育を提供するため、将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点は何ですか？（単一回答）

○「児童生徒の通学条件と安全性の確保」が最多となっている。次いで「一定程度の児童生徒数の確保」が多い。



n=131

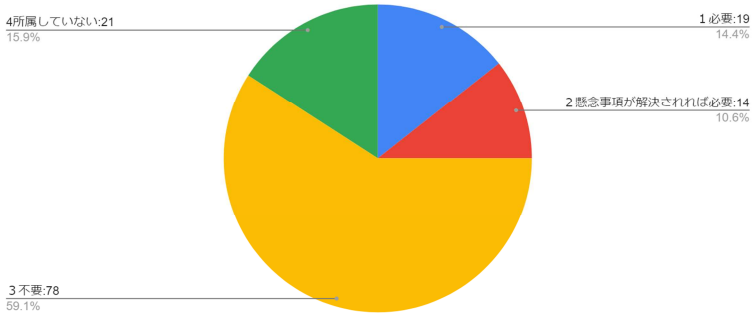
その他自由意見

・特に中学では通学・部活で自転車で長距離を運転することになり、防犯、事故、熱中症等の心配がある。

n=1

問 16(1)-1　あなたの所属する小学校について、統合が必要だと思いますか。（単一回答）

○59.1%が「統合は不要」としている。



n=132

問 16　(1)-2(1)で回答いただいた理由を教えてください。

意見ごとの集計

「１必要」とした場合

2 稲田小学校

・将来人数が減る心配がある

3 宍戸小学校

・令和 16 年度将来推計を見るとやはり統合は必要となってくるかと思います

4 友部小学校
・1学年2クラス程度の規模を考えているから
8 岩間第一小学校
・岩間地区の著しい児童数の減少
9 岩間第二小学校
・児童数の激減
12 笠間中学校
・今後の増員が見込めない

「２懸念事項が解決されれば必要」とした場合

2 稲田小学校
・学習環境が整うか。施設、カリキュラム等。→非常に困難。大変な労力と時間がかかる。
・通学条件の安定化
3 宍戸小学校
・児童の通学条件が整うのか。新しい環境へ馴染めない児童のケアが充分にされるか。
6 大原小学校
・児童数の確保
・児童数の減少
7 友部第二小学校
・通学方法や、校舎の場所の様々な課題をクリアする
9 岩間第二小学校
・大幅な環境の変化で、人間関係や通学など子供達にストレスがかかること。今は合は望んでいないが、必要な日はくると思う
13 稲田中学校
・①通学路の安全確保②生まれ育った地域への帰属意識の希薄化の懸念
15 友部第二中学校
・通学の困難さ
16 岩間中学校
・児童が少なくなるから
・地域コミニティ、小中連携なら良いと思う。ただし、二小はかなり児童数が少ないが、いずれ一小も、三小も減っていく。小学校がなくなると、この地区に住みたくない度が上がり、成人した子どもたちが戻らなくなり、限界集落になってしまう。
・小中連携も、小学校低学年は既設とし、高学年からの小中連携についても是非を検討して欲しい。
・通学するにあたって、スクールバスの活用など安全が確保されなければならない

「３不要」とした場合

1 笠間小学校
・ちょうど良い生徒数だから
・生徒数が足りていると思うから
2 稲田小学校
・児童数が減少した場合は、小規模校としての特性を生かし、個別指導に重点を置いた指導を充実させればよい。
・地域との繋がりが強い学校なので、当面は不要と考える。
3 宍戸小学校

・児童の減少
・地域との結び付きがかなり強い学校だから
・地域に浸透し、シンボル的な存在である。もし統合されれば過疎化が急速に進むと思います。
・地域の拠点として成立している学校であるため。

4 友部小学校
・今の環境で良い
・児童数の確保がされており、そこまでの老朽化の問題もない為
・十分な児童数が確保されているため、本校自体は不要だと考える。大原小などの規模校を吸収（統合）するという場合も含まれるならば、必要である。

6 大原小学校
・学区を広げ、児童数を増やす。
・良好な地域との結びつきをなくしたくない。また、一人一人に目が届くなど、少人数の良さがある。

7 友部第二小学校
・現在児童数が増加し、教室が不足する状況にある。
・人数が多いため

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）　既に義務教育学校化されているから。
・受け入れられる人数に上限がある。
・生徒が確保できる施策が整えば統合の必要はない

14 友部中学校
・今のところ、特に問題がない
・今は児童数もある程度はいますので、喫緊な課題とは、思いません。

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）
・もしも統合したとしても施設の問題がある。
・義務教育学校がスタートしたばかりなので、現在は不要と思います。

問 16 (1)-3 (1)-1 で「１必要」又は「２問 17　(1)-2 の 懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか。あなたが希望又は妥当と考える統合先の小学校はどちらになりますか

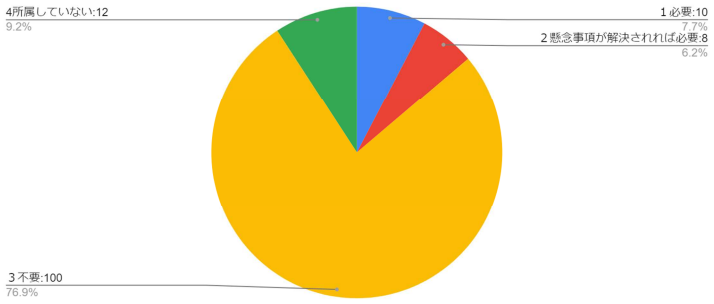
所属小学校	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
2 稲田小学校	1 笠間小学校	2
	11 みなみ学園義務教育学校	1
3 宍戸小学校	13 わからない	2
4 友部小学校	6 大原小学校	1
6 大原小学校	4 友部小学校	2
	13 わからない	1
7 友部第二小学校	7 友部第二小学校	1
8 岩間第一小学校	9 岩間第二小学校	1
9 岩間第二小学校	5 北川根小学校	1
	10 岩間第三小学校	1

n=13

※学校運営協議会に所属する小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果
※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３　不要」「4 所属していない」と回答した場合を除く

問 17　(2)-1 あなたの所属する中学校について、統合が必要だと思いますか

○75%以上が所属する学校の「統合は不要」としている。



n=130

問 17(2)-2　問 17(2)-1　で回答いただいた理由を教えてください。

意見ごとの集計

「１必要」とした場合

2 稲田小学校

児童数、生徒数の減少が著しいため

7 友部第二小学校

生徒数の減少

通学方法などクリアすれば

9 岩間第二小学校

今後の児童数の減少が明らかなため

「２懸念事項が解決されれば必要」とした場合

2 稲田小学校

・通学条件の安定化

13 稲田中学校

・①通学距離が長くなれば危険箇所も多くなるのでその面での安全確保が十分になされるかという懸念。

・②生まれ育った地域への帰属意識が、統合によって希薄化してしまうのではないかという懸念。

・自分の力で登下校出来る事が基本。学区が広くなる場合はスクールバス等も必要か。

・人間関係と通学時間

16 岩間中学校

・　　地域コミニティ、小中連携なら良いと思う。ただし、部活動については、今も検討事項に上がっていますが、もっと色々検討し、子ども達と保護者のため柔軟な対応策を検討すべきと思います。そもそも色々なスクールもレベルの高いスクールを選べる都市部の生活環境とは違う。他にはない、奇抜な新しい取り組も検討してほしい。

・通学の安全の確保が必要。スクールバス等。

「３不要」とした場合

1 笠間小学校

・ちょうど良い生徒数だから

・生徒数が足りてるから

・統合済みだから

2 稲田小学校

地域との繋がりが強い学校なので当面は不要と考える。

3 宍戸小学校

学校の規模が十分である。

最後まで残すべき中学校だと思うから。

単独で成り立つから

統廃合の前に学区など割振りを検討。地域との繋がりや子供達の関係を考えるといきなり統廃合は負担が大きそう

必要性は感じていない。

4 友部小学校

今の環境で良い

十分な生徒数が確保されているため。

5 北川根小学校

人数が適正だから

6 大原小学校

区割りが広がりすぎる

伝統はこわせないと思う人はまだたくさんいる。

7 友部第二小学校

・現在、将来にわたり 1 学年 3 学級で継続できる見通しがあるため。

・市内中学校数が多くないため

8 岩間第一小学校

・岩間地区に中学校が一校のため　計 2 件

9 岩間第二小学校

・現状では生徒数も十分確保されている。

・中学校は岩間地区 3 校が合流するので、理想的なクラス数、人数だと思うから。

11 みなみ学園義務教育学校（前期課程）

・一定の生徒の確保ができれば統合の必要はない。

・既に義務教育学校化されているから。

・受け入れられる人数に上限がある。

13 稲田中学校

・地区に学校を残したい

14 友部中学校

・今のところ問題が無いと思われます。

・時期尚早

・十分に生徒数がある

・生徒数も多いため今のところは、必要ないと思います。

15 友部第二中学校

・生徒数は減少するが統合するまでではない

16 岩間中学校

・現時点では不要

17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）

・もしも統合したとしても施設の問題がある。

・義務教育学校がスタートしたばかりなので、現在は必要ないと思います。

問 17　(2)-3　(2)-1 で「１必要」又は「2 問 17　(2)-2 の懸念事項が解決されれば必要」とした場合、あなたが希望又は妥当と考える統合先の中学校はどちらになりますか

所属小学校	居住地区の小学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先	件数
12 笠間中学校	１笠間中学校	1
	7 統合は不要	1
13 稲田中学校	１笠間中学校	1
	２稲田中学校	1
	６みなみ学園義務教育学校	1
	8 わからない	1
16 岩間中学校	５岩間中学校	1
	8 わからない	1
17 みなみ学園義務教育学校（後期課程）	8 わからない	1

n=9

※学校運営協議会に所属する中学校について、統合を希望又は妥当と考える統合先を集計した結果

※統合が必要だと思いますかの質問に対し「３ 不要」「4 所属していない」と回答した場合を除く

問 18　学区の再編成を行う上で、「笠間市立小中学校学区審議会」にてどのような事項を協議すべきとお考えですか。ご意見をお聞かせください。

・全体的な構想及び将来の見通し（具体）

・地区の方が納得できる学区の割振り

・地区割の基準

・学区が広くなると、地域のコミュニティとのつながりが希薄になる。地域の学校参画も難しくなる。

・今後の予想される入学者数と地域の意向を考慮し、あるべき理想の姿を見出していきたい。

・様々なケースがあると思いますが、ある程度の案や方向性を示した頂いたほうが、検討を勧めやすいと思います。会議に参加されている保護者が、「全くのゼロから決めていくのは無理があると思う」と話していました。

・小中一貫（義務教育学校）への移行

・どの地域に子供達が集中しているのか、また、それぞれの家族編成も考慮しての学童の設置や、近隣の幼保とのバランス、また、通学手段などを考えて行くべき。また、保護者の働き方にも着目してほしい。そこから見えてくるものもあるはずだし、そこの回答がこれからのこども達の育成に繋がると考える。

・将来を見据えた再編

・児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）、義務教育学校の是非、学校と地域のつながり方などを協議していただけると幸いです。

・難しいが、時間をかけて様々な方の時間を聞いて進めた方が良いと思います。

・再編成の基準を明確にすること

・地域の拠点として、また、生徒の通学距離や、生徒数の割り振りなど様々な問題をクリアしなくてはならない。また、行政特有の硬い発想にこだわらず、柔軟な発想と対応力に期待したい

・再編成の協議は良いとおもうが通学時間、バス通学などによる保護者の負担を考えて欲しい

・統廃合による児童数確保のメリットを住民に伝えていく方法、時期。登下校ルートの安全確保。学校と密接に活動してくださっている地域の方への新しい学区の丁寧な説明、統合後の協力のお願い。

・旧３市町の境界（線引き）を取り払うべき。

・市民へのお知らせを段階を追ってしていくこと

・適正規模を考えると同時に、長期的な将来への笠間市としての見通し

・地域と学校を結びつける人材（地域学校協働活動推進員）の早期確保。

・生徒と保護者の負担と心配ごと

・統合になった際の審議会の在り方について

・学区の再編成は、避けられない問題ではありますが、今までの課題等を考慮して、保護者等を考慮して、実施すべきと思われます!

・今の所はありませんが、しいて言えば、通学の安全性確保と思います。

・廃校になると、過疎化が急速に進むと思いますので、対策が重要と思います。

・学区を編成して、安心安全で効率の良い小学校にして欲しい。

・大変お世話になります。人数だけで編成するのではなく、たくさんの意見を聞いていただき、ご判断をお願いいたします。

・地域ごとの人口予測に基づいた協議

・地域活性化による移住の促進等、人口増加の取り組みを進め、その上での学区を考えるべきではないだろうか。

・単に近くの学校を統合するのではなく、歴史的背景や、地域の特性等も協議すべきと考えます。

・生徒の心のケア

・①各学年複数学級となりクラス替えが出来る規模となり、教育活動がより充実していくようになること。②教員の数を増やし、複数の教員で各種教育活動に対応できるようにしていくこと。

・統合した際の通学時間と安全確保

・既に統廃合済みの近隣市町村から、課題等をヒアリングしてはどうか。

・学校の新設または改装費用について、費用対効果の検討。

・先生方の適正な配置。

・学校運営協議会やPTAのありかたについて。

・将来統合して残す学校施設の増改築等。

・地域住民が学校と関わり、学校を中心とした交流が持てるよう、住民の意識を形成すること。

・学校が廃校になれば、その地区への転入者も、子どもたちは結婚しても、ここには住まなくなり、その地区の世帯数は益々へり、限界集落になる。笠間市の30年後、50年後の、まちづくりも考慮した検討にしてほしい。

・1 児童生徒の通学条件と安全性について

2 統廃合が実施された場合、居住地域の歴史や歩みをどのように学習に盛り込んでいくのか

3 学校数が減ることに伴い、配置される教職員数が減るのではなく、教職員の適正な配置について(副担任制や教科専任など)

・地域との結びつき

・1. 通学距離、通学方法、安全の確保（歩くことによる日常の体力確保、安全に関する日常の中での学びも配慮する必要）2. 将来を見通した学区編成　3. 各地域の人口変動の見通し

・子供は、地域全体で成長させたいものです。学校だけに頼れません。

・特にありません

・校舎の老朽化が進んでいるので、改築を進めて欲しい。また、将来を見据え、児童・生徒が安心、安全にかつ公平に学習できる場を提供できるよう、十分に協議していただきたいと思います。

・通学手段がきちんと確立出来ていること。

・伝統・歴史等にこだわらず、児童・生徒の教育環境を重視した編成を望みます。

・通学方法の確保　他

・今後の児童数の増減を確認し、通学の方法等を考えた再編成が必要である。また、再編成にあたって、保護者の負担、不安がなるべくないような方法をとっていただきたい。

・再編する上での学級人数の明確化や、通学路・通学手段の方法の決定

・保護者・地域への納得のいく説明会となるよう具体的な項目をたてるとともに、分かりやすい説明と資料の用意

・学校と地域のつながりを重視してほしい。

・生徒達がよりよい環境で学習や部活動に取り組めるようにすることを最優先に協議してほしいです。

・アンケート結果だけにとらわれず、子ども、保護者の思い、地域住民の思いを十分汲み取って協議を進めていただきたい。

・遠距離通学となる場合のスクールバス等の交通手段・通学路の安全確保

・人口分布が異なる中で全ての施策が均等に実施されることは大変難しいとは思いますが、児童・生徒が不利益にならないよう進めていただければありがたいです。

・旧市町や旧学区を撤廃し、学校地域をオープンにして検討してほしい。

・これまで統廃合した学校の事例で良かった点・悪かった点について広く地域住民に周知し、改善して理解と協力を得られるようにする事が大切だと思います。

・①学区再編成、学校統廃合の問題に対する保護者、地域住民の意見や不安をふまえたうえでの審議が必要。②また、市がこれから進めようとする方針を地域住民に丁寧に説明する場面も用意する

必要があると考える。県内のある市では、統合にむけて小学校を会場にして、教育委員会が地域住民に統合の必要性を丁寧に説明する会を数か所で開催した。こうして統合にむけて同意を得てゆき、大きな問題なく統合を進めた例を聞いている。

・児童及び家庭の負担

・心の育成として地元愛をどのように考えているのか只学区の再編成だけを考えているのか表面的な事だけで行うのか本当に子ども達の事を考えてほしい

・現在における適正配置の在り方についてまず協議すべきと考えます。今後、少子化がさらに急激に進むことが予想される中で、子どもが「生きる力」を培うことができる学校教育を保障する観点から検討することが必要です。

・メリットとして、一定の規模があることにより、子どもが集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力をさらに伸ばしやすいなど、メリット、デメリットを洗い出し、子どもにとってどんなことが教育において重要か、子どもを中心とした議論や協議をすべきと考えます。

・児童・生徒の通学の利便性、安全性を第一に考えるべきと思います。

・あまりに難しすぎて分かりかねます

・現在の学区外からの通学になった時、共働きが多い現状で、親の負担も出来る限り少く、また、子供達の安全も確保出来る状態で通学が出来る仕組みをお願いいたします。

・再編成の後、各児童生徒と居住地域の自治会などとの関わりにおける障害と、その解消策の提言

・廃校となった避難場所の管理主体の設定?決定基準の確立

・統合先の学校への通学手段の提案と具体的な運用方法の立案

・単なる数合せではなく、その地域が持つ伝承を考慮しなければならない。

・児童生徒の学習環境。

・本調査の前書きにあるように、10 年後 20 年後などの将来を見据えること。（児童生徒のことを考えることはもちろん重要。一方、小学校中学校の人間関係は大人になったときにも様々な場面で良好な関係であるための重要な要素となる。地域を牽引する世代になったときに生かせる学区でありたい。）

・本件の中でなぜ少人数で１クラスがダメなのか？その理由が明確でないように思われます。学校の運営費（施設維持費、人件費等含む）が嵩む、児童生徒１人当たりにかかる経費が大きすぎる（教育委員会側として）等の課題が問題の一つとして記されていません。これも大きな問題の一つなので市としてどのように考えていくのか基本計画の中にきちんと表現（市としての対応策・考え方）すべきです。

・水戸線の南側市毛地区

・来栖地区、下市毛地区の学区の正当化

・統廃合も後に必要になると思うがまず学区の見直しをして子供達の偏りを解消して分散や確保したいと思う。

・進捗を広く市民に伝える機会を増やして欲しいです

・学校は地域の活性のシンボル的な役割もあるため、統合等を行ったとしてもその地域での行っていた教育活動を少しでも残すような取組みに期待したい。

・学校通学区域の見直しは最優先に協議をしていただきたいと思います。いろいろ難しい問題もあると思いますが一。

・現状を考えると統廃合は避けられず、最大の課題は「通学の手段・方法」である。
・児童数を一定数確保するという前提で統廃合を考えてみてはどうでしょうか。
・各クラスの人数や各学年のクラス数の適正について
・通学距離、安全確保面の対応について
・学校規模と統廃合について・・・集団による生活・学習の大切さを考える
・児童生徒の通学条件と安全の確保・・・距離・方法・時間を考える
・通学路の確保と通学時間の検討